

京セラグループ

Web 制作ガイドライン Version 6.5

2025 年 11 月 11 日

改訂履歴

Ver.	改訂年月日	改訂内容	改訂理由
6.0	2018 年 02 月 20 日	Ver5 から 6 へ全面改訂	<ul style="list-style-type: none">・ 2014 年時点の情報を更新するため・ ヘッダー・フッター仕様の刷新に対応するため
6.1	2020 年 04 月 17 日	「2-2 サイト制作時の推奨検証環境」の記述を最新化	<ul style="list-style-type: none">・ 2020 年時点の情報に更新するため
6.2	2021 年 10 月 1 日	2-4 Web ページ制作における各種前提事項「別ウィンドウで開く際の仕様について」の記述を最新化	<ul style="list-style-type: none">・ 用途別で使い分けをしていた 2 種類の別ウィンドウアイコンを 1 種類に統一するため
6.3	2022 年 2 月 16 日	<p>2.各種前提事項</p> <ul style="list-style-type: none">・ 連絡先や参考 URL の追加・ 著作権や中国に関する注意事項の追加・ アクセシビリティの最適化、最新化・ その他、表現・例示の最適化、最新化 <p>3.ナビゲーション・トレイル設計</p> <ul style="list-style-type: none">・ 表現・例示の最適化、最新化 <p>4.ヘッダー・フッター仕様および標準テンプレート</p> <ul style="list-style-type: none">・ ボディー幅の規定を明記 <p>5.フォーム</p> <ul style="list-style-type: none">・ 表現・例示の最適化、最新化	<ul style="list-style-type: none">・ 京セラ内の部署や社内ガイドラインに対応するため・ 2022 年時点のトレンドに対応するため・ 事業部から問い合わせのあった内容を明記するため
6.4	2024 年 11 月 15 日	<p>2.各種前提事項</p> <ul style="list-style-type: none">・ ブレークポイント・ Z-index による要素の表示順序 <p>3.ナビゲーション・トレイル設計</p> <ul style="list-style-type: none">・ パンくずリストの構造化データ・ サイト構造図のナビゲーション・トレイル（パンくずリスト）への反映方法 <p>4.ヘッダー・フッター仕様および標準テンプレート</p> <ul style="list-style-type: none">・ 標準テンプレート改訂 <p>5.リンク・ボタンルール</p> <ul style="list-style-type: none">・ テンプレート導入に伴い追加	<ul style="list-style-type: none">・ ユーザー視点のナビゲーション導入のため

Ver.	改訂年月日	改訂内容	改訂理由
6.5	2025 年 11 月 11 日	<p>2-1 前提となる注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動画ファイルの掲載について 埋め込みルール更新 ・ 制作素材の著作権 生成 AI 画像の社外利用について追加 ・ 中国における外部情報公開に関する注意 更新 <p>2-2 サイト制作時の推奨検証環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象 OS の Android 変更 <p>2-3 ユニバーサルデザイン、アクセシビリティ、ユーザビリティへの配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルを設置する場合の対応 更新 <p>2-4 Web ページ制作における各種前提事項</p> <ul style="list-style-type: none"> -SEO への配慮 -(5) モバイル対応 ・ 5. モバイル画面での検証を徹底する 追加 -別ウィンドウで開く際の仕様について ・ デザインが大きく変更されるサイトへの遷移について追記 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2025 年時点の情報に更新するため

目次

1. はじめに	4
1-1 Web 制作ガイドラインの目的と対象範囲	5
2. 各種前提事項	6
2-1 前提となる注意点	7
2-2 サイト制作時の推奨検証環境	11
2-3 ユニバーサルデザイン、アクセシビリティ、ユーザビリティへの配慮	12
2-4 Web ページ制作における各種前提事項	16
3. ナビゲーション・トレイル設計	25
3-1 ナビゲーション・トレイル設計	26
3-2 タイトル・タグとタイトル・タグの記述方法	29
4. ヘッダー・フッター仕様および標準テンプレート	30
4-1 テンプレートにおける仕様の定義と適用ルール	31
4-2 日本語サイトについて	32
4-2-1 標準テンプレート（日本語サイト）	32
4-2-2 ヘッダー・フッター仕様	34
4-2-3 各種サイトナビゲーション（メインナビ/メインフッター）	42
4-2-4 標準テンプレートの種類	48
4-3 Global サイトについて	59
4-3-1 標準テンプレート（Global サイト）	59
4-3-2 ヘッダー・フッター仕様（Global サイト）	61
4-3-3 各種サイトナビゲーション（メインヘッダー/メインフッター）（Global サイト）	69
4-3-4 標準テンプレートの種類（Global サイト）	75
4-4 関連会社ヘッダー	86
5. リンク・ボタンルール	87
5-1 リンク・ボタンの基本ルール	88
6. フォーム	91
6-1 フォーム利用時の留意事項	92

1. はじめに

1-1 Web 制作ガイドラインの目的と対象範囲

1-1 Web 制作ガイドラインの目的と対象範囲

Web 制作ガイドラインの目的

WEB 制作ガイドライン（以下、本ガイドライン）は、統一されたデザイン基準の下で京セラグループの Web サイトを運用することによって、京セラブランドの価値向上を目的として策定されている。そのため、以下の項目に準拠するように心掛けなければならない。

- (1) ユニバーサルデザインに準拠した Web サイトの設計及び運用を行う。
- (2) アクセシビリティに準拠した Web サイトの設計及び運用を行う。
- (3) ユーザビリティに配慮した Web サイトの設計及び運用を行う。
- (4) 別途定義するユーザ閲覧環境において、Web サイトの閲覧を担保する設計及び運用を行う。
- (5) 対象となる全 Web サイトにおいて、統一したページデザインによりサイト全体の品質向上を図る。

対象範囲 — 本ガイドラインを適用する Web サイト

本ガイドラインの対象範囲は、京セラグループが不特定多数のユーザ向けに運用し、京セラブランドを掲げている Web サイトとする。

対象範囲 — 本ガイドラインを適用する対象者

京セラグループの Web サイト企画・制作・運営に携わる者は、本ガイドラインの内容を理解し、内容に準拠するように心掛けなければならない。なお、本ガイドラインを適用する対象者は以下の通りである。

- (1) 各事業部、関連会社の Web サイトオーナー（マーケティング担当者、戦略担当者、運用担当者など）。
- (2) Web サイトの企画、制作、アプリケーション開発などに携わる京セラグループのコンテンツ担当者。
- (3) 広告代理店、制作会社、印刷会社など京セラグループの Web サイト制作を外部受注する会社。

2. 各種前提事項

- 2-1 前提となる注意点
- 2-2 サイト制作時の推奨検証環境
- 2-3 ユニバーサルデザイン、アクセシビリティ、ユーザビリティへの配慮
- 2-4 Web ページ制作における各種前提事項

2-1 前提となる注意点

Web コンテンツに関する規格や技術仕様への準拠

Web サイトの表示や動作は、閲覧するユーザの環境（コンピューターの OS やブラウザの種別、バージョン）に依存するため、広く一般に定められた規格や技術仕様に準拠しなければならない。特に、HTML や CSS など、W3C で検討している技術は、W3C が公式に発表している勧告に従って記述するように心掛ける必要がある。

- W3C（World Wide Web Consortium）：<https://www.w3.org/>

京セラグループブランドマネジメントガイドラインへの準拠

京セラブランドシンボル、ブランドステートメントの使用方法等については、別途定める「京セラグループ ブランドマネジメント ガイドライン（以下、ブランドマネジメントガイドライン）」の規定に準拠すること。

- ブランドマネジメントガイドライン：[京セラグループ ブランドマネジメントガイドライン](#)

ネイティブによる言語チェックの徹底

母国語以外で制作するページについては、必ずその言語を母国語とする方による言語チェックを行い、翻訳品質の向上に努めなければならない。

対外表示確認の徹底

新たにサイトやページを構築する際、法務・知的財産・ブランド棄損防止の観点から懸念がある場合は、懸念事項を明確にした上で、該当する専門部門のチェックを通さなければならない。

アクセス解析タグ実装の徹底

Web サイトは公開した後の運用改善が重要である。そのため、制作するページには必ずアクセス解析タグを実装することを徹底する。京セラ本社では、Google Analytics を用いたアクセス解析を行っており、事業部や関連会社に対してアクセス解析タグの実装・運用支援を行っているので、サポートが必要な場合には広報室・WEB 推進係に相談すること。

プライバシーポリシーについて

京セラグループ各社は、各国の個人情報保護法制の要求事項に従い、各社が定めるプライバシーポリシー（個人情報保護方針）を WEB サイト上に開示し、その内容を遵守すること。

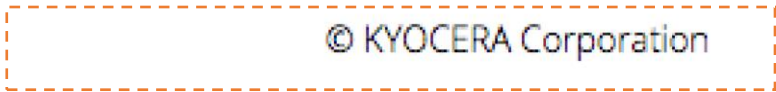
- 例）京セラ株式会社 個人情報保護方針：<https://www.kyocera.co.jp/privacy/>

著作権表記

著作権表記は全てのページのフッターエリアに、著作権表記を挿入しなければならない。各ページの著作権表記は“© KYOCERA Corporation”として“©”の後ろに企業名を入れる。

※©と企業名の間には半角スペースを入れなければならないので注意する。

著作権表記：

A dashed orange rectangular box containing the text "© KYOCERA Corporation".

© KYOCERA Corporation

ALT : Copyright KYOCERA Corporation

商標の取り扱い

商標は利用規約の中に明記し、各サイトの本文中には記入しないようにする。詳細に関しては、各国・各サイト Web サイトオーナーに問い合わせること。なお、必ず社内の対外表示公的確認にて承認された内容のみ、Web サイトに掲載するように各コンテンツ担当者が運用を行わなければならない。

※京セラおよび京セラグループの法務部に確認することなく、法律文章の掲載や商標等を掲載してはならない。

- 京セラご利用規約：<https://www.kyocera.co.jp/legal/index.html>

サーバ及びネットワークについて

サーバ及びネットワークについては、グループ各社が担っており、各社で推進しなければならない。ただし、京セラグループの統一ルールとして、「京セラグループ 公開 WEB 環境運用ガイドライン」に準拠すること。

- 京セラグループ 公開 WEB 環境運用ガイドライン：<https://www.kyocera.co.jp/premium/webportal/jp/>

SNS の利用について

Facebook、LinkedIn、Twitter、YouTube といったソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）の新規アカウント・チャネル開設時は、事前に広報室デジタルメディア課 SNS 推進係に連絡すること。

- SNS 利用ガイドライン（グループ内限）：[公開 WEB・SNS 関連](#)
- デジタルメディア課 SNS 推進係：kc.sns@gp.kyocera.jp

また、ソーシャル・メディアのロゴを掲載する場合は、各サービスのガイドラインを確認し準拠すること。

Web 制作と合わせてスマートフォン・スマートデバイス向けアプリを開発する場合

App Store や Google Play を通してスマートフォン、スマートデバイス向けにアプリ配信を行う場合、企業アカウントの開設は一社につき一つしか認められていないため、関連会社については各社にてアカウントの開設・管理を行うこと。

なお、京セラでは、京セラ株式会社のアカウントの管理体制は以下の図に示す通りで、アプリ開発をする際には必ず事前に各部署に連絡しなければならない。

スマートフォンアプリ開発時の連絡先

Android		通信機器事業本部 <ul style="list-style-type: none">アプリファイルへの署名設定Google Play へのアプリ登録
iOS	企業向け	経営管理本部 経営情報システム部 <ul style="list-style-type: none">iOS Developer Program の契約継続処理（按分負担）iOS Developer Program へのユーザ登録、レギュレーション更新時の承認処理
	一般消費者向け	広報室 WEB 推進係 <ul style="list-style-type: none">iOS Developer Program の契約継続処理iOS Developer Program へのユーザ登録、レギュレーション更新時の承認処理iTunes Connect へのユーザ登録App Store へのアプリ登録（要相談）

動画ファイルの掲載について

Web サイトに動画を掲載する場合は、YouTube の埋め込み機能の利用を推奨する。
ただし、動画ファイルの著作権および公共性などに問題がある場合はこの限りではない。

YouTube 動画埋め込み時の注意事項

Web サイトに YouTube 動画を埋め込む際は、以下の点に必ず留意すること。

(1) ユーザーのプライバシー保護および不要な Cookie 利用の防止

YouTube 埋め込み時は、必ず「プライバシー強化モード」を有効にすること。

参考：プライバシー強化モードでの設定方法 <https://www.pressman.ne.jp/archives/23718#1>

(2) 関連性のない動画の表示防止

動画再生後に無関係なチャンネルの動画が表示されないよう、埋め込み URL の末尾に「?rel=0」を追加すること。

URL 例：<https://www.youtube-nocookie.com/embed/XXXXXX?rel=0>

埋め込みスクリプト例：

```
<iframe width="560" height="315" src=https://www.youtube-nocookie.com/embed/XXXXXX?rel=0 title="YouTube video player" frameborder="0" allow="accelerometer; autoplay; clipboard-write; encrypted-media; gyroscope; picture-in-picture" allowfullscreen></iframe>
```

※YouTube の仕様により、「?rel=0」を追加しても無関係なチャンネルの動画が表示される場合は、動画をループ再生にする

参考：動画をループ再生にする方法 <https://wwg.co.jp/blog/12827#i-4>

YouTube の利用に関する問い合わせは、広報室デジタルメディア課 SNS 推進係。YouTube 以外の動画ファイルを利用する場合は、広報室・WEB 推進係に相談すること。

制作素材の著作権

制作時に使用する写真、イラスト、音楽等の素材は、著作権に問題ないことを確認した上で使用すること。なお、フリー素材サイトに掲載されているものは、原則使用禁止とする。なお、生成 AI 画像の社外利用については個別に知的財産部と相談すること。

中国における外部公開情報に関する注意喚起

中国における外部公開情報については、中国固有のリスクに対応するため、以下の注意喚起を事前に確認すること。

- ・ 2025 年 10 月 15 日『中国における外部公開情報に関する再注意喚起』

<https://www.kyocera.co.jp/premium/webportal/jp/information/2025/10/2025-10-15.html>

2-2 サイト制作時の推奨検証環境

対象 OS

対象 OS は以下の通り規定する。

- (1) Windows : Microsoft Windows 10 以降
- (2) Mac : 制作時点での最新バージョン
- (3) iOS : 制作時点での最新バージョン
- (4) Android : 制作時点での最新バージョン

対象ブラウザ

対象ブラウザは以下の通り規定する。

- (1) Windows : Edge および Chrome / Firefox 制作時点での最新バージョン
- (2) Mac : Safari / Chrome / Firefox 制作時点での最新バージョン
- (3) iOS : Safari 制作時点での最新バージョン
- (4) Android : Chrome 制作時点での最新バージョン

ブレイクポイント

ブレイクポイントは以下の通り規定し、画面解像度ごとに最適なレイアウトを提供する。

- (1)PC : 横幅 1,024px 以上
 - ※画面幅が広い状態を考慮し、必要に応じブレイクポイントを設定すること
 - ※標準テンプレートではブレイクポイント 1,280px を設定
- (2)タブレット : 横幅 768 ～ 1,023px
- (3)スマートフォン : 横幅 360 ～ 767px

アクセスログ解析ソフトのデータ分析結果より抽出した、ユーザの閲覧解像度を把握し、アクセスの上位結果をもとに推奨環境を決定すること。分析結果が不明な場合は WEB 推進係に相談すること。

2-3 ユニバーサルデザイン、アクセシビリティ、ユーザビリティへの配慮

ユニバーサルデザインへの配慮

京セラグループの Web サイトに関して、「誰でも公平に利用ができ、どのボタンを押したら、どんな反応が返ってくるか直感的にわかる Web サイト」にすることや「閲覧している環境が変わっても、ストレスなく内容が理解でき、多くの情報が取得できる Web サイト」にすることを目的に、以下の「ユニバーサルデザイン 7 原則」に準拠することを心掛けなければならない。

- (1) 誰にとっても有益で公平に利用できる。
- (2) 能力や好みによって柔軟性をもち、誰もが有益に利用できる。
- (3) 利用者の経験や知識等に左右されず、直感的に利用できる。
- (4) 周囲の状況や感覚能力に関わらず、必要な情報がすぐにわかる。
- (5) 間違った操作による危険やリスクを最小限に抑える。
- (6) 身体的負担を少なく、快適で能率的な利用ができる。
- (7) 利用しやすい大きさや広さが確保されている。

アクセシビリティへの配慮

Web サイトのアクセシビリティとは、より多くのユーザが、より多くの利用環境から、より多くの場面や状況で、Web コンテンツを使えるようにすること」を意味する。京セラグループの Web サイトでは以下に示す項目に配慮したサイト設計を行わなければならない。

知覚できること(Perceivable)

(1) 画像

img タグには alt 属性を必須とする。装飾やイメージ喚起、前後の文章と重なって冗長な場合は alt="" のように空で指定する。また、代替テキストにはその画像から得られる情報を過不足なく指定する。SEO を目的とした過剰な指定をしない。

(2) 配色とコントラスト

色によって表現されている情報は、テキストなどを加えて 2 つ以上の表現で伝えるようにする。

背景とテキストのコントラスト比は最低でも 4.5:1 を担保する。大きなテキストは 3:1 以上とする。

大きなテキストは、英語で約 24px または約 18.6px の太字、日本語で約 29.3px または約 24px の太字に相当する。

コントラスト比を測定する方法として「Colour Contrast Analyser」がある（AA を PASS させる）。

・ Colour Contrast Analyser : <https://accessibility.jp/resources/tools/cca/>

(3) HTML

ブラウザや検索エンジンなどがコンテンツを適切に理解できるように、タグや属性は仕様にそって記述する。

(4) 形や位置

スクリーンリーダーの利用者は形や色、位置などを知覚できないため、それ以外の情報を 1 つ以上加え、前後の文脈を理解していなくても、なるべくその要素だけで内容を理解できるようにする。

また、CSS によってレイアウトが変更される可能性があるため、「右の」や「上の」のように位置を指定する場合は注意する。

(5) マルチメディア

ページの主要コンテンツである動画には、動画に字幕を入れたり、動画とは別にテキストを用意する。また、一時停止や音量調節などの機能を提供する。

(6) 表組み

適切なタグや属性を使用する。複雑な表組みには scope 属性などで意味づけを追加する。また、複雑な表組みを分離するなどして、なるべくシンプルな表組みを使う。

(7) サイズ

ページの主要、かつ代替できない操作に関する要素は、44×44px 以上のサイズになるように考慮する。

操作できること(Operable)

(8) すべての機能

フォーカスインジゲーターを非表示にせず、マウスで操作可能な機能はキーボード操作でも同様に提供する。

例：展開した要素を Esc キーなどで閉じられる機能を提供する。

また、主要なナビゲーションやコンテンツは、JavaScript が使えない場合も利用者が情報を得られるようにする

例：Java Script をオフにしているユーザのために、<noscript>タグを使用する。

(9) フォーム

入力項目に対するラベルや属性値を適切に指定して実装する。

(10) 点滅、フリッカー(ちらつき)のあるコンテンツ

点滅、フリッカー（ちらつき）のあるコンテンツは避ける。どの 1 秒間においても 3 回を超える閃光を放つものがないこと。

(11) ナビゲーション

前後の文脈に含めずに、リンクに設定したテキストだけでリンク先のコンテンツの判断ができるようにする。「クリック」や「ここをクリック」などは不適切である。

(12) ページタイトル

Web ページには、主題または目的を説明したタイトルがあること。

(13) フォーカス順序

コンテンツの表示順序とフォーカスされる順序を同じにする。または、コンテンツの内容や操作性に影響を与えないようにする。

理解できること(Understandable)

(14) ページの言語

ページの基本となる言語コードを、html タグの lang 属性値に指定する。

(15) 予測可能

利用者の操作で要素の状態が変わる場合は、フォーカスではなく、クリックや Enter のような決定に関する操作によって変化させる。

また、自動で変化させる場合は利用者に通知する。通知せずに変化させて利用者を混乱させない。

(16) 誤った操作

利用者が誤って操作をした場合、元の状態に戻せるように配慮する。また、入力エラーが起きた要素の近くに、エラーの理由と修正方法を提供する。

ユーザビリティへの配慮

ユーザビリティとは、「ある製品が、特定の利用状況において、特定のユーザによって、特定の目的を達成するために用いられる有効性、効率性、満足度の度合い」を意味する。Web サイトの利用はユーザの意思と感覚に依存するという前提に立ち、京セラグループの Web サイトでは以下に示す項目に配慮したサイト設計を行わなければならない。

(1) デザイン・レイアウト

- ・ 企業名やブランドシンボルを左上に表示する等、デザインの一般慣習を守る。
- ・ サイト全体にデザインの一貫性を持たせる。
- ・ サイトのコンテンツに関連のあるグラフィックス、画像を用いる。
- ・ フレームは原則として使用しない。

(2) ナビゲーション

- ・ 一見して分かりやすい、簡潔な名称をつける。
- ・ ユーザが学習し、覚えやすい一貫性のあるナビゲーションにする。

(3) フォント

- ・ フォントサイズの固定は極力行わない。
- ・ テキストと背景色のコントラストは最大化しておく。

(4) 文章・コンテンツ

- ・ 見出し、箇条書き等を使用し、流し読みしやすい文章を心掛ける。
- ・ ハイライトや強調を使って、重要語句を分かりやすくする。

(5) 見出し・タイトル

- ・ 見出しはコンテンツの要約であり、意味の分かる簡潔な言葉にする。

(6) リンク

- ・ リンクテキスト以外のテキストに下線を引かない、リンクと同じ色を使用しない。
- ・ リンク部分に画像を使用する場合は、ボタンと認識しやすいデザインにする。
- ・ リンク先の内容を明確に短く記述する。
- ・ 複数のテキストリンクが並んでいるときは、[] あるいは | で区切るか、十分なスペースを確保する。
- ・ ファイルを設置する場合は、対象ファイルの種類（テキスト表記もしくはアイコン表記）とサイズをリンクテキストと併せて記載する。

(7) ポップアップウィンドウ

- ・ ポップアップウィンドウは基本的に使用しない。

(8) 文字化け

- ・ 特別な理由がない限り文字コードは、Shift-JIS や EUC を使わず、UTF-8 を使用する。
- ・ UTF-8 で文字化けを起こす可能性がある特殊文字（外字・記号）は使用しない。

2-4 Web ページ制作における各種前提事項

文字コードの指定

新規に作成するサイトの文字コードは UTF-8 で制作すること。

HTML 及び CSS

HTML や CSS など、W3C で検討している技術は、W3C が公式に発表している勧告を元に記述しなければならない。なお、本ガイドラインにおいては、各技術仕様の詳細説明は割愛するが、以下に示す項目には注意すること。

(1) DOCTYPE 宣言

HTML 文章の冒頭には必ず DOCTYPE を指定する。

- ・ HTML Living Standard

<!DOCTYPE html>

(2) CSS

CSS は、最新のモジュールおよび勧告に基づいて記述すること。ただし、勧告前のモジュールの利用は慎重に検討・検証すること。

- ・MDN web docs | CSS : <https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/CSS>

Java Script の使用

JavaScript を利用する際には以下の条件を満たすように注意しなければならない。

(1) 外部ファイル化

特別な理由がない限り、JavaScript は HTML に直接記述せず、外部ファイルとして管理する。

(2) 脆弱性

ライブラリのバージョンは実装時の最新版または安定版を利用して、脆弱性がないようにする。なお、脆弱性が発覚した場合は対策を講じること。

(3) 著作権

ライブラリ側で指定されている著作権に関する表記を遵守する。

lang 属性

HTML ページをコーディングする際には基本となる言語（lang 属性）を指定しなければならない。

例：<html lang="ja">

なお、各国の lang 属性には以下の様なものがある。

日本語	ja, ja-jp	英語	en, en-uk (英国向け)、en-us (米国向け)
イタリア語	it	スペイン語	es
ドイツ語	de	フランス語	fr
中国語	cn		

同一サイト内のパスの指定について

同一サイト内のパスの記述は、ルートパスもしくは相対パスを推奨とする。

例：京セラグループについて | 会社概要 (https://www.kyocera.co.jp/company/company_profile.html)

右の画像の場合、ルートパスで記述した場合には以下のように指定する。

```

```

また、相対パスで記述した場合には以下のように指定する。

```

```



ルートパスとは、https://以下を/で表記する方法。また、パスには「絶対パス」と「相対パス」の2種類あり、「絶対パス」はサイトの最初から辿ったルート、「相対パス」は現在のページから辿ったルートとなる。それぞれのリンクについて、画像やページのリンク切れを発生させないように、ルートパス、相対パス、絶対パスを使い分けるように心掛ける。

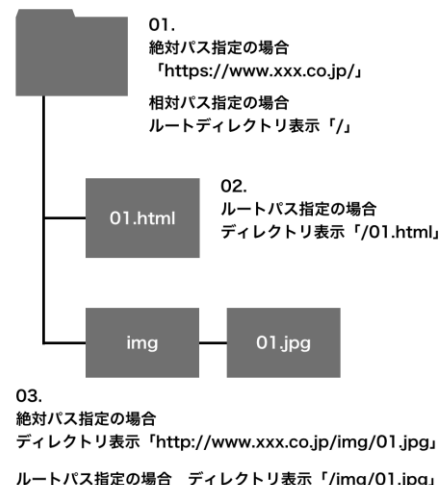
MovableType（ムーバブルタイプ）等の CMS ツールを利用してページ制作を行う場合には、制作環境の IP アドレスをテンプレートファイル等に入力したまま、ステージング環境・本番環境にデータを移行しないように注意する。

SEO への配慮

SEO は Search Engine Optimization の略です。

インターネットを利用するユーザの多くは、検索エンジンを利用して目的の Web サイトに訪れるため、Web サイトを制作する上では検索エンジンに自部門が管理するページをリストしてもらうように設計することは非常に重要である。そのため、ユーザの視点に立ったコンテンツを制作することはもちろん、検索エンジンを欺くような不正行為を行わないように注意しなければならない。SEO で取り組むべき内容や注意点に関しては、以下の項目に準拠すること。

SEO 基本事項



(1) 適切なページタイトルを付ける

ページタイトルとは、サイトの訪問者と検索エンジンの双方にそのページのトピックが何であるかを伝えるものなので、適切に設定すること。またページタイトルは title タグで指定する。

例：<title>製品情報 | 住宅用太陽光発電（ソーラー発電システム） | 京セラ</title>

(2) meta タグ（description）を設定する

meta タグ（description）とは、Google やその他の検索エンジンにページの概要を伝えるタグであるので、ページの内容を簡潔に説明するテキストを記述しなければならない。

例：<meta name="description" content="京セラの太陽光発電システムサイトです。地方自治体の助成制度と共に、お客様に合ったプランを提案させていただきます。お気軽にお問い合わせください。" />

(3) URL の構造を改善する

検索エンジンはページのリンクを辿って、ページの情報を取得する。そのため、検索エンジンにも分かりやすいサイト構造を構築すれば、ページの情報を検索エンジンが収集しやすくなる。コンテンツのカテゴリや、ファイル名に説明的な名前を利用することは、検索エンジンがそれらのドキュメントをクロールしやすくなることにもつながるため、以下の点に配慮したサイト構造の構築を心掛けなければならない。

- ・ URL にコンテンツに関連した単語を使用
- ・ ディレクトリ構造を簡潔にする

例：社会への取り組み <https://www.kyocera.co.jp/sustainability/social/index.html>

(4) 適切なアンカーテキストを書く

アンカーテキストとは、リンクが設定されたテキストのことを指し、というアンカータグの間に挟まれている。

このテキストは、ユーザと検索エンジンの双方にリンク先のページに関する情報を伝えるものなので、以下の点に配慮して適切に記述しなければならない。

- ・ 説明的なテキストを使用する。
- ・ 簡潔なテキストにする。
- ・ リンクだとすぐに分かるような書式設定にする。

例：住宅屋根への美しい意匠性と世界トップクラスの発電性能。常に時代をリードし続ける京セラの太陽光発電（ソーラー発電）システム。

(5) モバイル対応

多くの国で、スマートフォンの数がパソコンの数を上回っており、モバイルフレンドリーなウェブサイトは、オンラインでの存在感を高める上で欠かせないものである。新たに Web サイトを制作する時には、スマートフォンユーザー向けのサイトをセットで制作するように心がける。その際、下記のような事項に留意し、モバイル設定を行う。

1. モバイル対応はレスポンシブウェブデザインを推奨する

ユーザーのデバイス（パソコン、タブレット、モバイル、非視覚的ブラウザ）に関係なく、同じ URL で同じ HTML コードを配信しますが、画面サイズに応じて（つまり「レスポンシブ」に）レンダリングを変えることができます。Google では、デザインパターンとしてレスポンシブデザインを推奨している。

2. モバイル用にページを設定したことを検索エンジンに知らせる

PC サイトとスマートフォンサイトを別々の URL として制作する場合は、<link>タグ、rel="canonical" 要素、rel="alternate"要素でアノテーションを指定する。

例：パソコン用ページ（<https://www.example.com/page-1>）

```
<link rel="alternate" media="only screen and (max-width: 640px)"  
href="https://m.example.com/page-1">
```

例：モバイル用ページ（<https://m.example.com/page-1>）

```
<link rel="canonical" href="https://www.example.com/page-1">
```

※レスポンシブウェブデザインで制作されたページへの設定は必要ない。

3. リソースをクロール可能な状態にしておく

リソース（CSS、JavaScript、画像など）に Googlebot がアクセスできないページは、モバイル ブラウザでの表示や動作向けに作成されたページとして認識されない場合がある。検索エンジンがページのレンダリングに不可欠なファイルにアクセスできなくなるような robots.txt は避ける

4. モバイルユーザーが不便を感じるような誤りを避ける

再生できない動画を掲載する、間違ったリダイレクト設定を行うなど、ユーザーが快適に利用できないモバイルページは、SEO に不利に働くため、注意すること。

・モバイル SEO の概要：<https://developers.google.com/search/mobile-sites/mobile-seo?hl=ja>

5. モバイル画面での検証を徹底する

本番公開前には必ず検証モードを利用し、スマートフォン・タブレット等の各デバイスで表示崩れや動作不具合がないか事前に確認を徹底すること。

なお、可能であれば実機での確認を推奨。

※検証モードでの確認方法：<https://www.site-convert.com/archives/1507>

OGP への配慮

OGP は Open Graph Protocol の略で、ソーシャル・メディア上でリンク先の Web ページの内容を紹介するための仕様である。ユーザが実際に該当ページにアクセスしなくても、リンク先がどんなページなのか事前に把握できる。OGP が設定されていれば、Facebook のタイムラインに URL を貼り付けると自動で取得され、OGP の内容が表示されるようになる。



(1) head タグに OGP 宣言を記述

```
<head prefix="og: https://ogp.me/ns# fb: https://ogp.me/ns/fb# article: https://ogp.me/ns/article#">
```

(2) OGP 向けの meta タグの追記

ページタイトル、概要、リンク先、表示画像に関して OGP 向けの meta タグを追記する。なお、OGP 向けの meta タグには動画を表示することができる指定等もあるので、製品プロモーションに応じて対応する。

```
<meta property="og:title" content="京セラ株式会社" />
<meta property="og:description" content="素材から部品、デバイス、機器、さらにはサービスやネットワーク事業にいたるまで、多岐にわたる事業をグローバルに展開しています。" />
<meta property="og:url" content="https://www.kyocera.co.jp/" />
<meta property="og:image" content="https://www.kyocera.co.jp/_assets2/img/ogp.png" />
```

※ SNS の OGP 画像サイズは、各 SNS のガイドラインなどを参考にし設定すること。

※ URL は絶対パス（https://から）で指定すること。

Web サイトに使用するフォントへの配慮

Web サイトに使用するフォントは下記のフォントを推奨する。

- (1) 日本語 : font-family: "游ゴシック体", "YuGothic", "游ゴシック Medium", "Yu Gothic Medium", "游ゴシック", "Yu Gothic", "ヒラギノ角ゴ Pro", "Hiragino Kaku Gothic Pro", "メイリオ", Meiryo, sans-serif;
- (2) 英語 : font-family: "Noto Sans", Arial, Helvetica, sans-serif;
- (3) 中国語 : font-family: "Microsoft YaHei", "微软雅黑", sans-serif;

※英語の Noto Sans は、GoogleWeb フォントです。

<https://fonts.google.com/noto/specimen/Noto+Sans>

※ Noto Sans のフォントファイルは、英語の配布テンプレート内の /_assets/font/ にも格納されています。

※ その他の Web フォントを利用する場合は、WEB 推進係に相談すること。

※ 中国サイトの画像文字は、黒体、思源、庞门正道等の商用可能フォントの利用を遵守ください。

見出しへの配慮

見出しは原則として、テキスト文字でコーディングし、影、斜体、グラデーションを使用してはならない。また、見出しタグ h1～h6 を適切に使用する。

- (1) ページ見出しには、h1 を用いる。

テキストの場合 : <h1>ファインセラミック</h1>

また、見栄えの調整は CSS で指定するように心掛ける。

- (2) 文字の大きさの調整など、見栄えのために見出しタグは用いない。

- (3) タイトル、サブタイトルの文字は簡潔に記述するように配慮する。

長くなる場合は、1 行あたり 10 単語以上（英文の場合）にならないように注意しなければならない。

ファーストビューの高さについて

ファーストビューは、ユーザーが「このサイトは自分にとって有益なものであるかどうか」を判断するエリアとして、ページ閲覧やコンバージョンの成果に繋げるため重要となる。

そのため、各サイトにおいてファーストビューの高さは、以下数値を参考とする。

PC 表示 : 画面幅 1280px を基準とした際、高さ 600px、画面幅 1152px を基準とした際、高さ 530px

スマホ表示 : 画面幅 360px を基準とした際、高さ 600～650px

画像への alt 属性の指定

alt 属性とは画像に指定する画像の内容を適切に説明するテキストで、音声ブラウザの場合に画像の代わりに読まれるので、alt 属性を記述する際には以下の点に配慮する必要がある。

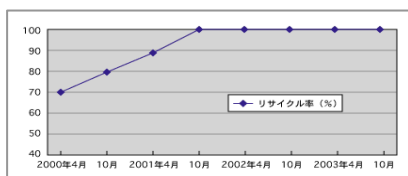
(1) テキストを装飾の目的などで画像にした場合、元のテキストを alt 属性に記述する



(2) 商品の写真などは、「写真：ABC の製品」など、簡単な説明を書き加える



(3) グラフなどは、その内容の説明を alt 属性に指定する



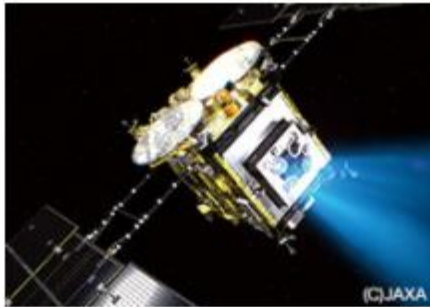
※ グラフの近くに同等の内容を示すテキストによる説明がある場合は、alt は“何々の線グラフ”でも構わない。

※ 意味を持たない画像は、テキストの読み込みが不要であることを伝えるため alt 属性を「空欄」に設定する。

画像の処理方法

Web ページに掲載する画像については、以下の項目に注意して画像処理しなければならない。

- (1) Web 上に掲載する画像を加工する場合は、京セラのブランド・イメージに合う処理を心掛けなければならない。例えば小さな画像の集合体でも、サイト全体のイメージを散漫なものにし、ブランド・イメージを損なってしまうことがある。ブランド・イメージについては各 Web サイトオーナーへ確認すること。
- (2) 画像の不必要な装飾は避ける。
- (3) 背景に過剰に色を用いることは避ける。
- (4) 画像を重ねる場合は必要最低限にし、各画像が意味のある、またはオリジナルの形状がわかる程度の処理を行う。
- (5) ドット表示が視覚的に確認できるなど解像度が低下した画像は利用しないこと。
- (6) 他社に帰属する写真はクレジット掲載有無を予め確認すること。必要場合はクレジットを適切な位置に設置する。



リュウグウに接近する「はやぶさ2」
(写真提供：宇宙航空研究開発機構
(JAXA))

簡単なアニメーションの使用について

アニメーションやマイクロインタラクションの利用は、ユーザの理解促進やブランドの伝達などが可能。しかし、多用しすぎるとユーザビリティを損なう場合がある。人間には動いているものに目が行きやすい特質があるが、アニメーションの多用は、より重要なことをユーザに伝えることができないばかりか、ブランド・イメージ自体も損ないかねない。

例えば、小さなアニメーション・アイコンがページのいたるところに使われている場合は、肝心の内容がユーザに伝わりにくくなる恐れがある。よって、アニメーションはブランドや UX の向上、ユーザビリティの向上を意識し、適度な利用を推奨する。

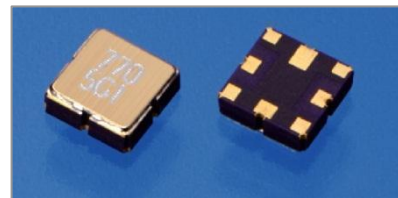
Z-index による要素の表示順序

基本は各ページの要素は、z-index 値 100 以下を利用する。グローバルナビよりも上に、モーダルなどの要素を表示する場合は、201 以上を設定する。

※外部インクルードにより、グローバルナビは z-index 値を 101–200 としている。コンテンツエリアでモーダル等を表示する際は、グローバルナビより前面か背面か重なり順を考慮し値を設定すること。

商品・製品写真の取り扱いについて

商品・製品の写真撮影の際には京セラのブランド・イメージに合う撮影を心掛けなければならない。また、Web サイト上に掲載する写真は決して大きなものではないので、商品・製品を撮影する際には、全体にピントを合わせるように配慮する。



別ウィンドウで開く際の仕様について

京セラブランドを掲げている Web サイト間のリンクは原則同ウィンドウで遷移させる。なぜなら、一般的にユーザビリティ、アクセシビリティの観点から、新しいウィンドウやタブを開かないほうがよいとされている。しかし、新しいウィンドウやタブを開くことが望ましい状況というもある。

例えば、

- ・ フォームページにおいて、例えば項目の説明文やデートピッカー（日付選択）など入力の代替手段が提供されている場合、同じウィンドウやタブで遷移すると入力作業が中断されてしまう。
- ・ セキュアなサイトにログインしている利用者が、そのサイト外のページに遷移することでログイン状態が打ち切られてしまう。
- ・ デザインが大きく変更されるサイトへの遷移など、デザインイメージやナビゲーションが大きく変わってしまう。

その場合には、リンクメニューやボタンに別ウィンドウマークを付けて、事前に新しいウィンドウで開くことを利用者に明示しなければならない。なお、合理的な理由がある場合は例外とする。

- ・ WCAG 2.0 : <https://waic.jp/docs/WCAG-TECHS/G200.html>
- ・ 別ウィンドウマークは、配布テンプレート内の /_assets2/font/ にも格納されている

フォルダ・ファイル名に使用出来る文字

サイトに利用するフォルダ・ファイル名は、半角英数字と"-"（ハイフン）を推奨し、"_"（アンダースコア）は利用しても良いものとする。

ファイルの保護について

サイトに掲載する PDF や Excel ファイルは、パスワードによる保護を有効にすることを推奨とする。

サイト内検索の実装について

京セラサイトではサイト内検索をシンクソート社のシンクサーチを採用している。京セラグループ公開環境を利用しているサイトは関連会社を含め、本サービスを利用可能。サイト内検索を実装する場合には、必ず広報室・WEB 推進係に連絡すること。ただし、独自のサーバーで運用しているサイトで利用する場合は、要相談。

- ・ シンクソート : <https://www.syncthought.com/>

3. ナビゲーション・トレイル設計

3-1 ナビゲーション・トレイル設計

3-2 タイトル・タグとタイトル・タグの記述方法

3-1 ナビゲーション・トレイル設計

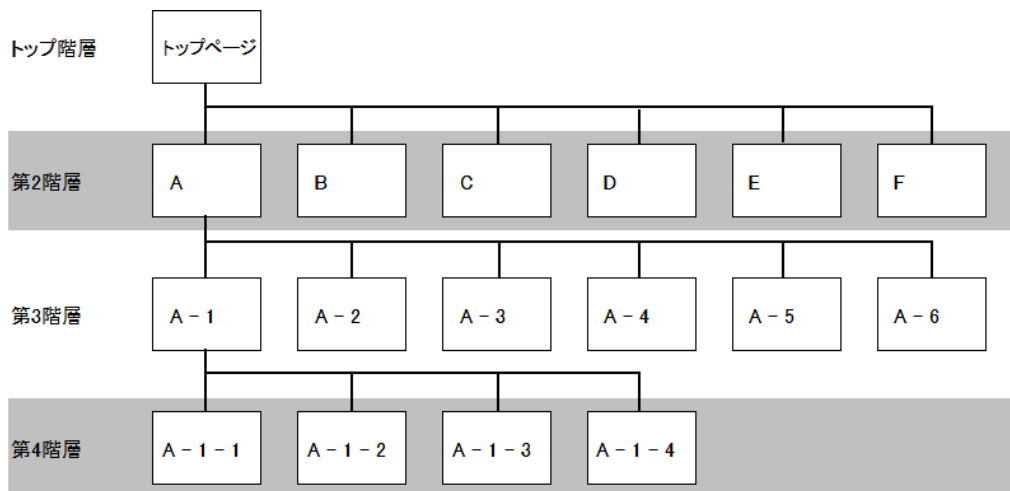
ナビゲーション・トレイル（パンくずリスト）

ナビゲーション・トレイル（パンくずリスト）とは、サイト内でたどってきた階層ごとの選択肢を示すことで、現在位置を分かりやすく表示するためのメニューである。

検索エンジンなどからトップページ以外のページに直接アクセスした場合も、ナビゲーション・トレイルによってサイトの階層構造をユーザーに理解してもらうことができるため、ユーザビリティの観点からも適切に表示しなければならない。

なお、記述方法については以下を参照すること。

サイト構造概念図



(例) 第4階層の A-1-2 のページに表記されるナビゲーション・トレイルは

Home > A > A-1 > A-1-2

と表記する。

パンくずリストの構造化データ

パンくずリストの構造化データを設置する。それにより、検索結果にパンくずリストが表示される。テンプレートは JSON-LD 形式だが、必要に応じて最適な形式を選択すること。



京セラ株式会社

<https://www.kyocera.co.jp> > ... > ディスプレイ > 製品情報

産業機器用ディスプレイ

産業機器市場向けに長年にわたり液晶ディスプレイを供給してきた実績を活かし、お客様の悩み事に対するディスプレイ関連のソリューションを提案します。

例：JSON-LD 形式のパンくずの構造化データ

```
<script type="application/ld+json">
{
  "@context": "http://schema.org",
  "@type": "BreadcrumbList",
  "name": "パンくずリスト",
  "itemListElement":
  [
    {
      "@type": "ListItem",
      "position": 1,
      "name": "Home",
      "item": "https://www.kyocera.co.jp/"
    },
    {
      "@type": "ListItem",
      "position": 2,
      "name": "法人のお客様トップ",
      "item": "https://www.kyocera.co.jp/prdct/index.html#business"
    }
  ]
}
</script>
```


■ サイト構造図のナビゲーション・トレイル（パンくずリスト）への反映方法

SEO の観点からナビゲーション・トレイル、ページタイトルは、該当ページまで表記しなければならない。

ナビゲーション・トレイルはメインコンテンツエリアの下部に記載する。

（例） Home > 第 2 階層 > 第 3 階層 > … > 該当ページ

Home > 法人お客様トップ > 半導体(IC)パッケージ

なお、記述方法については以下を参照すること。



3-2 タイトル・タグとタイトル・タグの記述方法

■ タイトル・タグとタイトル・タグの記述方法について

ページのタイトル・タグは HTML タグとして記述され、ブラウザの左方上や印刷時に表示され、検索エンジンで検索される場合にも、検索対象となるタグのため、具体的かつ分かりやすく記述することが重要である。

方針

(1) 商品・製品名に関しては、個別事業・関連会社ごとに対応する

(2) SEO 対策から、ページタイトルを先頭にして記述する。

製品名 | 製品カテゴリ | 社名 | のパターン

(例) LS-C8026N | カラー・プリンタ | 京セラドキュメントソリューションズ

(例) エコノルーツアドバンス | 住宅用太陽光発電（ソーラー発電システム） | 京セラ

(3) タイトルが長い場合には、省略して表示することを推奨する。

＜中間階層の省略例＞

(例) KYOCERA Organic Packaging Technology Line-Up | 半導体部品 | 製品情報 | 京セラ

⇒ KYOCERA Organic Packaging Technology Line-Up | 半導体部品 | 京セラ

(4) SEO の観点から分かりやすく表記するように心掛ける。

＜京セラファインセラミック館ページの例＞

(例) 京セラファインセラミック館 | 文化施設 | 京セラグループについて | 京セラ

4. ヘッダー・フッター仕様および標準テンプレート

- 4-1 標準テンプレートおよびヘッダー・フッター仕様の定義と適用ルール
- 4-2 日本語サイトについて
 - 4-2-1 標準テンプレート
 - 4-2-2 グローバルヘッダー・フッター仕様
 - 4-2-3 各種サイトナビゲーション（メインヘッダー/メインフッター）
 - 4-2-4 標準テンプレートの種類
- 4-3 Global サイトについて
 - 4-3-1 標準テンプレート
 - 4-3-2 グローバルヘッダー・フッター仕様
 - 4-3-3 各種サイトナビゲーション（メインヘッダー/メインフッター）
 - 4-3-4 標準テンプレートの種類
- 4-4 関連会社ヘッダー

4-1 テンプレートにおける仕様の定義と適用ルール

新規にサイトを制作する場合は、ヘッダー・フッター仕様を遵守しなければならない。ヘッダー・フッター仕様に遵守した標準テンプレートの利用を推奨する。以下に各サイトの定義と適用ルールを示す。

(1) 京セラ 日本語サイト

- ・ 標準テンプレートファイルを利用し、Javascript による共通管理のヘッダー・フッターを表示する（P.31 4-2-1 参照）
- ・ 標準テンプレートファイルは、複数のパターンがあるため、最適なパターン（ファイル）を利用する

(2) 京セラ Global サイト

- ・ 標準テンプレートファイルを利用し、Javascript による共通管理のヘッダー・フッターを表示する（P.58 4-3-1 参照）
- ・ 京セラ Global サイト以外の国サイトは、WEB 推進係に相談すること

(3) 関連会社

- ・ 関連会社ヘッダー（P.85 4-4 参照）の内容に沿って、ヘッダー・フッター仕様を遵守する
- ・ 「関連会社」は、標準テンプレートデータの「関連会社（ブランドシンボルのみ）」利用を推奨する

定義されたヘッダー・フッターの仕様を適用しないサイトの構築を希望する場合は、WEB 推進係に相談すること

4-2 日本語サイトについて

4-2-1 標準テンプレート（日本語サイト）

標準テンプレートは以下 URL よりダウンロードして利用すること。

<https://brand.kyocera.co.jp/ja/outside/03/04/index.html>

テンプレートファイル

京セラ日本語サイト用 ヘッダー・フッター・メインナビ

名称	ファイル名
基本（グローバルナビ、フッター）	basic.html
基本＋メインナビ（フリー）	basic_main-free.html
基本＋メインナビ（検索＋言語）	basic_main-search-lang.html
基本＋メインナビ（検索＋言語 2）	basic_main-search-lang2.html
基本＋メインナビ（検索＋リンク）	basic_main-search-link.html
基本＋メインナビ（1 行）	basic_main-line.html

右追従ボタン・法人向け回遊フッター

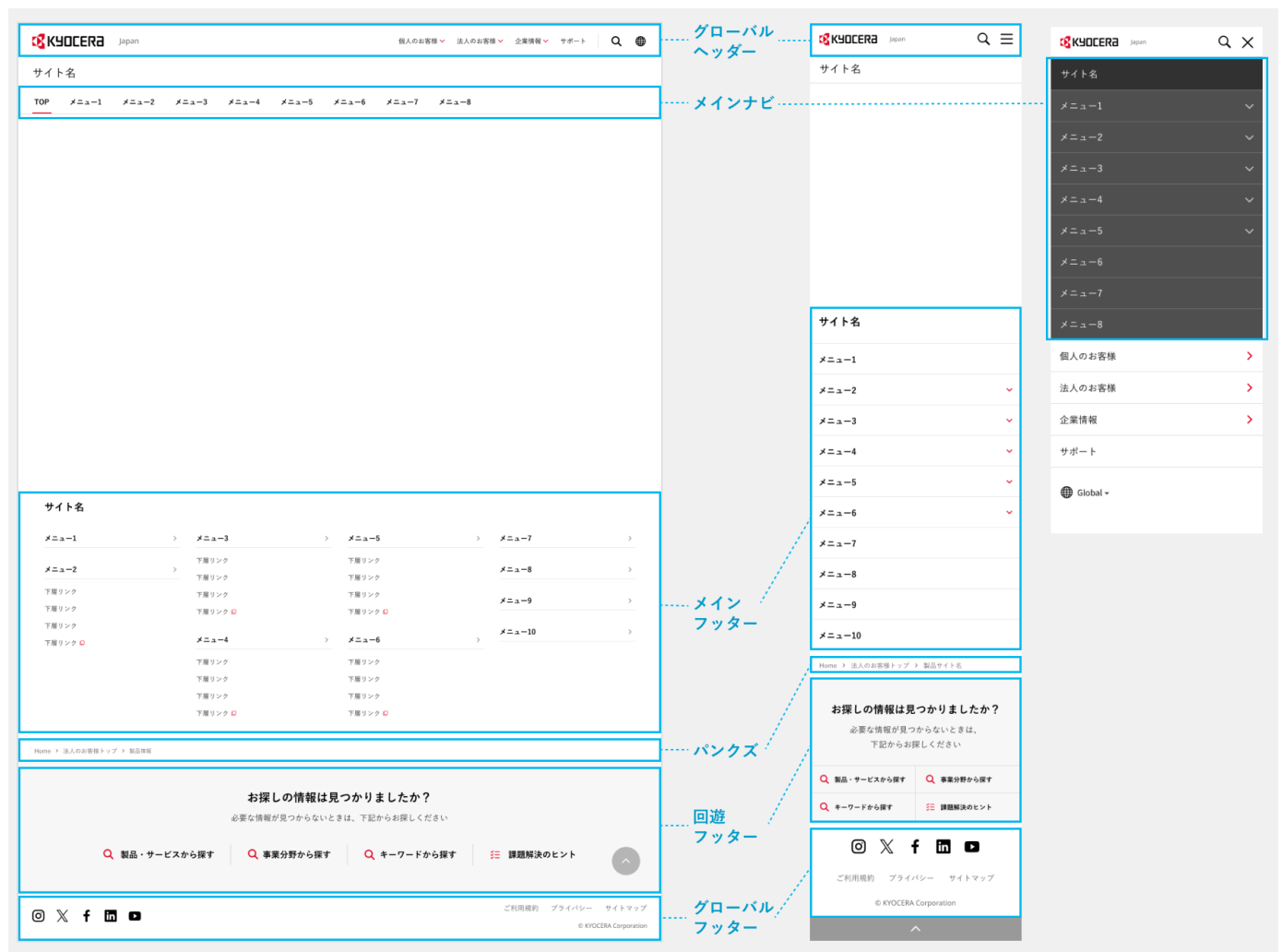
基本＋右追従ボタン 1 つ	basic_right-button1.html
基本＋右追従ボタン 2 つ	basic_right-button2.html
基本＋右追従ボタン 3 つ（展開あり）	basic_right-button3-open.html
基本＋法人向け回遊フッター	basic_bussiness-footer.html

アイコン

基本＋アイコン	basic_icon.html
---------	------------------------

パーツ名称について

仕様の説明に伴い、各パーツの名称は次のように示す



4-2-2 ヘッダー・フッター仕様

■ テンプレート名 : basic.html [サンプル](#)

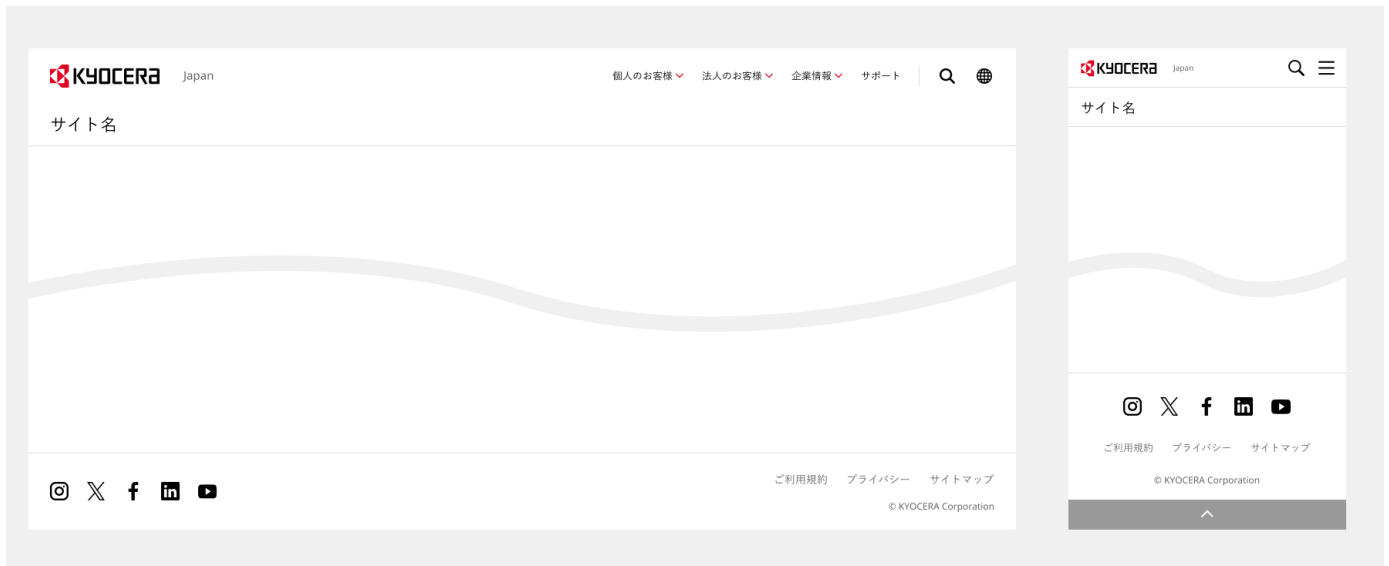
京セラサイト全体で共通となるグローバルヘッダー、グローバルフッターは、「[4-2-1 標準テンプレート\(日本語サイト\)](#)」で示したデータを利用する。Javascript で外部ファイル化したデータをテンプレートから読み込むため、変更不可。

グローバルヘッダー、グローバルフッターのみ使用する場合



- ※ <div class="local-PageTitle"></div>を削除して使用すること
- ※ PC 表示の際、サイト名の有無で下ラインの位置が変わるので注意すること

サイト名を入れた場合



グローバルヘッダー

京セラサイト全ページに設置する共通のヘッダー。

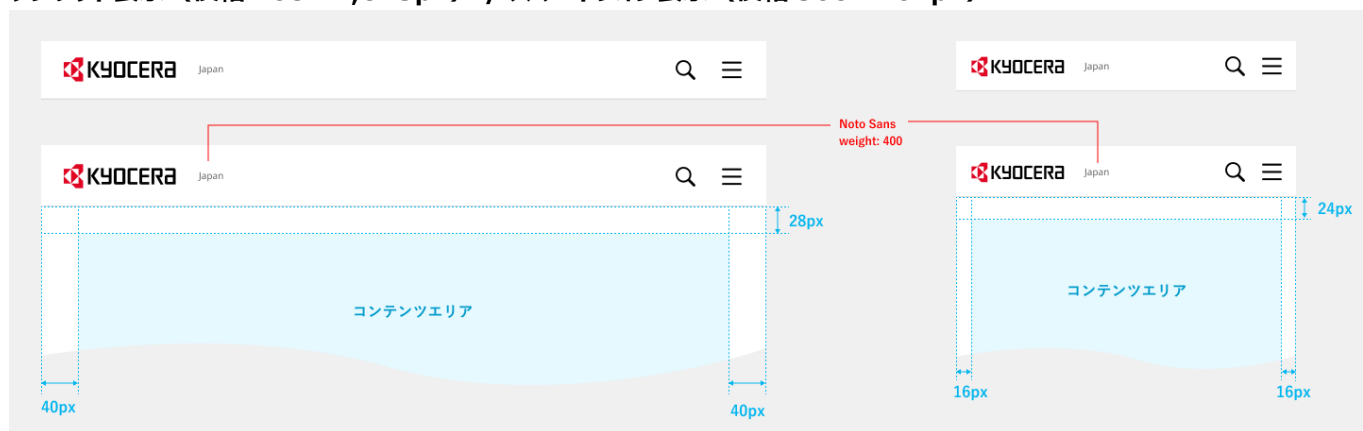
Javascript で外部ファイル化したデータをテンプレートから読み込むため、変更不可。

PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）



- ・ PC デザインのヘッダー・フッターは最大表示幅 1,368px を考慮して作成すること
- ・ コンテンツエリアの上余白は 28px、左右マージンは 52px の余白を設定し、コンテンツエリアの幅は、最大 1,312px とすること。（メインビジュアルなど画面幅をフルに用いる場合を除く）

タブレット表示（横幅 768～1,023px） / スマートフォン表示（横幅 360～767px）



- ・ コンテンツエリアの左右マージンは、タブレット 40px・スマートフォン 16px の余白を設定する。
- ・ コンテンツエリアの上余白は、タブレット 28px・スマートフォン 24px を設定する。（メインビジュアルなど画面幅をフルに用いる場合を除く）

グローバルナビの追従について

ナビの追従はデフォルト設定していない。追従する場合、body タグに「class="-global-header-follow"」を付与する。

グローバルメニュー展開

個人のお客様、法人のお客様、企業情報、それぞれクリックでドロップダウンメニューが表示/非表示する。

PC 表示 (横幅 1,024~最大幅 1,368px)

第2階層目 > 第3階層目表示

KYOCERA Japan

個人のお客様 ▼ 法人のお客様 ▼ 企業情報 ▼ サポート

Q GLOBE

法人のお客様 >

X

製品・サービスから探す >

事業分野から探す >

キーワードから探す >

課題解決のヒント >

京セラをもっと知る >

イベント情報

カテゴリを絞り込む

すべて

素材・部材

電子部品・複合部品・モジュール

機器・工具

ソリューション・サービス・システム

医療関係者向け >

エレクトロニクス用部材

FA・産業機械用部材

加飾・装飾用パーツ

電子部品

光学部品（レンズ・光学

プリントデバイス

-

第2階層目 > 第3階層目 > 第4階層目表示

KYOCERAJapan

個人のお客様▼法人のお客様▼企業情報▼サポート

検索アイコン地球儀アイコン

法人のお客様>

製品・サービスから探す>

製品・サービスから探す>

事業分野から探す>

キーワードから探す>

課題解決のヒント>

京セラをもっと知る>

イベント情報

素材・部品

エレクトロニクス用部材>

FA・産業機械用部材>

加飾・装飾用パーツ>

電子部品・複合部品・モジュール

電子部品>

車載モジュール>

ディスプレイ>

- >

第2階層目 > 第3階層目 > 第4階層目 > 第5階層目表示

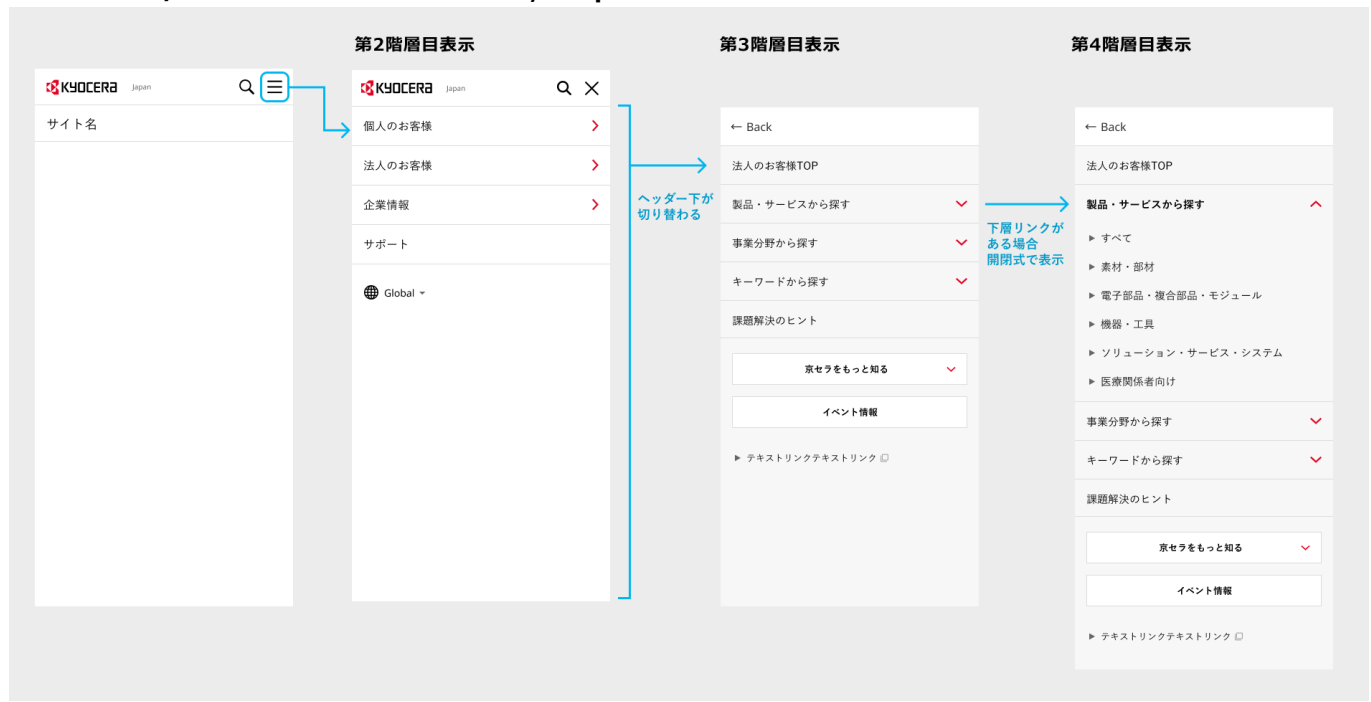
<div> <div>KYOCERA</div> <div>Japan</div> </div> <div> <div>個人のお客様</div> <div>法人のお客様</div> <div>企業情報</div> <div>サポート</div> </div> <div> <div>Q</div> <div>地球儀</div> </div>			
<div>法人のお客様</div> <div>製品・サービスから探す</div> <div>事業分野から探す</div> <div>キーワードから探す</div> <div>課題解決のヒント</div> <div>京セラをもっと知る</div> <div>イベント情報</div>	<div>製品・サービスから探す</div> <div>素材・部品</div> <div>エレクトロニクス用部材</div> <div>FA・産業機械用部材</div> <div>加飾・装飾用パーツ</div> <div>電子部品・複合部品・モジュール</div> <div>電子部品</div> <div>車載モジュール</div> <div>ディスプレイ</div> <div>光学部品（レンズ・ユニット）</div> <div>プリントデバイス/プリントソリューション</div>	<div>電子部品</div> <div>アンテナ</div> <div>温調部品・サーモ・ペルチェモジュール</div> <div>コネクタ</div> <div>コンデンサ/キャパシタ</div> <div>タイミングデバイス</div> <div>電気二重層</div> <div>パワー半導体</div> <div>バリスタ</div> <div>KYOCERA AVX Components 製品</div> <div>SAWデバイス</div> <div>RFIDタグ</div>	

第2階層目 > 第3階層目 > 第4階層目 > 第5階層目 > 第6階層目表示

<div> <div>KYOCERA</div> <div>Japan</div> </div> <div> <div>個人のお客様</div> <div>法人のお客様</div> <div>企業情報</div> <div>サポート</div> </div> <div> <div>Q</div> <div>地球儀</div> </div>			
<div>法人のお客様</div> <div>製品・サービスから探す</div> <div>事業分野から探す</div> <div>キーワードから探す</div> <div>課題解決のヒント</div> <div>京セラをもっと知る</div> <div>イベント情報</div>	<div>製品・サービスから探す</div> <div>素材・部品</div> <div>エレクトロニクス用部材</div> <div>FA・産業機械用部材</div> <div>加飾・装飾用パーツ</div> <div>電子部品・複合部品・モジュール</div> <div>電子部品</div> <div>車載モジュール</div> <div>ディスプレイ</div> <div>光学部品（レンズ・ユニット）</div> <div>プリントデバイス/プリントソリューション</div>	<div>電子部品</div> <div>アンテナ</div> <div>温調部品・サーモ・ペルチェモジュール</div> <div>コネクタ</div> <div>すべて</div> <div>基板対基板コネクタ</div> <div>FPC/FFC用コネクタ</div> <div>電線対電線/基板コネクタ</div> <div>バックプレーンコネクタ</div> <div>スイッチングコネクタ</div> <div>インターフェースコネクタ</div> <div>カードエッジコネクタ</div> <div>コンデンサ/キャパシタ</div>	

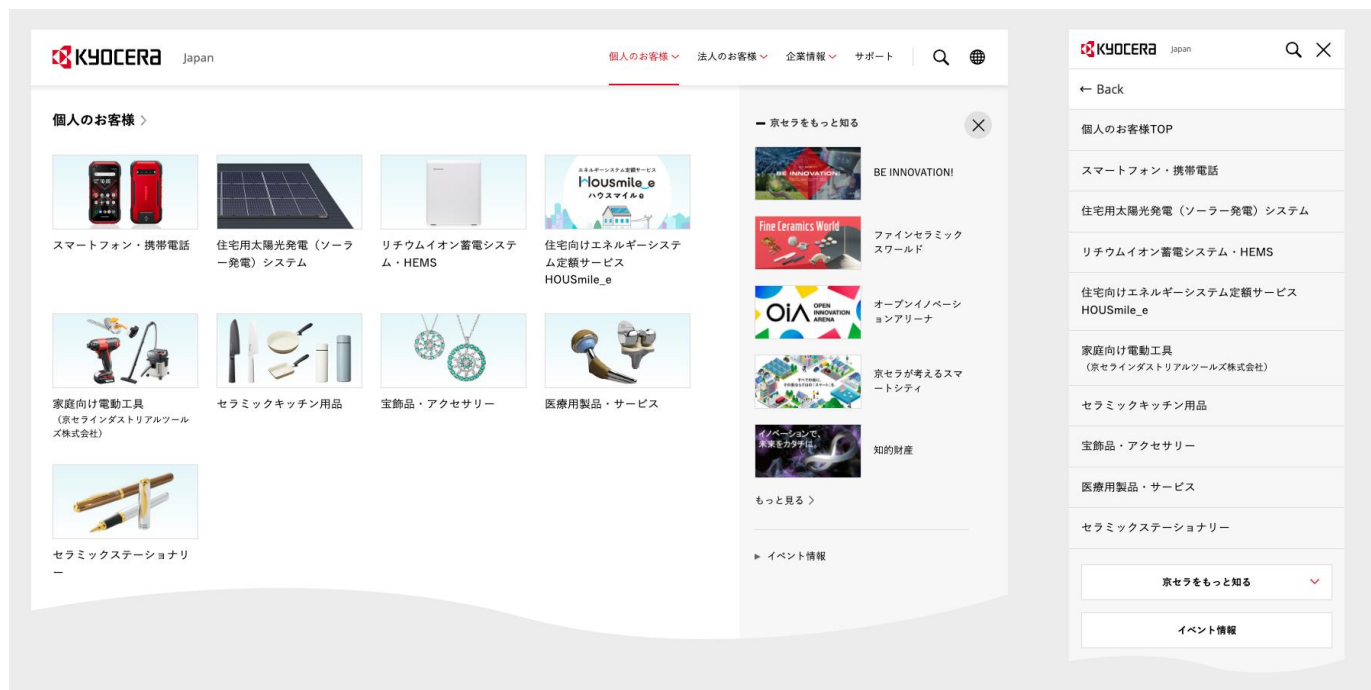
- ・ 最右の列のみ、開閉式による縦展開となり、「▼」下矢印が付く。
- ・ 最大 6 階層まで展開する。

スマートフォン / タブレット表示（横幅 360～1,023px）



- ・ 2 階層目にある個人向け・法人向け・企業情報の各下層へのメニューは、右からスライドインして表示する。
- ・ 3 階層目に下層がある場合は開閉式で縦に展開する。
- ・ スマートフォン・タブレットでのメニュー展開は、4 階層目までとなる（PC は最大 5 階層まで可能）
- ・ 「←Back」より、2 階層目表示に戻ることができる。

個人のお客様



企業情報

PC 表示では、第 4 階層目まで展開。スマートフォン・タブレット表示では、第 3 階層目までの展開となる。

The image displays two versions of the KYOCERA Japan corporate website. The top version is the PC view, and the bottom version is the mobile view. A blue arrow points from the 'About Kyocera Group' link in the PC sidebar to the corresponding expanded menu in the mobile view.

PC View (Top):

- Header: KYOCERA Japan, navigation links (個人のお客様, 法人のお客様, 企業情報, サポート), search, and globe icons.
- Sidebar (企業情報):
 - 京セラグループについて (highlighted with a blue box and arrow)
 - 株主・投資家の皆様へ
 - サステナビリティ
 - ダイバーシティ&インクルージョン
 - ニュースルーム
 - 採用情報
 - 創業から現在まで
- Main Content (京セラをもっと知る):
 - BE INNOVATION!
 - ファインセラミックスワールド
 - オープンイノベーションアリーナ
 - 注目のテクノロジー
 - 京セラが考えるスマートシティ
 - イベント情報

Mobile View (Bottom):

- Header: KYOCERA Japan, search, and globe icons.
- Sidebar (企業情報):
 - 京セラグループについて (expanded menu)
 - 株主・投資家の皆様へ
 - サステナビリティ
 - ダイバーシティ&インクルージョン
 - ニュースルーム
 - 採用情報
- Main Content (京セラをもっと知る):
 - BE INNOVATION!
 - ファインセラミックスワールド
 - オープンイノベーションアリーナ
 - 注目のテクノロジー
 - 京セラが考えるスマートシティ

Mobile View (Right):

- Back button
- 京セラグループについて
- 株主・投資家の皆様へ
- サステナビリティ
- ダイバーシティ&インクルージョン
- ニュースルーム
- 採用情報
- 創業者 稲盛和夫
- 京セラ女子陸上競技部
- ソーシャルメディアアカウント
- 広告情報
- 京セラをもっと知る (selected)
- イベント情報

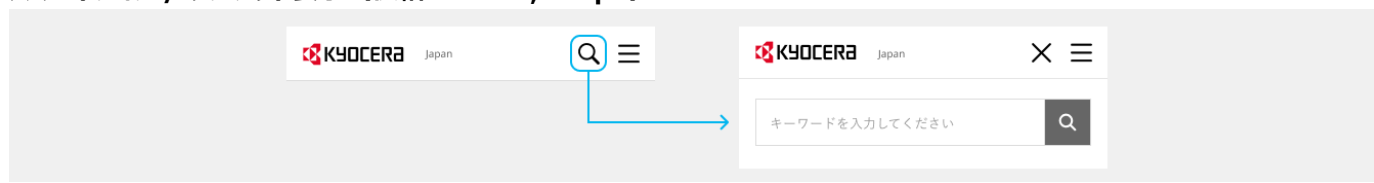
サイト内検索メニュー展開

検索アイコンクリックで、プルダウン表示/非表示

PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）

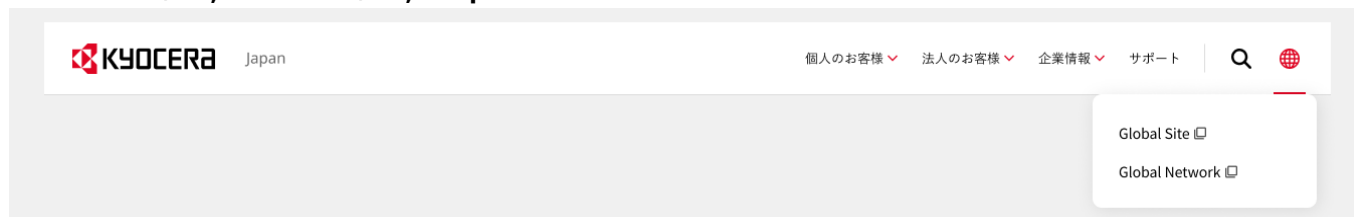



スマートフォン / タブレット表示（横幅 360～1,023px）



Global Site / Global Network へのリンク

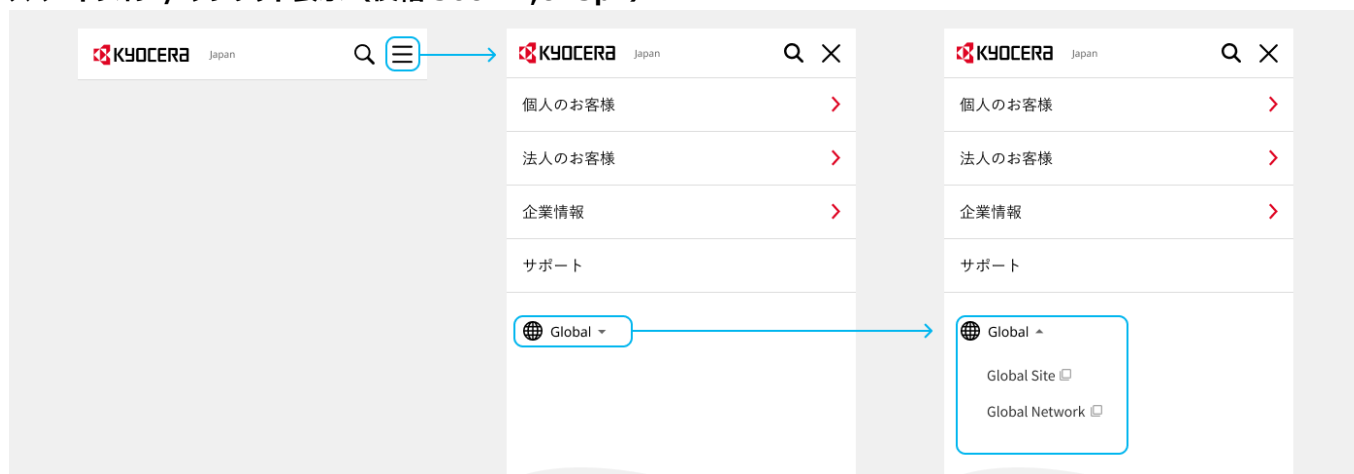
PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）



※「」ボタンをクリックで、プルダウン表示/非表示

※ プルダウン以外のエリアをクリックすることでプルダウンを閉じることが可能

スマートフォン / タブレット表示（横幅 360～1,023px）



※ Global Site へのリンクは、開閉式ボタンとなっている。

グローバルフッター

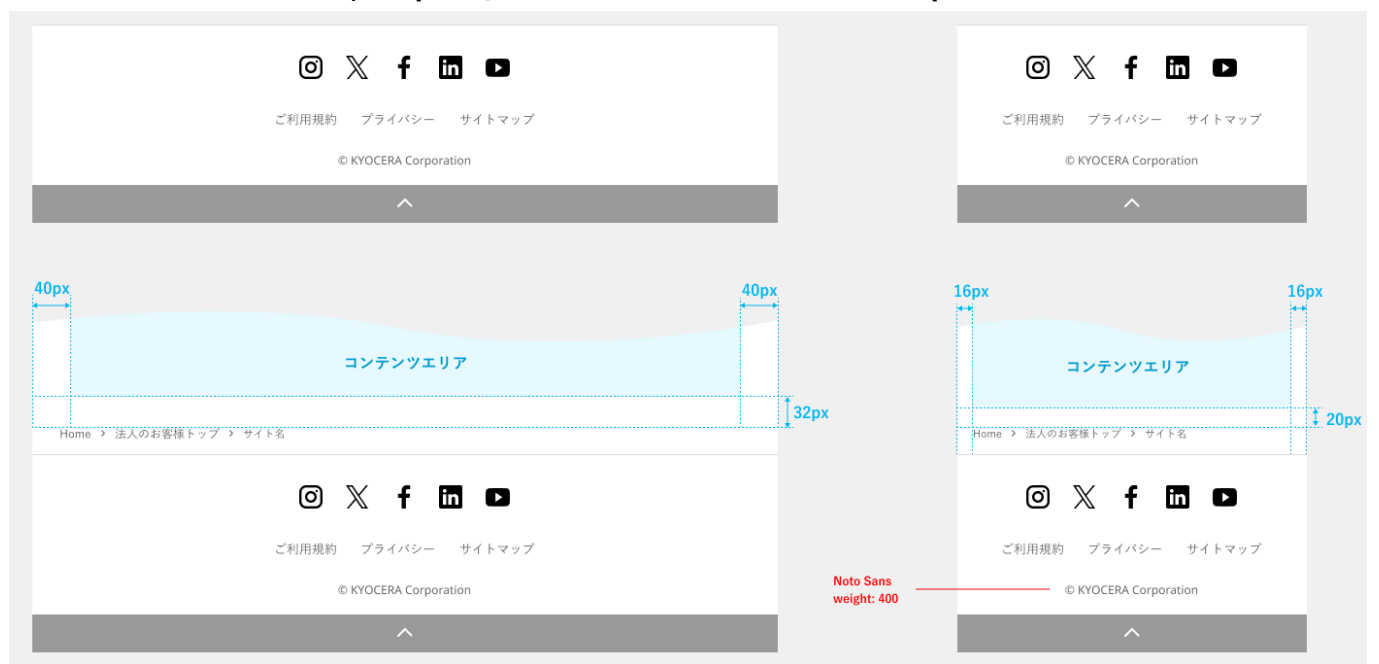
京セラサイト全ページに設置する共通のフッター。Javascript で外部ファイル化したデータをテンプレートから読み込むため、変更不可。

PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）



- ※ PC 表示では、ページトップボタンが右下固定で追従する。
- ※ PC デザインのフッターは最大表示幅 1,368px を考慮して作成すること
- ※ コンテンツエリアの左右マージンは 52px の余白を設定し、コンテンツエリアの幅は、最大 1,312px とすること。
(画面幅をフルに用いて背景画像を入れる場合を除く)

タブレット表示（横幅 768～1,023px） / スマートフォン表示（横幅 360～767px）



- ※ スマホ/タブレット表示では、最下部に配置され追従しない。
- ※ コンテンツエリアの左右マージンは、タブレット 40px・スマートフォン 16px の余白を設定する。
(画面幅をフルに用いて背景画像を入れる場合を除く)

4-2-3 各種サイトナビゲーション（メインナビ/メインフッター）

京セラサイト全体の共通化と制作効率の向上を目的とし、5 パターンのテンプレートを用意している。
一貫したユーザビリティ保持のため標準テンプレートを用いる。要素の追加・編集・削除は、各サイトの仕様にあわせ、カスタマイズして利用可。デザイン含めた仕様変更を検討する場合は、事前に WEB 推進係に相談する。

基本形（PC）

メインナビについて

メインナビとは、京セラサイト内にある製品サイトや各種サイトに用いるヘッダー下のナビゲーションである。PC 表示では、画面幅に応じてフォントサイズや余白が設定されており、1,280px をブレイクポイントとする。

PC 表示（横幅 1,280～最大幅 1,368px）

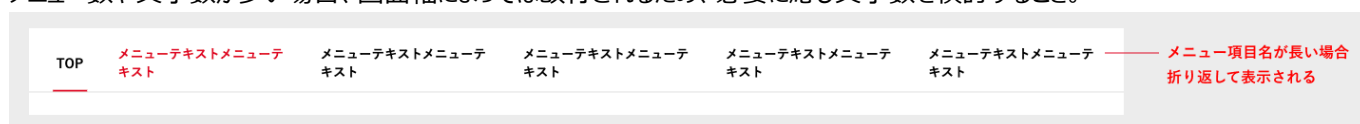


PC 表示（横幅 1,024～1,279px）



注意点：

メニュー数や文字数が多い場合、画面幅によっては改行されるため、必要に応じ文字数を検討すること。



ドロップダウンメニュー


メニュー項目をクリック操作により、ドロップダウンメニューが表示される。

さらに親リストをクリックで、下層リンクの列が右側に展開される。展開する項目には「>」矢印が付く。

最大 3 列まで表示が可能。サイト構造により利用の有無や、列数表示を使い分けること。

3 列見せ

第2階層目 > 第3階層目表示

 Japan

個人のお客様 ▼ 法人のお客様 ▼ 企業情報 ▼ サポート

Q 地球儀

製品サイト名

TOP メニュー1 メニュー2 メニュー3 メニュー4 メニュー5 メニュー6 メニュー7 メニュー8

大カテゴリ >

親リスト >

親リスト >

親リスト

第2階層目 > 第3階層目 > 第4階層目表示

大カテゴリ >

親リスト >

親リスト >

親リスト

中カテゴリ >

サブカテゴリ

子リスト >

子リスト >

子リスト

サブカテゴリ

子リスト >

子リスト >

子リスト

すべての製品を見る

第2階層目 > 第3階層目 > 第4階層目 > 第5階層目表示

大カテゴリ >

親リスト >

親リスト >

親リスト

中カテゴリ >

サブカテゴリ

子リスト >

子リスト >

子リスト

サブカテゴリ

子リスト >

子リスト >

子リスト

すべての製品を見る

小カテゴリ

孫リスト

孫リスト

孫リスト

孫リスト

孫リスト

孫リスト

- ・「大カテゴリ」「中カテゴリ」の見出しは、リンクの有無を選択可能。
- ・中カテゴリの列では、リスト数が多い場合を想定し「すべての製品を見る」ボタンの設置が可能。
- ・中カテゴリには、サブタイトルでリストを区切ることが可能。
- ・いずれも、HTML 編集にてカスタマイズすることを想定。

2 列見せ

第2階層目 > 第3階層目表示

第2階層目 > 第3階層目 > 第4階層目表示

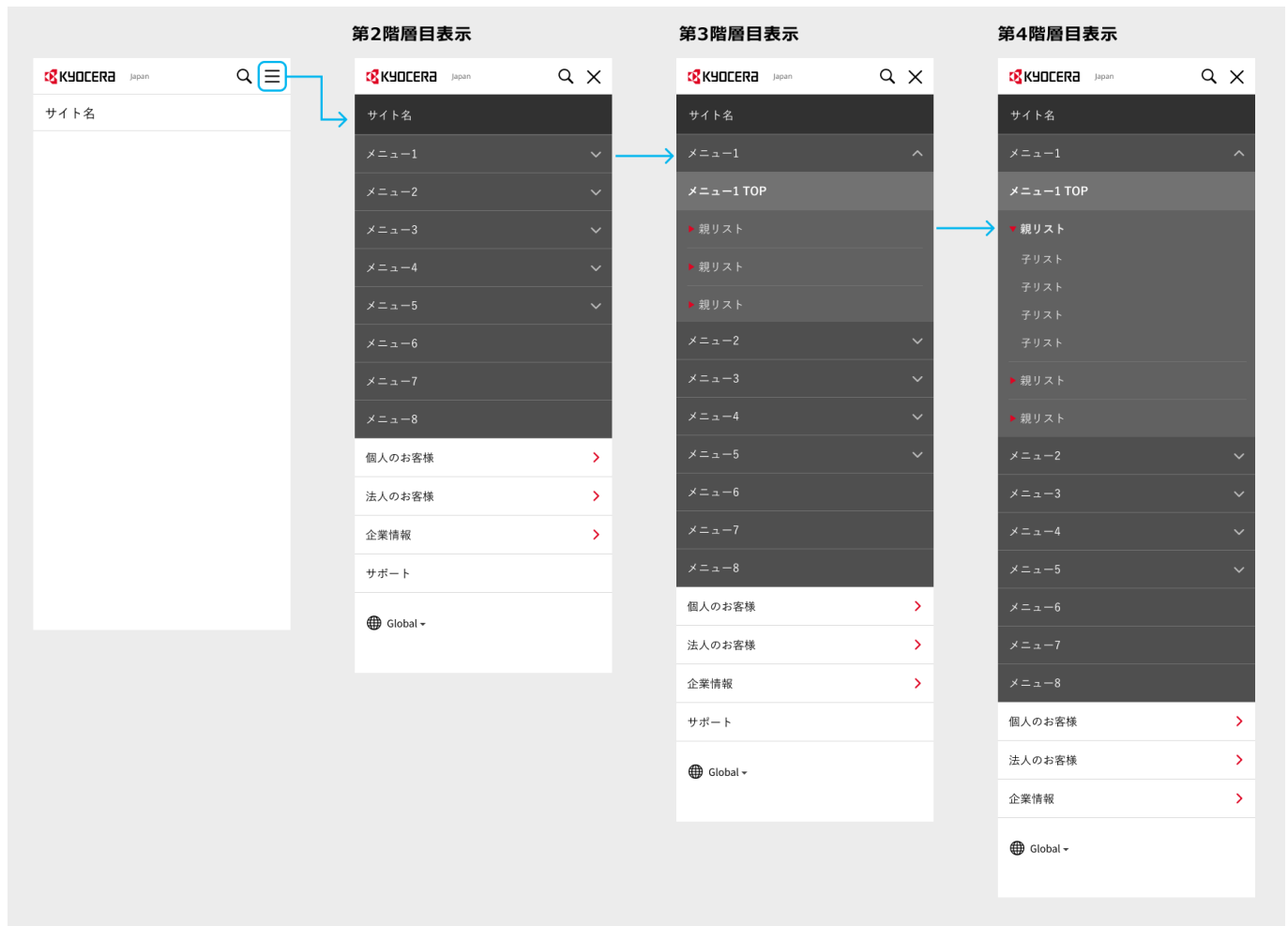
- ※ フォントサイズ・フォント・カラーは基本的に変更不可。
- ※ ドロップダウンナビを利用しない場合については削除すること。
- ※ テンプレートに含まれているドロップダウンナビのソースを削除、または変更して利用すること。

基本形 (スマートフォン/タブレット)

メインナビについて

スマートフォン/タブレットでは、メニューアイコンよりメニューリストが展開され、ヘッダー直下にグレー背景枠として表示される。

- ・ 第2階層目のリストに階層がある場合は「▼」下矢印が付き、縦に展開する。
- ・ 第3階層目のリストに階層がある場合は「▶」右矢印が付き、縦に展開する。
展開時は「▼」下矢印に切り替わる。
- ・ 最大4階層目まで展開可能。



※ フォントサイズ・フォント・カラーは基本的に変更不可。

※ ドロップダウンナビを利用しない場合については、削除すること。

※ テンプレートに含まれているドロップダウンナビのソースを削除、または変更して利用すること。

メインフッターについて

ページの下部にサイトマップを設置する際に用いる。サイト名を第 1 階層とし、第 3 階層までの表示となる。

PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）

- ・ 第 2 階層のメニュー項目がリンクする場合は、「>」右矢印アイコンを表示すること。
- ・ サイト構造によって、列数は調整すること。



※ フォントサイズ・フォント・カラーは基本的に変更不可。

※ 法人向け製品サイトに用いる場合は、メインフッターの設置は必須とする。利用しない場合は、WEB 推進係へ要相談。

NG 例：

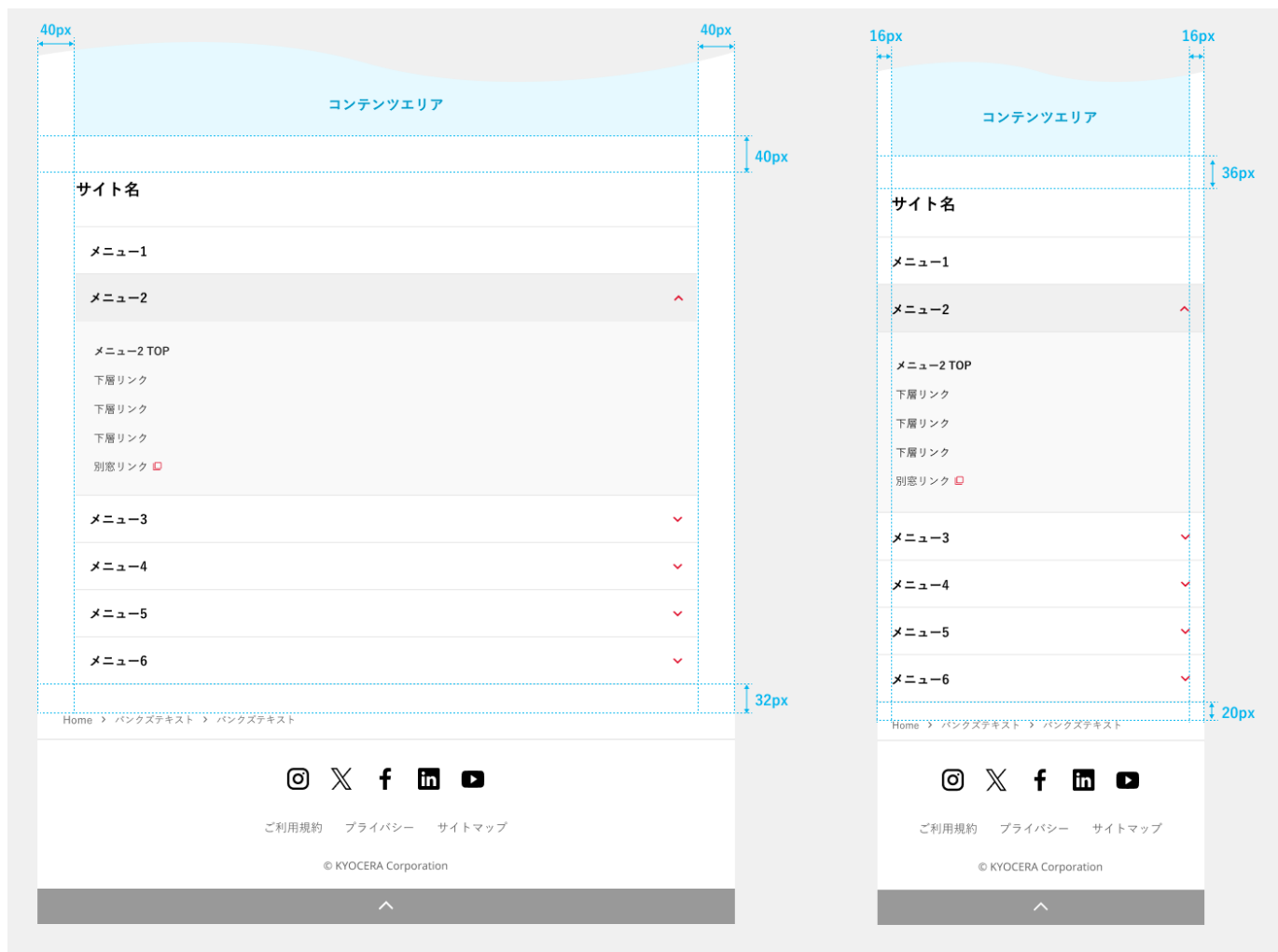
第 3 階層までの表示とし、以降の階層をインデントでの表示や、見出し区切りは用いないこと。



タブレット表示（横幅 768～1,023px） / スマートフォン表示（横幅 360～767px）

- ・ 第 2 階層メニューに下層リンクがある場合は、「▼」下矢印が付き、縦に展開する。

- ・ その際、扉ページへのリンク（下画像：メニュー2 TOP）が設置される。



※ フォントサイズ・フォント・カラーは基本的に変更不可。

※ 法人向け製品サイトに用いる場合は、メインフッターの設置は必須とする。利用しない場合は、WEB 推進係へ要相談。

4-2-4 標準テンプレートの種類

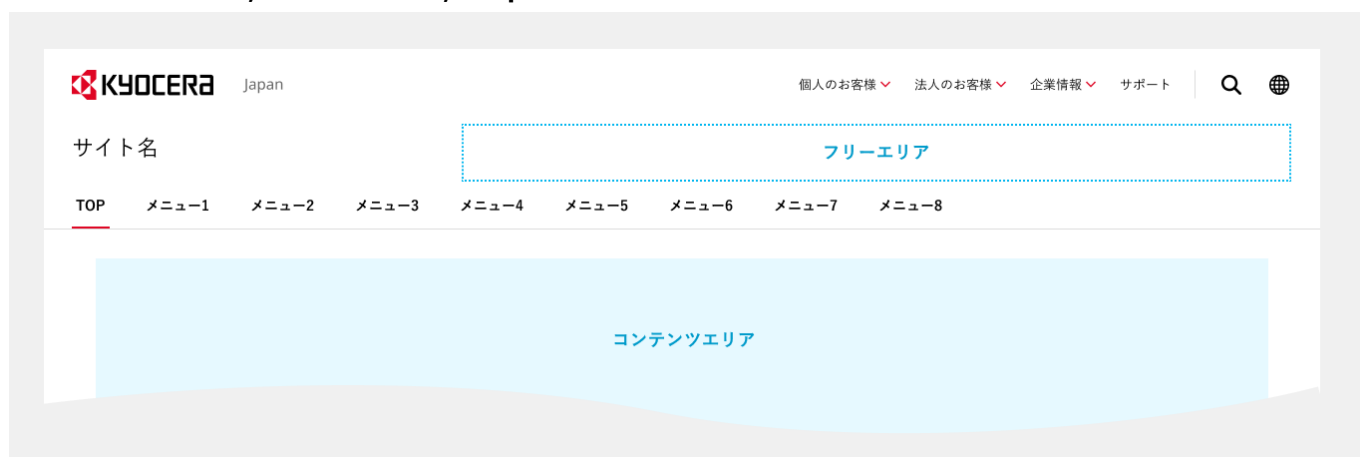
「[4-2-3 各種サイトナビゲーション](#)」での基本形をもとに数種類のテンプレートを用意している。
サイト構造に応じて用意されたテンプレートを用いて作成すること。

基本形+メインナビ（フリーエリア）

■ テンプレート名 : basic_main-free.html [サンプル](#)

サイト名の右エリアに必要なに応じて、リンクやボタンなど要素を追加可能。
ただし追加する際は、PC 最小幅での表示や、スマートフォンおよびタブレット表示を十分に考慮すること。

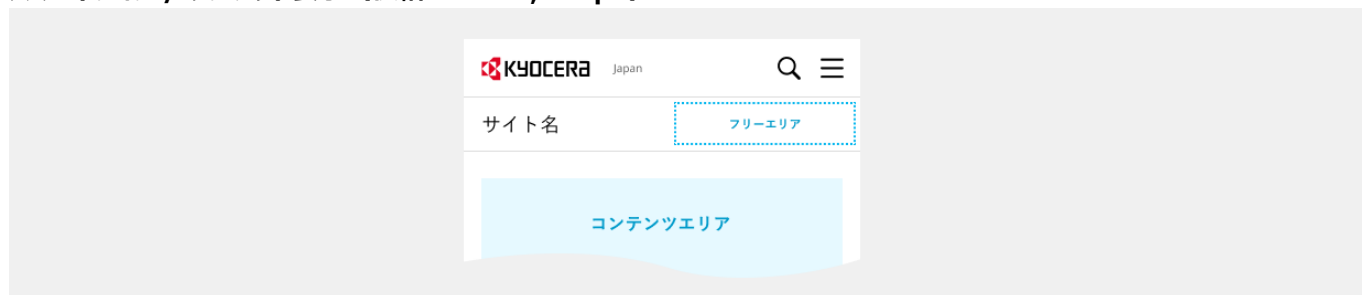
PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）



※ メインナビは、ドロップダウンメニューを含む。不要な場合は削除可。

※ メインナビは上部固定で追従する。（下スクロールでは表示されず、上スクロールで表示）追従なしの設定をする場合、body タグに「class="-local-mainnavi-follow-none"」を付与する。

スマートフォン / タブレット表示（横幅 360～1,023px）



※ フリーエリアの範囲は任意とする。

※ フォントサイズ・フォント・カラーは基本的に変更不可。

※ 法人向け製品サイトに用いる場合は、メインフッター・回遊フッターの設置は必須とする。
利用しない場合は、WEB 推進係へ要相談。

基本形+メインナビ（検索・言語切替 1）

■ テンプレート名 : basic_main-search-lang.html [サンプル](#)

サイト名の右エリアに検索窓と言語切替ボタンを設置。

特定のサイトに絞った検索を行う場合や、他言語サイトへの誘導が必要な際に用いる。


PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）

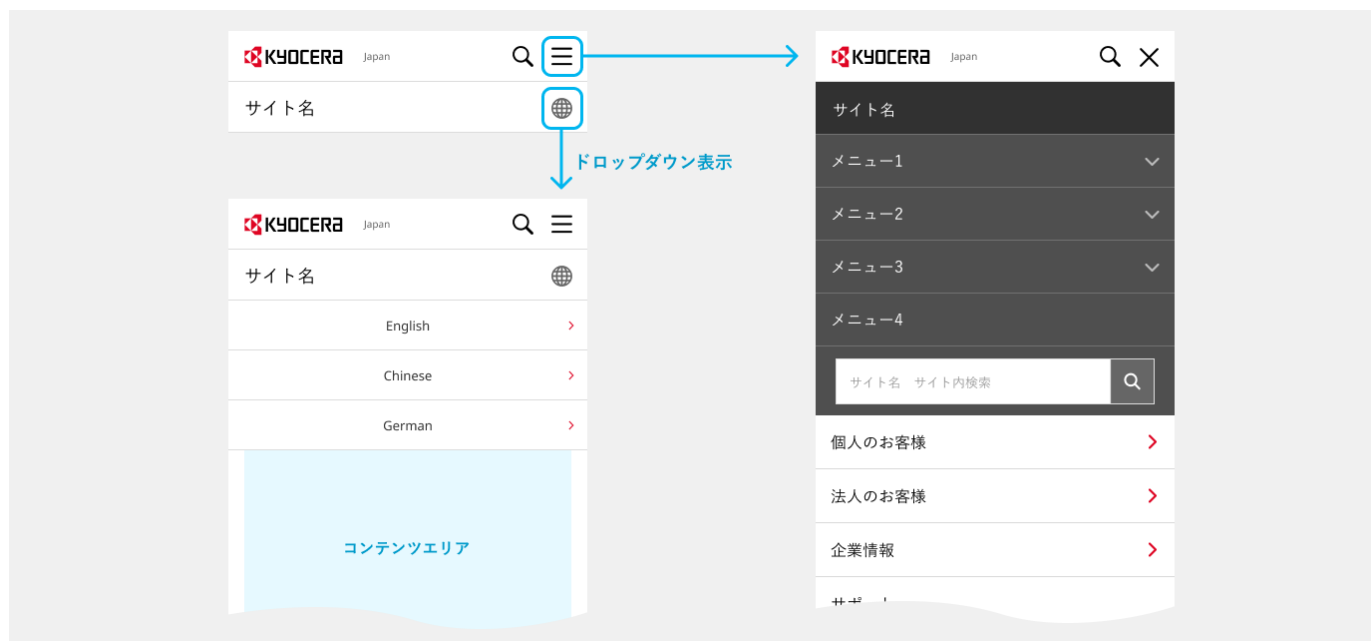


※ メインナビは、ドロップダウンメニューを含む。不要な場合は削除可。

スマートフォン / タブレット表示（横幅 360～1,023px）

京セラサイト全体の検索との誤操作を防ぐため、メニューボタンからの展開画面に検索窓を収めている。

言語切替は、サイト名右側の「」ボタンから選択可能。※別パターンあり（後述の「検索・言語切替 2」参照）



基本形+メインナビ（検索・言語切替 2）

■ テンプレート名 : basic_main-search-lang2 [サンプル](#)

PC 表示は、前述の「基本形+メインナビ（検索・言語切替 1）」と同じである。

PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）

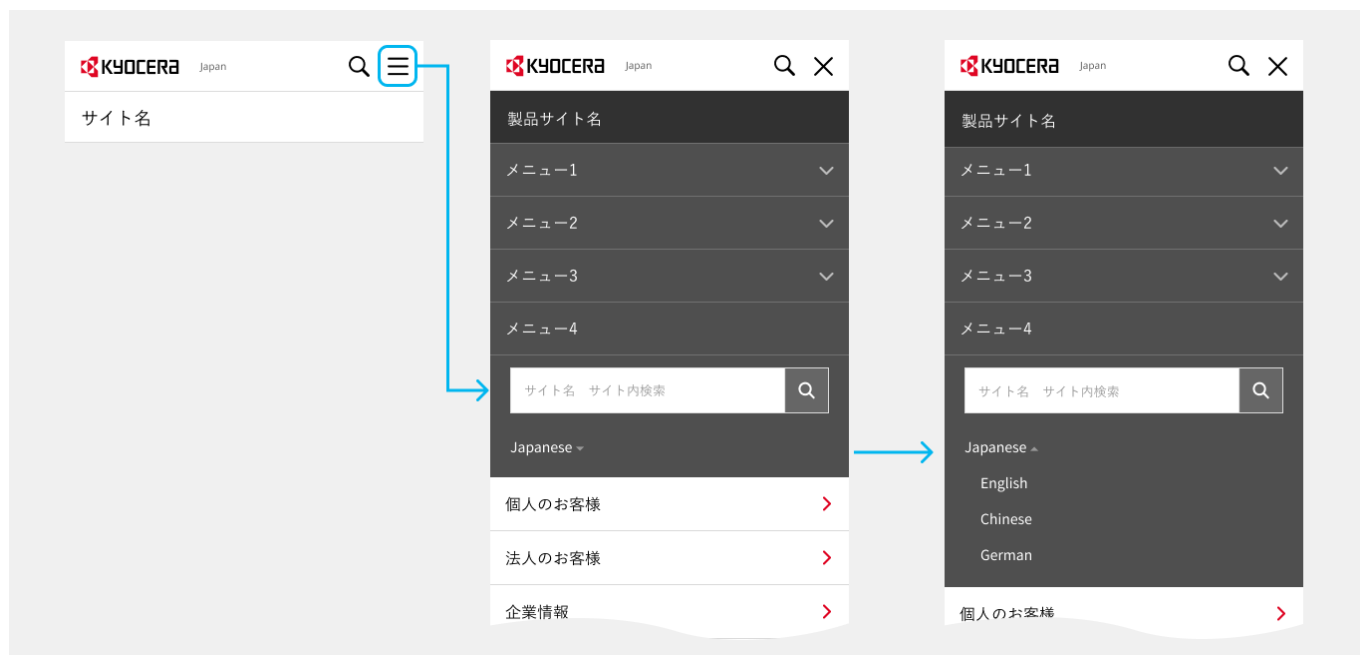


※ メインナビは、ドロップダウンメニューを含む。不要な場合は削除可。

スマートフォン / タブレット表示（横幅 360～1,023px）

京セラサイト全体の検索との誤操作を防ぐため、メニューボタンからの展開画面に検索窓を収めている。

検索窓の下に開閉式の言語切替ボタンが配置されている。



基本形+メインナビ（検索・テキストリンク）

■ テンプレート名 : basic_main-search-link.html [サンプル](#)

サイト名の右エリアに検索窓とリンクを設置。

特定のサイトに絞った検索を行う場合や、他言語サイトや重要度の高いページへの誘導に用いる。

PC 表示は共通（横幅 1,024～最大幅 1,368px）

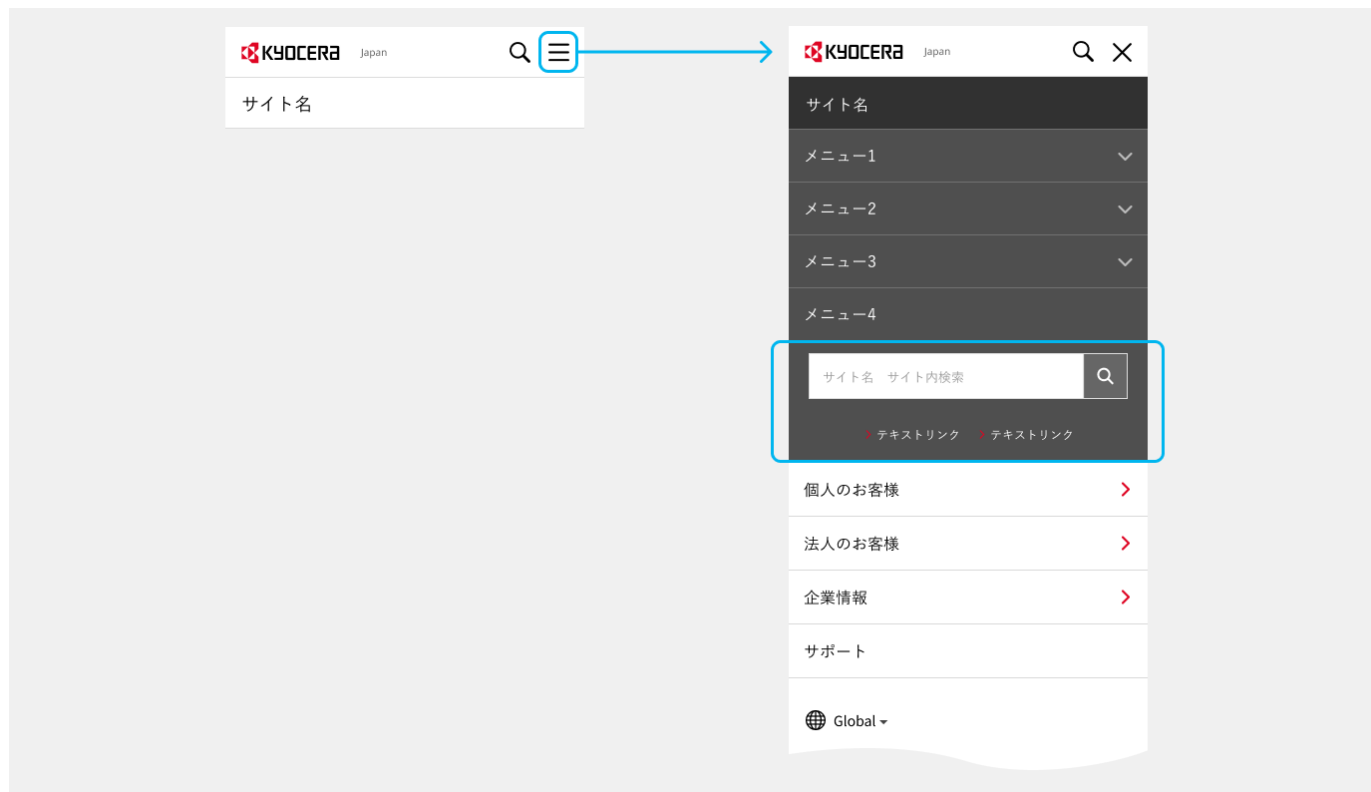


※ メインナビは、ドロップダウンメニューを含む。不要な場合は削除可。

スマートフォン / タブレット表示（横幅 360～1,023px）

京セラサイト全体の検索との誤操作を防ぐため、メニューボタンからの展開画面に検索窓を収めている。

検索窓の下にテキストリンクが配置されている。



基本形+メインナビ（1 段組）

■ テンプレート名 : basic_main-line.html [サンプル](#)

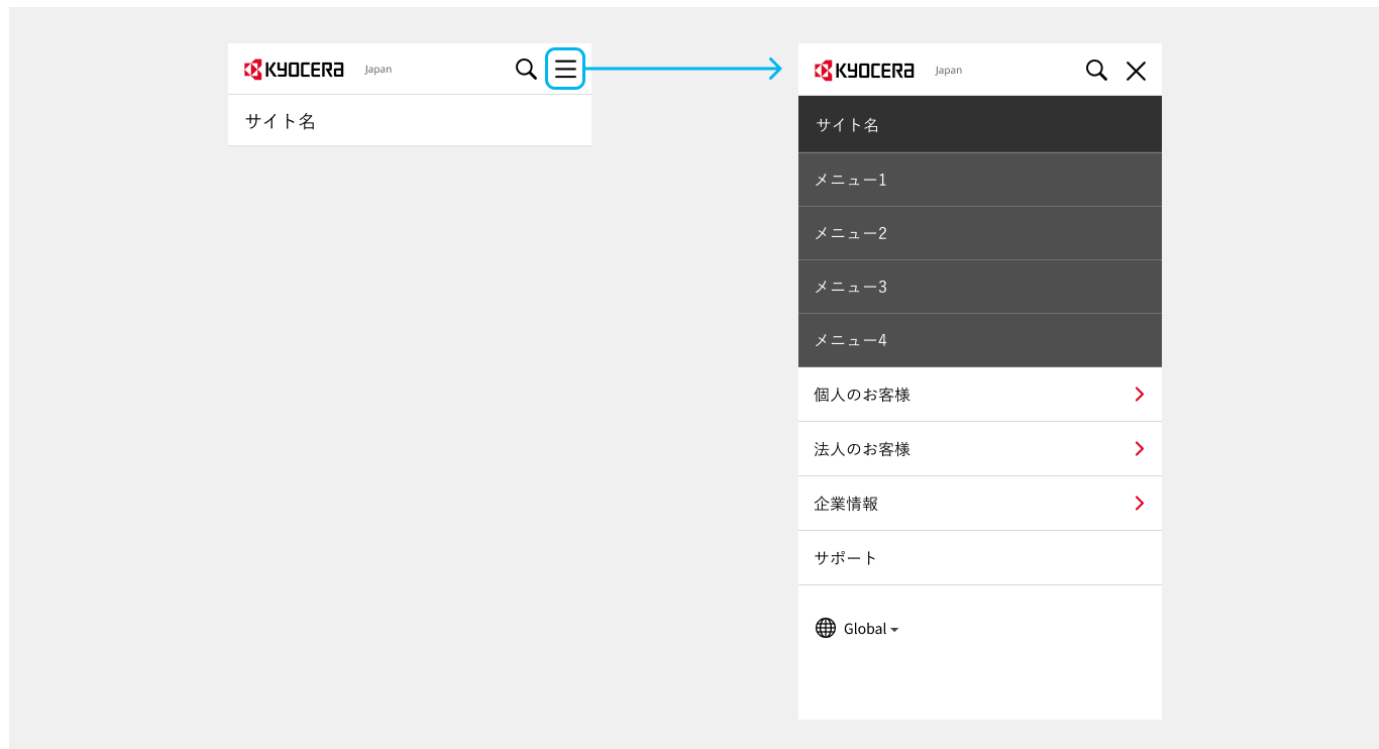
メニュー数が少なく、ヘッダー周りをコンパクトにしたい場合は 1 段表示にすることが可能。
ただし、PC 最小幅までの表示の際、レイアウト崩れが起きないように十分に考慮すること。

PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）



- ※ メインナビは、ドロップダウンメニューを含まない。
- ※ 1 段組でのドロップダウンメニューを希望する場合は WEB 推進係へ要相談。
- ※ ドロップダウンメニューを用いる場合はテンプレート「[基本形+メインナビ（フリーエリア）](#)」を利用する。

スマートフォン / タブレット表示（横幅 360～1,023px）



※ メニュー1、メニュー2 の階層より下層のリンクを設けたい場合は、他テンプレートより流用し、できるかぎり京セラサイト全体の UI の統一を図る。

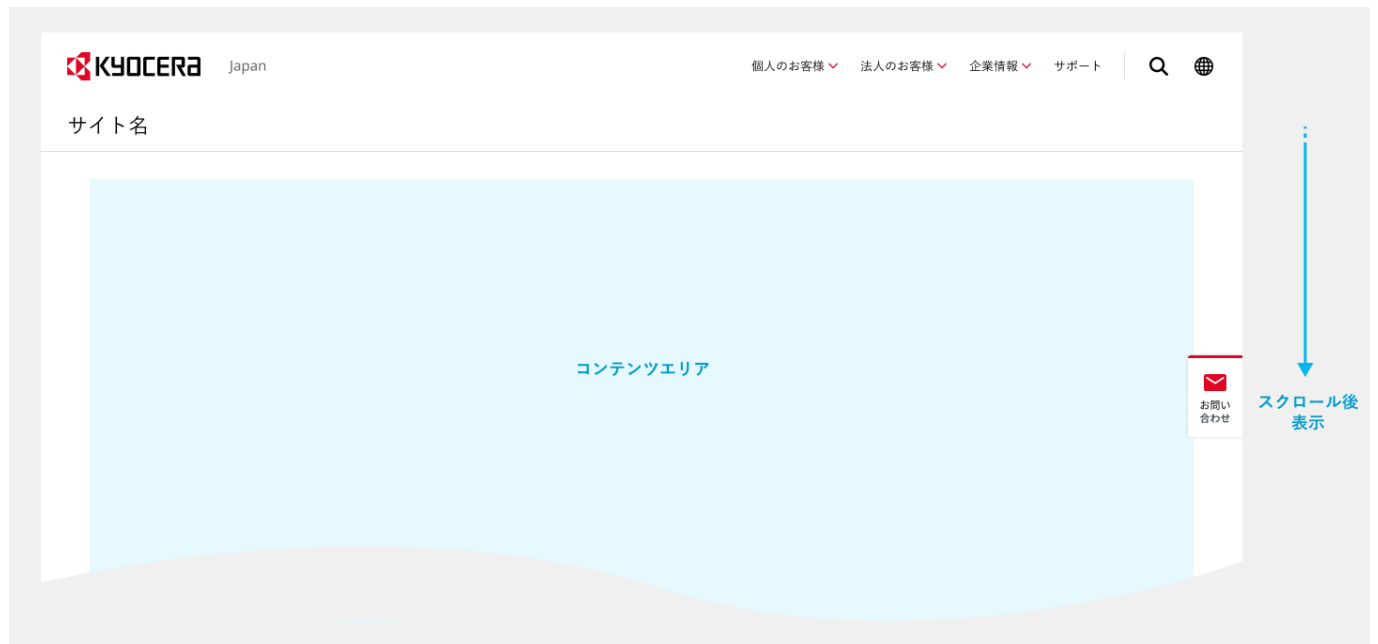
基本+右追従ボタン（1つ）

■ テンプレート名 : basic_right-button1.html [サンプル](#)

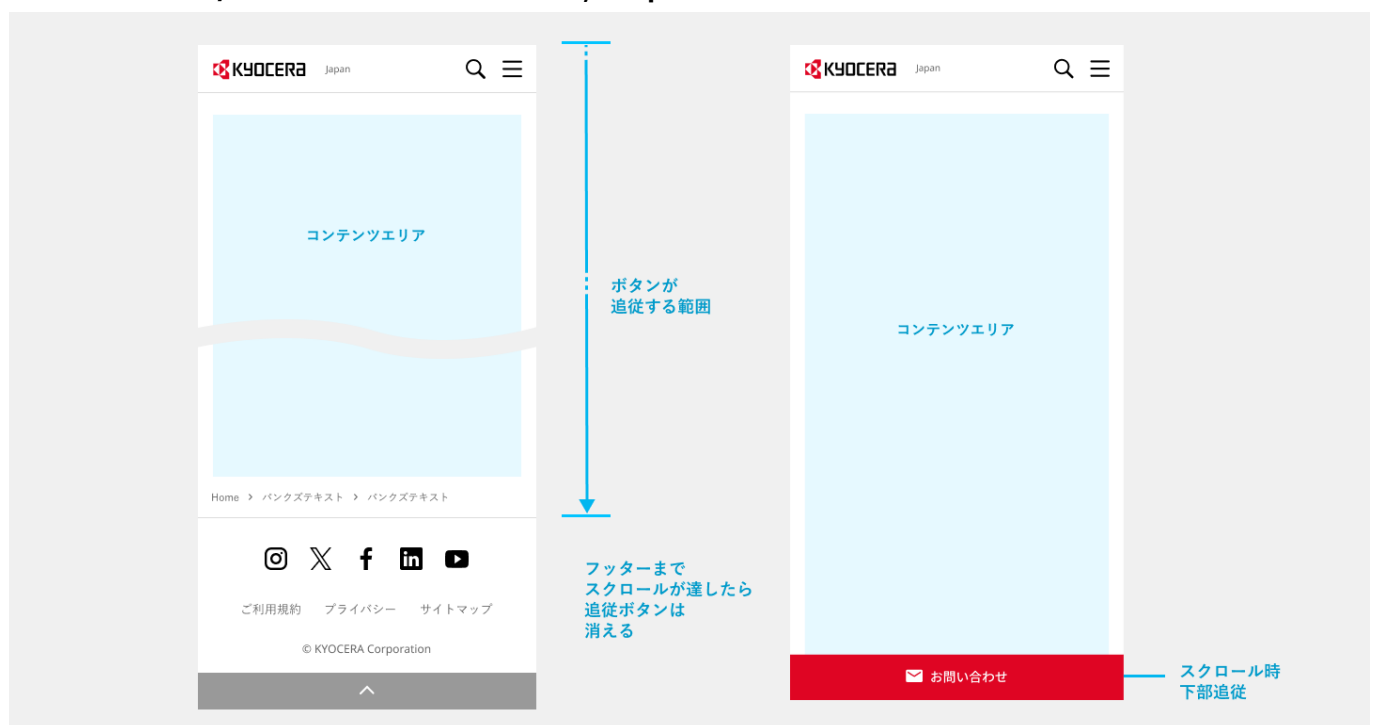
コンバージョンボタンを 1 つ追従させる場合に用いる。文言は必要に応じ変更可。アイコンについては適宜作成して利用する。（挿

入 HTML コードや仕様サイズは、後述にて記載)

PC 表示 (横幅 1,024~最大幅 1,368px)



スマートフォン表示 / タブレット表示 (横幅 360~1,023px)



※ デフォルトでは追従ボタンは非表示の状態となる。<body>に以下 class 名を追記することで表示する。

<body class="-show_spConversion">

※ ボタンデザインの変更を希望する場合は、事前に WEB 推進係へ要相談。

基本+右追従ボタン（2つ）

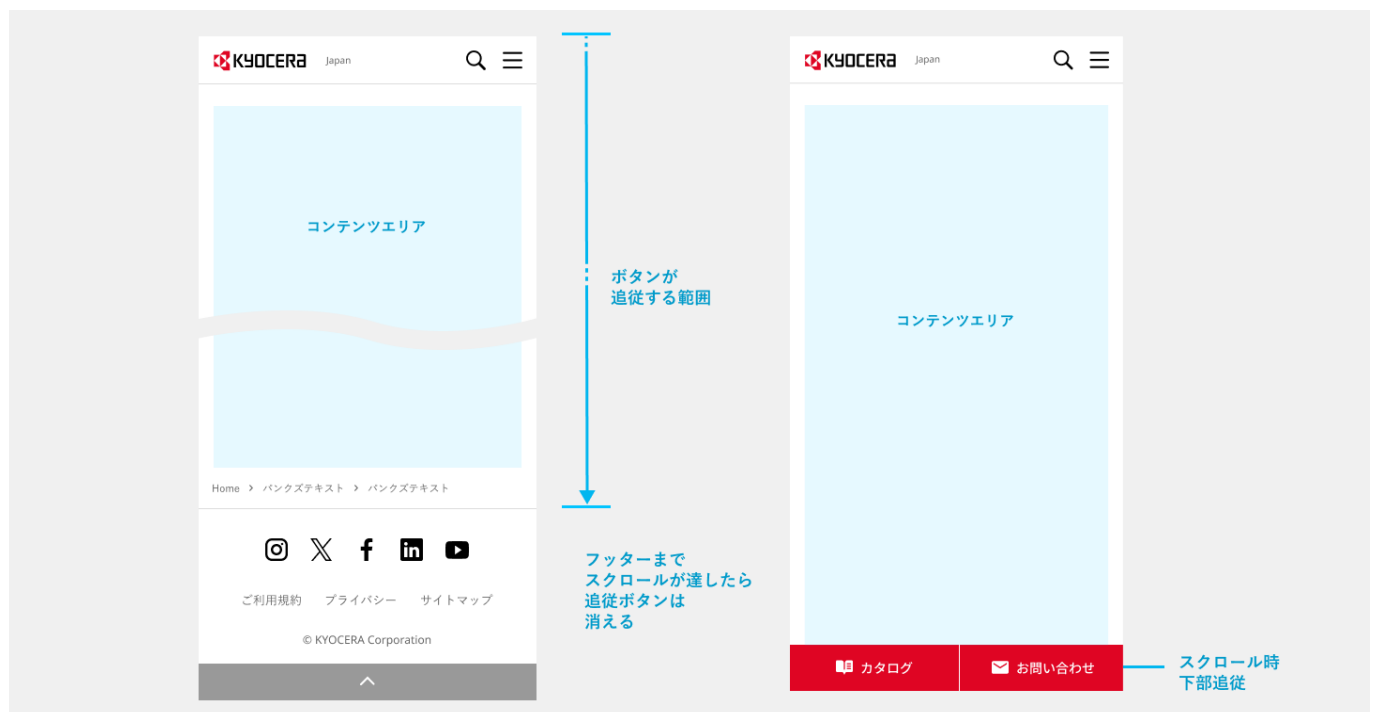
■ テンプレート名 : basic_right-button2.html [サンプル](#)

コンバージョンボタンを2つ追従させる場合に用いる。文言は必要に応じ変更可。アイコンについては適宜作成して利用する。（挿入HTMLコードや仕様サイズは、後述にて記載）

PC表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）



スマートフォン表示 / タブレット表示（横幅 360～1,023px）



※ デフォルトでは追従ボタンは非表示の状態となる。<body>に以下 class 名を追記することで表示する。

<body class="-show_spConversion">

※ ボタンデザインの変更を希望する場合は、事前に WEB 推進係へ要相談。

基本+右追従ボタン（3つ・展開あり）

■ テンプレート名 : basic_right-button3-open.html [サンプル](#)

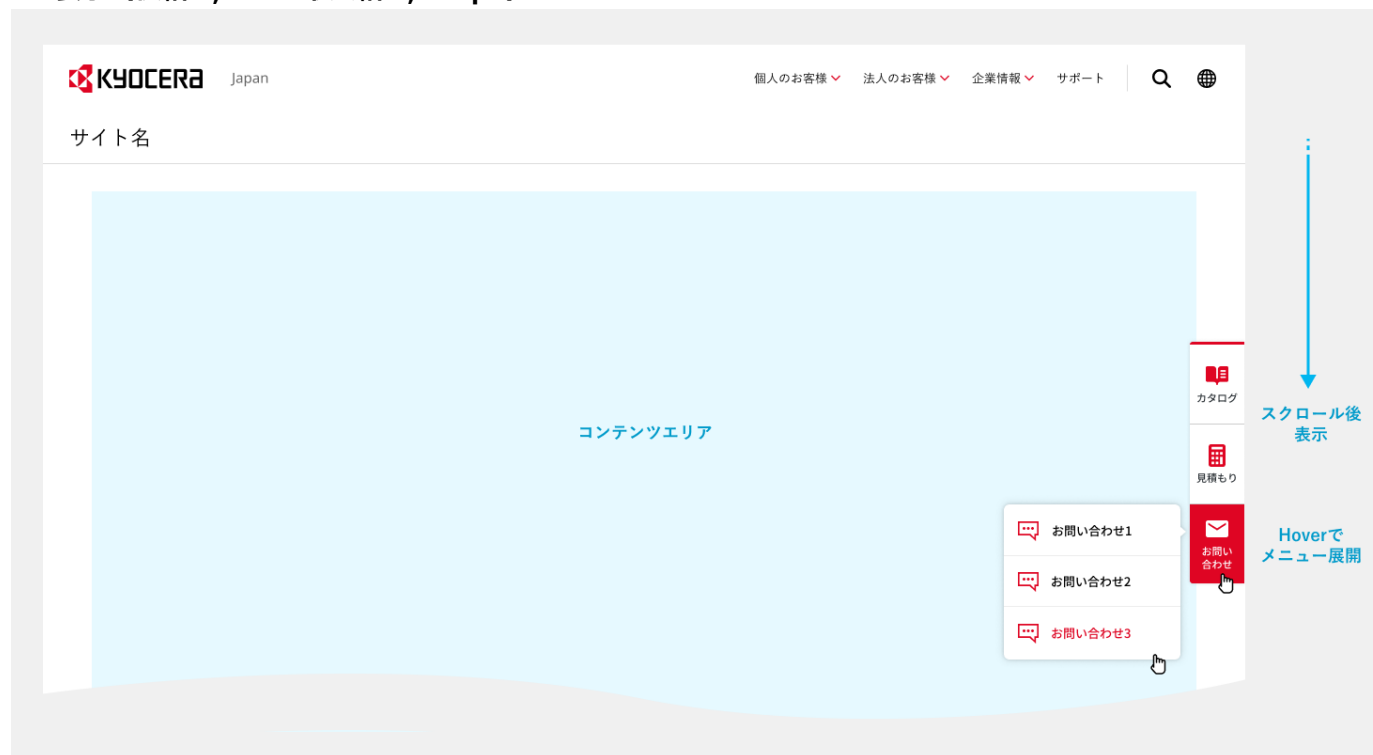
コンバージョンボタンを3つ追従させる場合に用いる。

ボタン内に複数の選択肢を設けることも可能。オンマウスで展開表示される。（3つ目ボタン）

文言は必要に応じ変更可。アイコンについては適宜作成して利用する。

（挿入 HTML コードや仕様サイズは、後述にて記載）

PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）



※ ボタンの数は、画面高さに収まるよう3～4つまでを推奨。

※ ボタンデザインの変更を希望する場合は、事前にWEB推進係へ要相談。

スマートフォン / タブレット表示（横幅 360～1,023px）

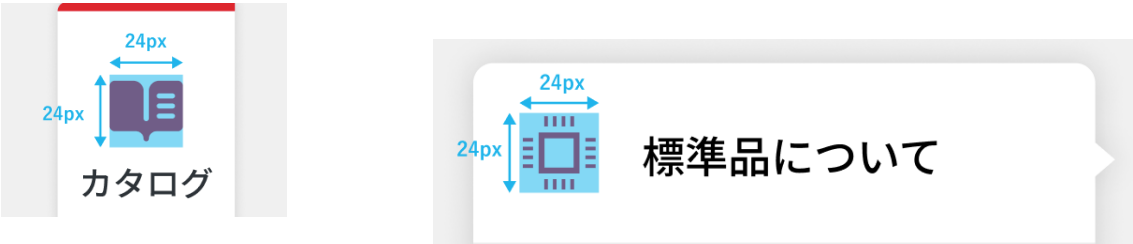
3つ以上設置の場合は、表示はしない。

展開ボタンについてもタブレット幅以下の表示はなし。

表示させたい場合は、別途設置が必要となる。

アイコンサイズについて

縦横 24px におさまるサイズを推奨。
ボタン内のアイコンは塗り（左画像）、展開して表示されるアイコンはアウトライン（右画像）を推奨。



テンプレートファイルに含まれるアイコン
/prdct/semicon/svg/sprite.svg

アイコン	用途	アイコン	用途
	お問い合わせ		見積もり
	カタログ請求		テスト相談、試作など
	資料ダウンロード		製品検索など
	カスタム品、設定など		相談、その他

挿入コードについて

<div class="local-Conversion -is-ShowConversion"></div> のブロックを挿入する

```
<body class="-is-scroll -pagetop-end">
  <header class="global-Header"> ... </header>
  <div class="local-PageTitle"> ... </div>
  <main> ... </main>
  <div class="global-Breadcrumb"> ... </div>
  <div class="local-Conversion -is-ShowConversion">
    <div class="local-Conversion_Inner">
      <div class="local-Conversion_Menu">
        <div class="local-Conversion_Menulitem"> ... </div> ボタン要素
        <div class="local-Conversion_Menulitem"> ... </div>
      </div>
    </div>
  </div>
  <div class="include-Global -is-complete" data-template="footer"> ... </div>
</body>
```

スマートフォン/タブレットで追従ボタンを表示する場合

<body>に、class 名を追記することで表示する。
<body class="-show_spConversion">

- ※ 右追従ボタン(1 っ)、右追従ボタン(2 っ)に限る。
- ※ デフォルトの設定は、非表示。

基本+法人回遊フッター

■ テンプレート名 : basic_bussiness-footer.html [サンプル](#)

法人向け製品の全サイトには、必ず回遊フッターを設置すること。

PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）



タブレット表示（横幅 768～1,023px） / スマートフォン表示（横幅 360～767px）



- ※ 位置の変更は不可
- ※ 個人向け製品サイトには不要

法人回遊フッター設置方法

Javascript で外部ファイル化しているため、グローバルフッターの上に以下のコードを挿入する。

```
<div class="include-Global" data-template="local_footer_search_menu">  
<script>window.include()</script>  
</div>
```

```
<div class="include-Global" data-template="local_footer_search_menu"><script>window.include()</script></div>  
<div class="include-Global" data-template="footer"><script>window.include()</script></div>  
<script src="//pro.syncsearch.jp/common/js/sync_suggest.js"></script>  
<script type="text/javascript">
```

基本+アイコン

■ テンプレート名 : basic_icon.html [サンプル](#)

テキストに別窓、PDF のアイコンを付与する場合、フォントファイルで表示した HTML を利用する。

※ HTML でアイコンの表示が難しケースでは、同じ見た目の SVG 画像などを配置する。



4-3 Global サイトについて

4-3-1 標準テンプレート（Global サイト）

標準テンプレートは以下 URL よりダウンロードして利用すること。

<https://brand.kyocera.co.jp/ja/outside/03/04/index.html>

テンプレートファイル

京セラ Global サイト用 ヘッダー・フッター・メインナビ

名称	ファイル名
basic（Global Navi,footer）	basic.html
basic_main-free	basic_main-free.html
basic_main-search-lang	basic_main-search-lang.html
basic_main-search-lang2	basic_main-search-lang2.html
basic_main-search-link	basic_main-search-link.html
basic_main-line	basic_main-line.html

右追従ボタン・法人向け回遊フッター

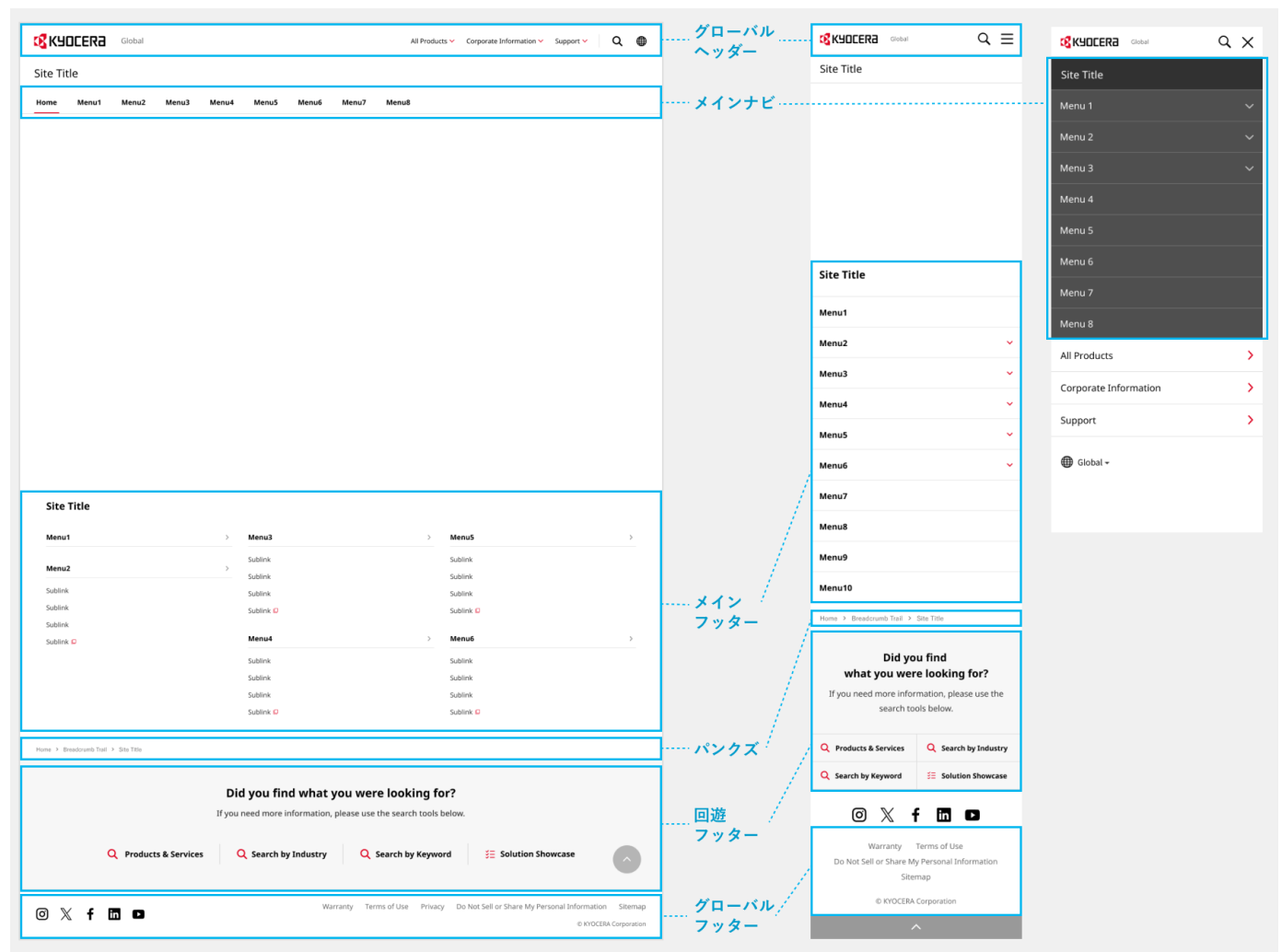
basic_right-button1	basic_right-button1.html
basic_right-button2	basic_right-button2.html
basic_right-button3-open	basic_right-button3-open.html
basic_bussiness-footer	basic_bussiness-footer.html

アイコン

basic_icon	basic_icon.html
------------	------------------------

パーツ名称について

仕様の説明に伴い、各パーツの名称は次のように示す

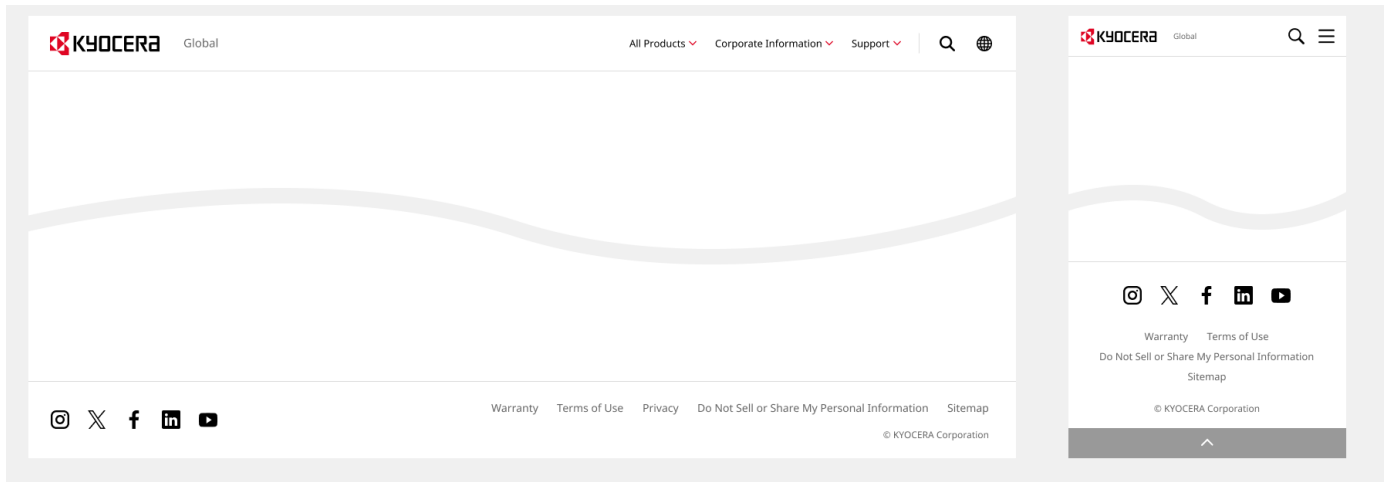


4-3-2 ヘッダー・フッター仕様（Global サイト）

■ テンプレート名 : basic.html [サンプル](#)

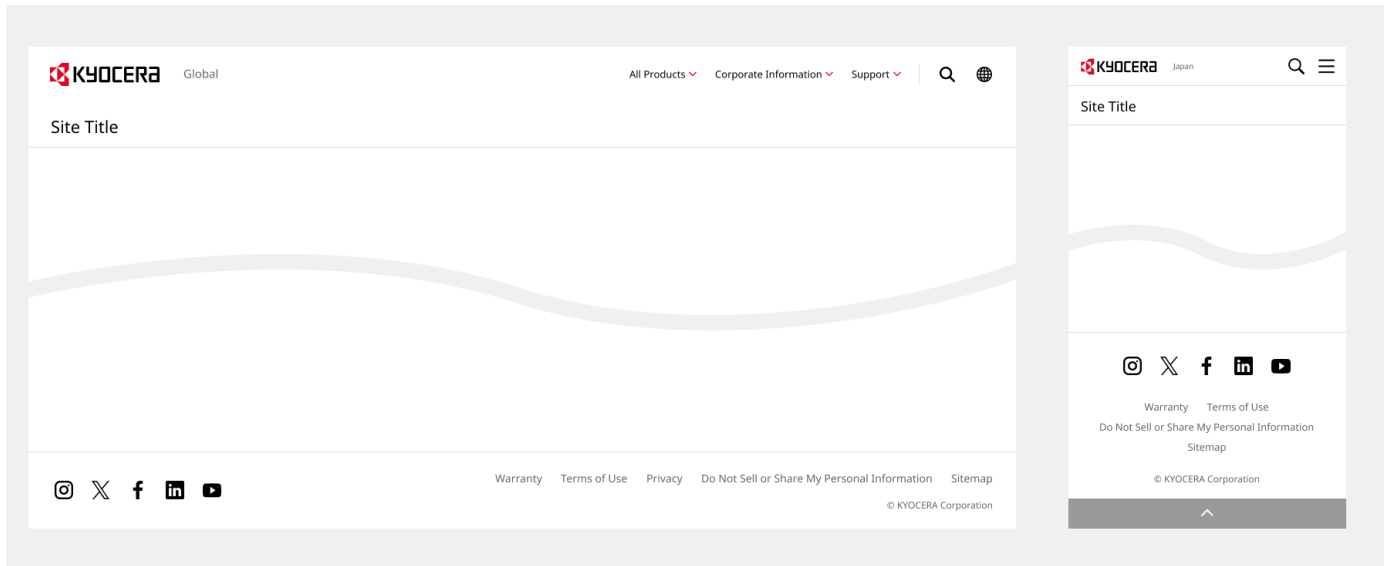
京セラGlobal サイト全体で共通となるグローバルヘッダー、グローバルフッターは、「[4-3-1 標準テンプレート\(Global サイト\)](#)」で示したデータを利用する。Javascript で外部ファイル化したデータをテンプレートから読み込むため、変更不可。

グローバルヘッダー、グローバルフッターのみ使用する場合



- ※ <div class="local-PageTitle"></div>を削除して使用すること
- ※ PC 表示の際、サイト名の有無で下ラインの位置が変わるので注意すること

サイト名を入れた場合

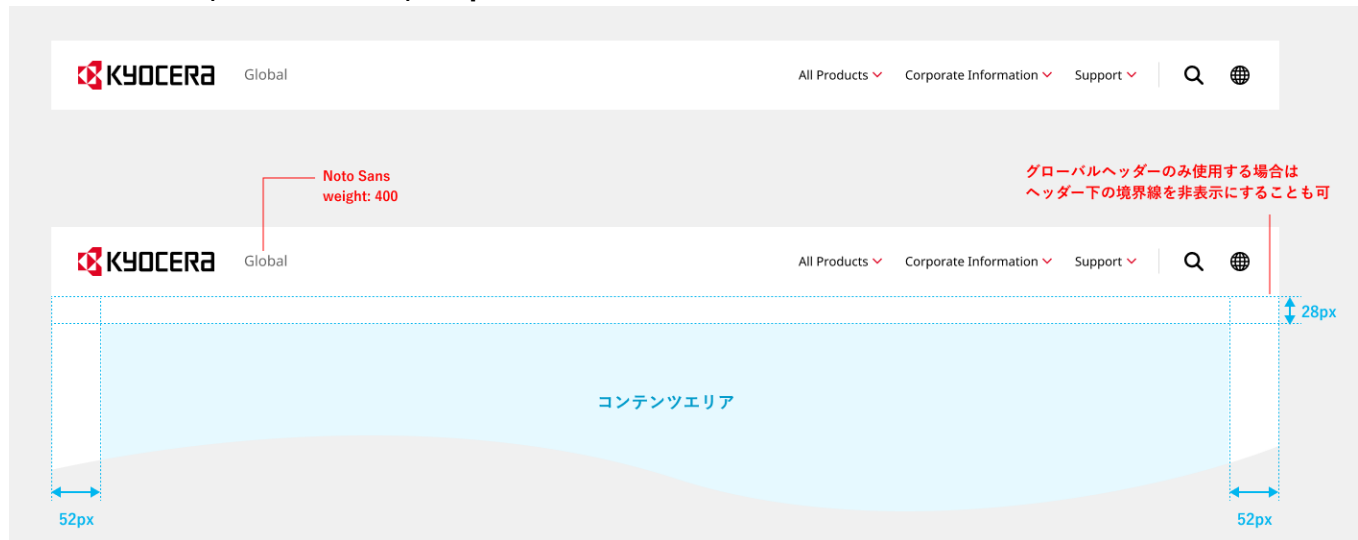


グローバルヘッダー

京セラGlobal サイト全ページに設置する共通のヘッダー。

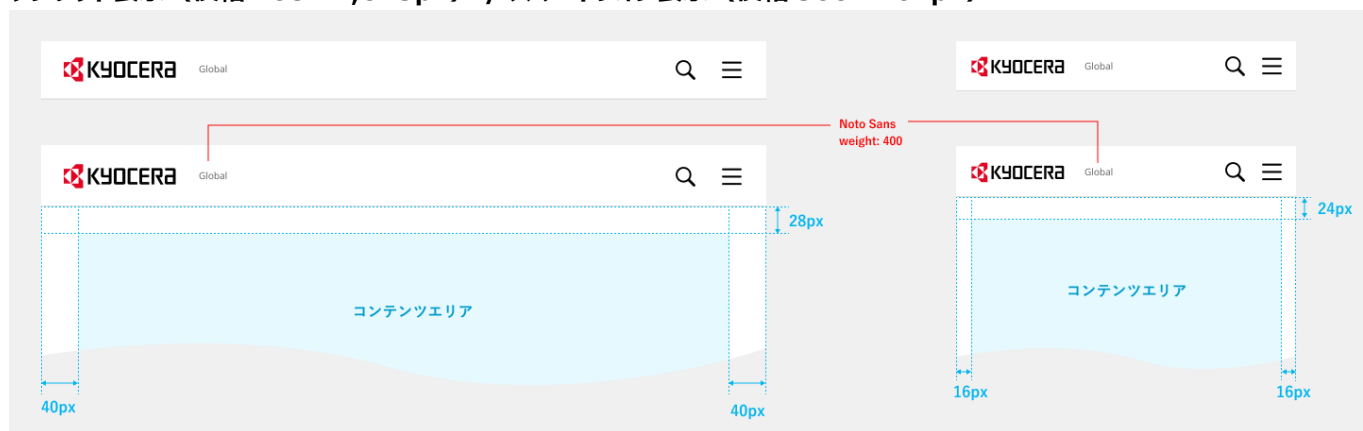
Javascript で外部ファイル化したデータをテンプレートから読み込むため、変更不可。

PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）



- ・ PC デザインのヘッダー・フッターは最大表示幅 1,368px を考慮して作成すること
- ・ コンテンツエリアの上余白は 28px、左右マージンは 52px の余白を設定し、コンテンツエリアの幅は、最大 1,312px とすること。（メインビジュアルなど画面幅をフルに用いる場合を除く）

タブレット表示（横幅 768～1,023px） / スマートフォン表示（横幅 360～767px）



- ・ コンテンツエリアの左右マージンは、タブレット 40px・スマートフォン 16px の余白を設定する。
- ・ コンテンツエリアの上余白は、タブレット 28px・スマートフォン 24px を設定する。（メインビジュアルなど画面幅をフルに用いる場合を除く）

グローバルナビの追従について

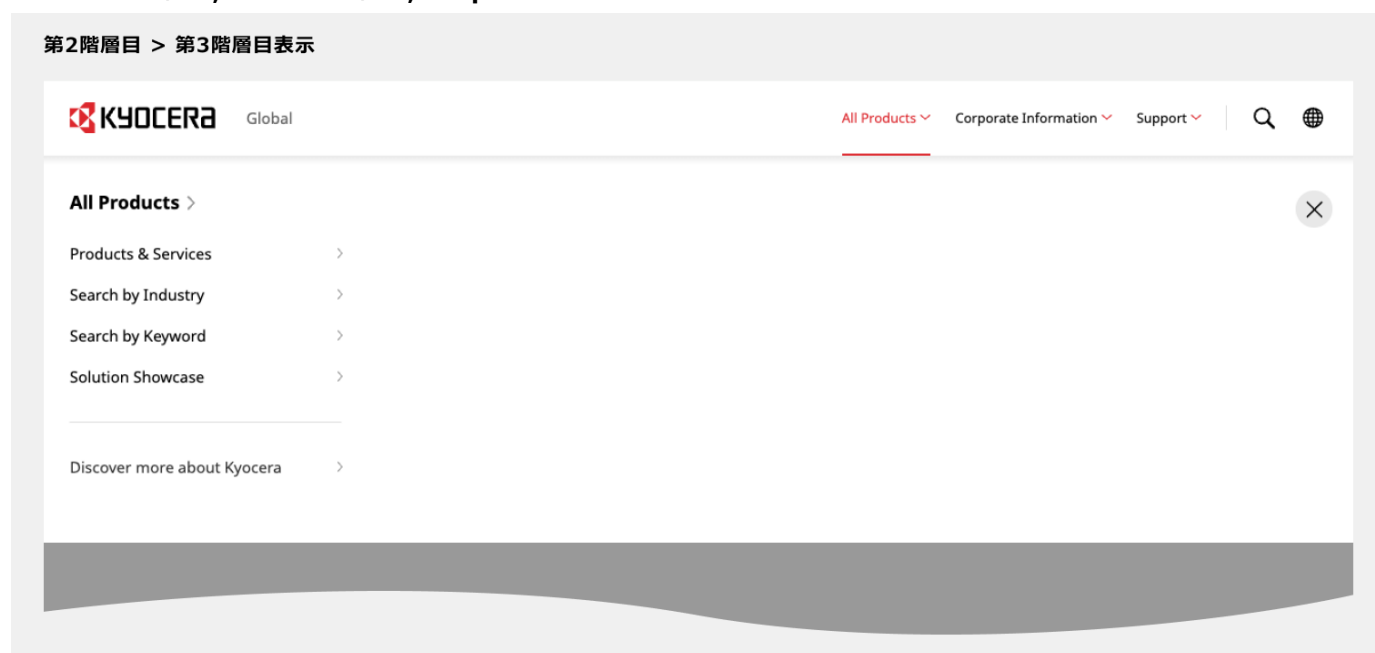
ナビの追従はデフォルト設定していない。追従する場合、body タグに「class="-global-header-follow"」を付与する。

グローバルメニュー展開

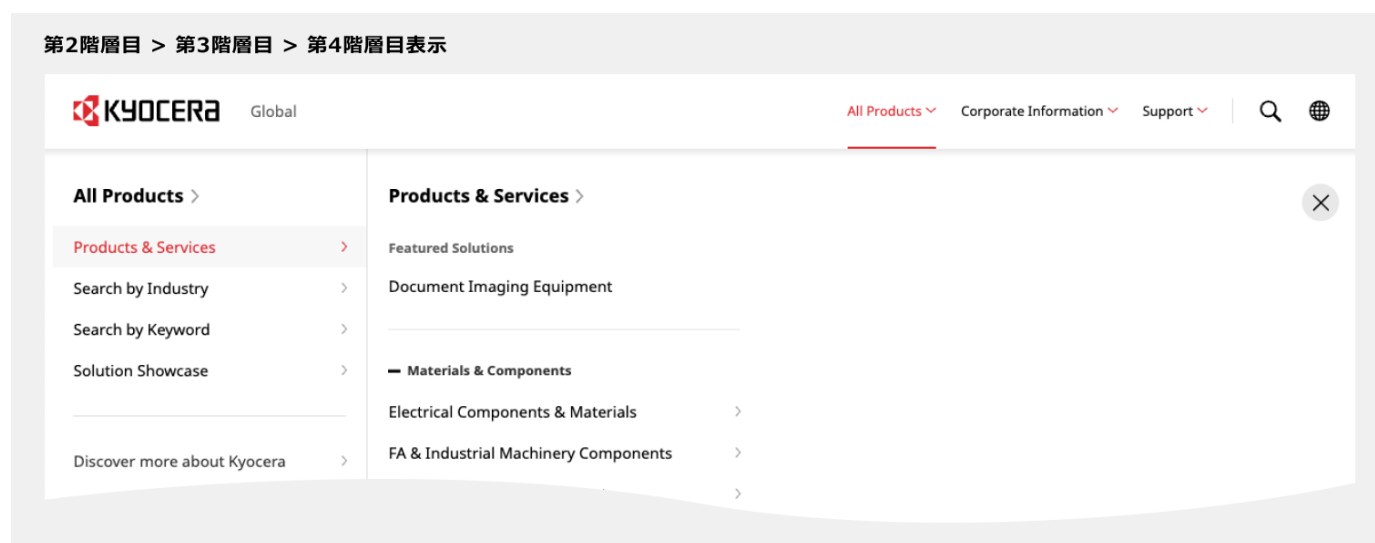
All Products、Corporate Information、Support、それぞれクリックでドロップダウンメニューが表示/非表示する。

All Products

PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）



- ・横展開するメニュー項目には「>」右矢印が付く。右矢印のないメニュー項目はページ遷移する。
- ・×ボタンまたは、ドロップダウンメニューエリア外をクリックすることで、閉じる。



- ・「>」右矢印のあるメニュー項目をクリックすることで、右列へ横展開する。

第2階層目 > 第3階層目 > 第4階層目 > 第5階層目表示

KYOCERA

Global

All Products ▾

Corporate Information ▾

Support ▾

Q

🌐

<div>All Products ></div> <div>Products & Services ></div> <div>Search by Industry ></div> <div>Search by Keyword ></div> <div>Solution Showcase ></div> <div>Discover more about Kyocera ></div>	<div>Products & Services ></div> <div>Featured Solutions</div> <div>Document Imaging Equipment</div> <div>Materials & Components</div> <div>Electrical Components & Materials ></div> <div>FA & Industrial Machinery Components ></div> <div>Ornamental & Decorative Parts ></div> <div>Electronic Components, Composite Parts & Modules</div> <div>Electronic Components & Devices ></div>	<div>Electrical Components & Materials</div> <div>Ag Sintering Paste for Electrodes</div> <div>Components for Fiber-Optic Connectors</div> <div>Fine Ceramics (Advanced Ceramics)</div> <div>Optical Components (Lenses & Units)</div> <div>Printed Wiring Boards</div> <div>Semiconductor Packages ▾</div>
---	--	---

第2階層目 > 第3階層目 > 第4階層目 > 第5階層目 > 第6階層目表示

KYOCERA

Global

All Products ▾

Corporate Information ▾

Support ▾

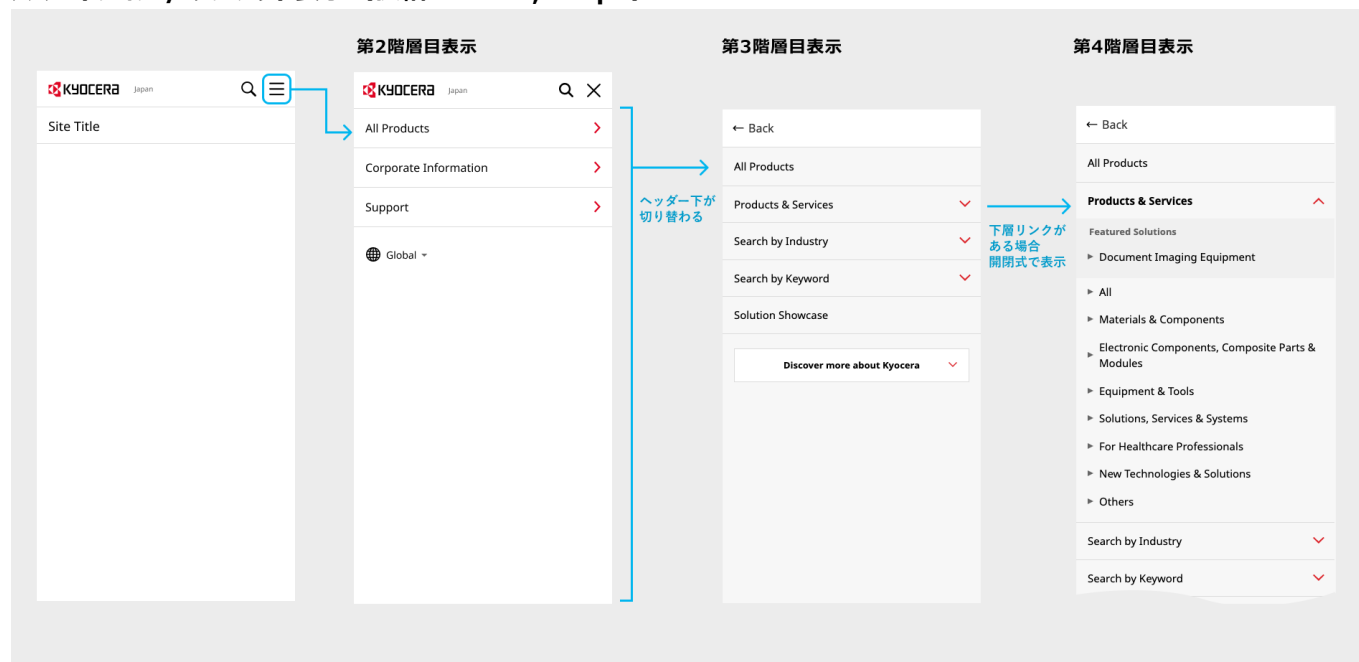
Q

🌐

<div>All Products ></div> <div>Products & Services ></div> <div>Search by Industry ></div> <div>Search by Keyword ></div> <div>Solution Showcase ></div> <div>Discover more about Kyocera ></div>	<div>Products & Services ></div> <div>Featured Solutions</div> <div>Document Imaging Equipment</div> <div>Materials & Components</div> <div>Electrical Components & Materials ></div> <div>FA & Industrial Machinery Components ></div> <div>Ornamental & Decorative Parts ></div> <div>Electronic Components, Composite Parts & Modules</div> <div>Electronic Components & Devices ></div>	<div>Electrical Components & Materials</div> <div>Ag Sintering Paste for Electrodes</div> <div>Components for Fiber-Optic Connectors</div> <div>Fine Ceramics (Advanced Ceramics)</div> <div>Optical Components (Lenses & Units)</div> <div>Printed Wiring Boards</div> <div>Semiconductor Packages ▾</div> <div>All</div> <div>Ceramic Packages</div> <div>Chemical Products</div> <div>Organic Packages</div>
---	--	---

- 最右の列のみ、開閉式による縦展開となり、「 ▾ 」下矢印が付く。
- 最大 6 階層まで展開する。

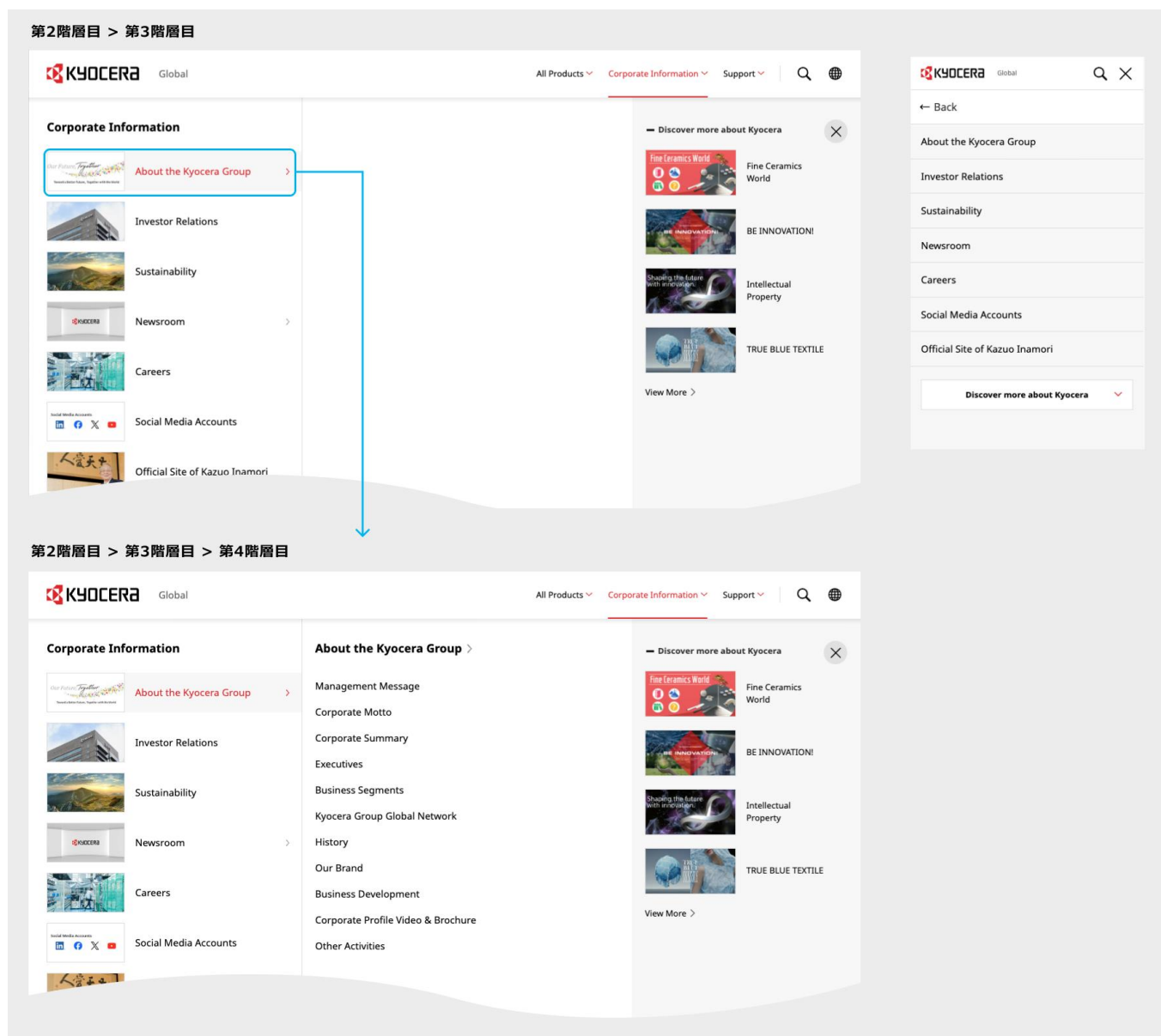
スマートフォン / タブレット表示（横幅 360～1,023px）



- ・ 2 階層目にある All Products、Corporate Information、Support の各下層へのメニューは、右からスライドインして表示する。
- ・ 3 階層目に下層がある場合は開閉式で縦に展開する。
- ・ スマートフォン・タブレットでのメニュー展開は、4 階層目までとなる（PC は最大 5 階層まで可能）
- ・ 「←Back」より、2 階層目表示に戻ることができる。

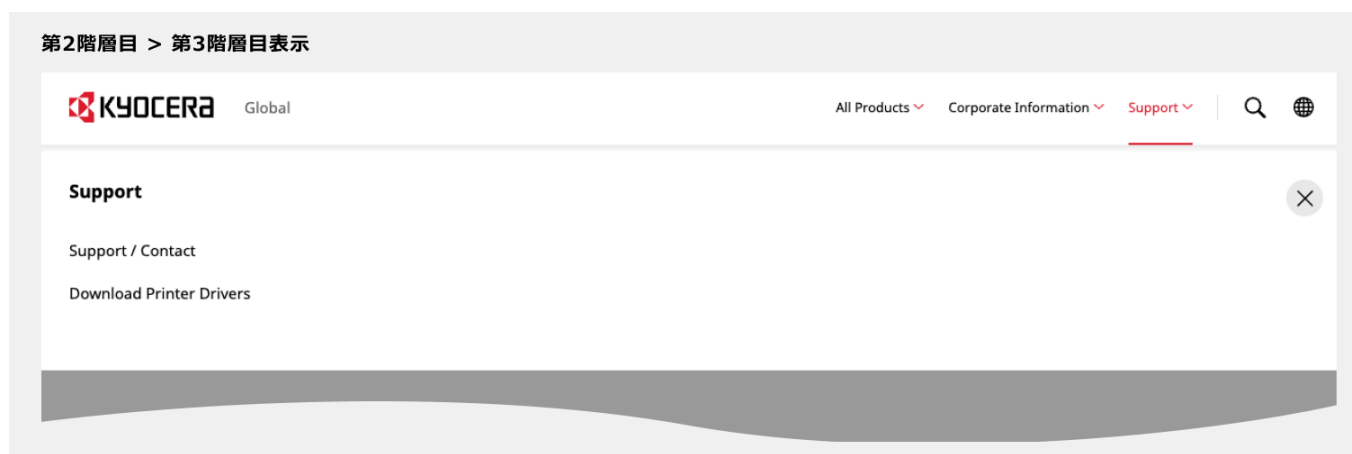
Corporate Information

PC 表示では、第 4 階層目まで展開。スマートフォン・タブレット表示では、第 3 階層目までの展開となる。



Support

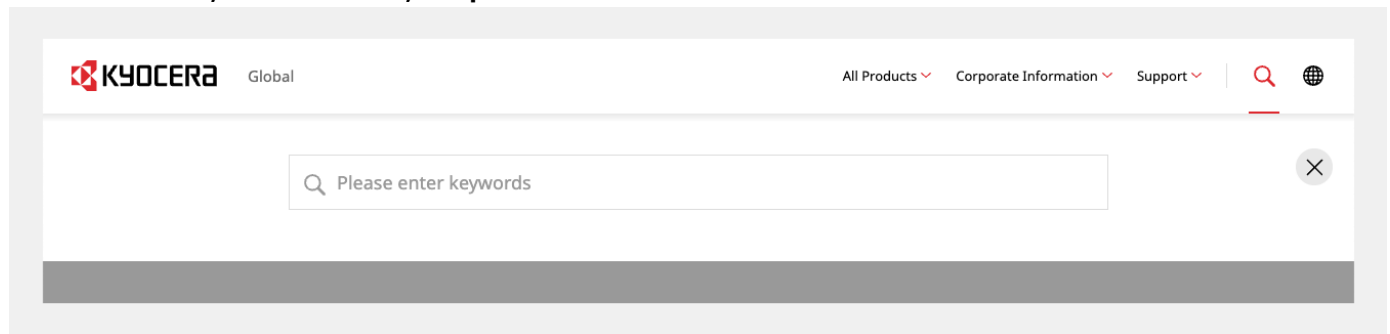
PC 表示・スマートフォン・タブレット表示のいずれも、第 3 階層目までの展開となる。



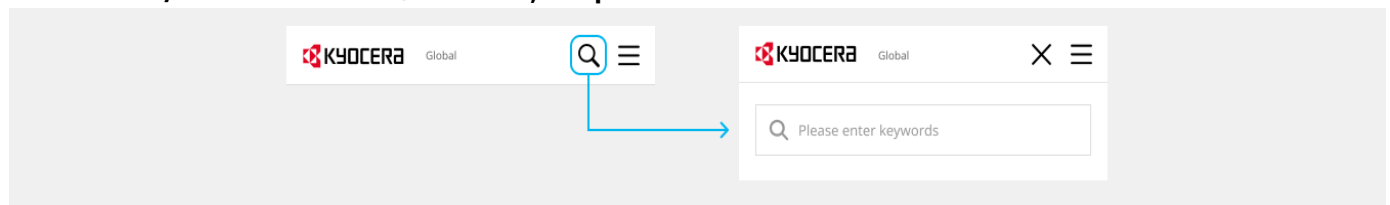
サイト内検索メニュー展開

検索アイコンクリックで、プルダウン表示/非表示

PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）

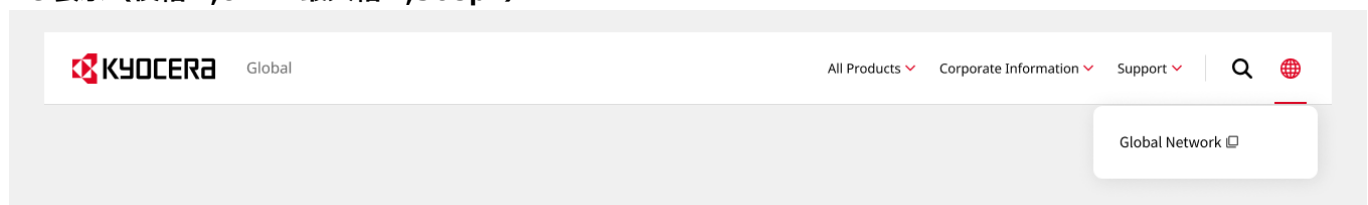



スマートフォン / タブレット表示（横幅 360～1,023px）



Global Network へのリンク

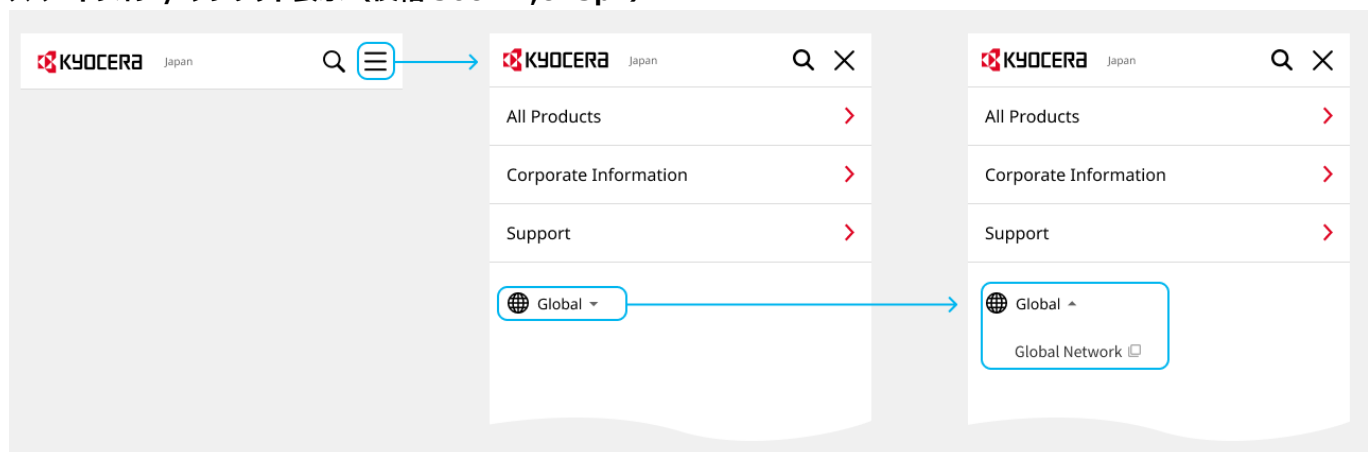
PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）



※「」ボタンをクリックで、プルダウン表示/非表示

※ プルダウン以外のエリアをクリックすることでプルダウンを閉じることが可能

スマートフォン / タブレット表示（横幅 360～1,023px）



※ Global Site へのリンクは、開閉式ボタンとなっている。

グローバルフッター

京セラ Global サイト全ページに設置する共通のフッター。Javascript で外部ファイル化したデータをテンプレートから読み込むため、変更不可。

PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）



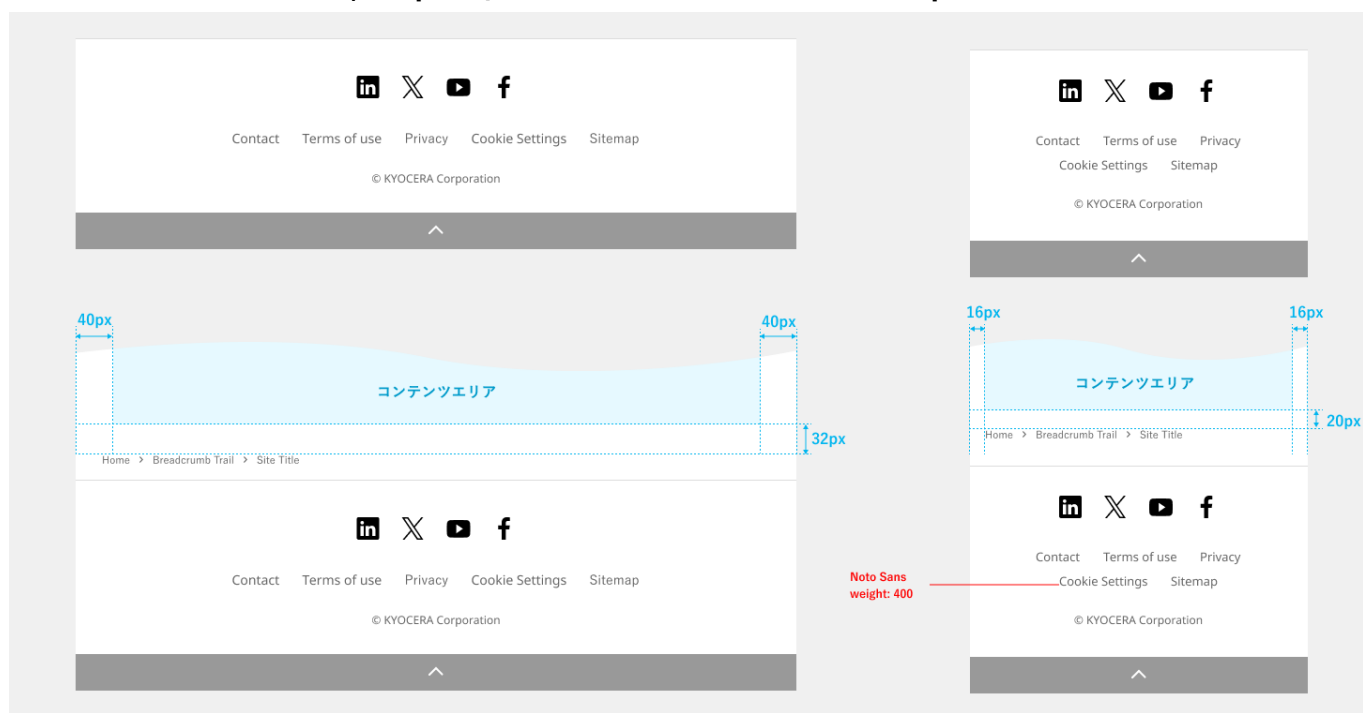
※ PC 表示では、ページトップボタンが右下固定で追従する。

※ PC デザインのフッターは最大表示幅 1,368px を考慮して作成すること

※ コンテンツエリアの左右マージンは 52px の余白を設定し、コンテンツエリアの幅は、最大 1,312px とすること。

（画面幅をフルに用いて背景画像を入れる場合を除く）

タブレット表示（横幅 768～1,023px） / スマートフォン表示（横幅 360～767px）



※ スマホ/タブレット表示では、最下部に配置され追従しない。

※ コンテンツエリアの左右マージンは、タブレット 40px・スマートフォン 16px の余白を設定する。

（画面幅をフルに用いて背景画像を入れる場合を除く）

4-3-3 各種サイトナビゲーション（メインナビ/メインフッター）（Global サイト）

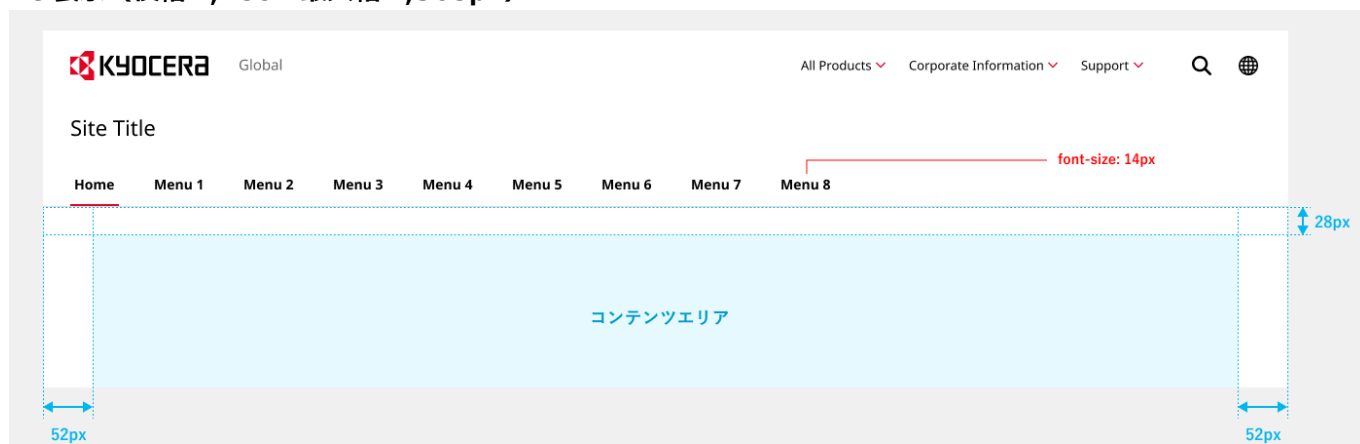
京セラサイト全体の共通化と制作効率の向上を目的とし、5 パターンのテンプレートを用意している。
一貫したユーザビリティ保持のため標準テンプレートを用いる。要素の追加・編集・削除は、各サイトの仕様にあわせ、カスタマイズして利用可。デザイン含めた仕様変更を検討する場合は、事前に WEB 推進係に相談する。

基本形（PC）

メインナビについて

メインナビとは、京セラ Global サイト内にある製品サイトや各種サイトに用いるヘッダー下のナビゲーションである。PC 表示では、画面幅に応じフォントサイズや余白を設定しており、1,280px をブレイクポイントとする。

PC 表示（横幅 1,280～最大幅 1,368px）



PC 表示（横幅 1,024～1,279px）



注意点：

メニュー数や文字数が多い場合、画面幅によっては改行されるため、必要に応じ文字数を検討すること。




ドロップダウンメニュー

メニュー項目をクリック操作により、ドロップダウンメニューが表示される。

さらに親リストをクリックで、下層リンクの列が右側に展開される。展開する項目には「」矢印が付く。➤
最大 3 列まで表示が可能。サイト構造により利用の有無や、列数表示を使い分けること。

3 列見せ

第2階層目 > 第3階層目表示

 Global

All Products ▾ Corporate Information ▾ Support ▾

Q 地球儀

Site Title

Home Menu1 Menu2 Menu3 Menu4 Menu5 Menu6 Menu7 Menu8

Large Categories >

Parent List >

Parent List >

Parent List

×

第2階層目 > 第3階層目 > 第4階層目表示

Large Categories >

Parent List >

Parent List >

Parent List

Medium Categories >

Subcategories

Child List >

Child List >

Child List

Subcategories

Child List >

Child List >

Child List

View all products

×

第2階層目 > 第3階層目 > 第4階層目 > 第5階層目表示

Large Categories >

Parent List >

Parent List >

Parent List

Medium Categories >

Subcategories

Child List >

Child List >

Child List

Subcategories

Child List >

Child List >

Child List

View all products

Small Categories

Grandchild List

Grandchild List

Grandchild List

Grandchild List

Grandchild List

Grandchild List

×

- ・「大カテゴリ」「中カテゴリ」の見出しは、リンクの有無を選択可能。
- ・ 中カテゴリの列では、リスト数が多い場合を想定し「すべての製品を見る」ボタンの設置が可能。
- ・ 中カテゴリには、サブタイトルでリストを区切ることが可能。
- ・ いずれも、HTML 編集にてカスタマイズすることを想定。

2 列見せ

第2階層目 > 第3階層目表示

第2階層目 > 第3階層目 > 第4階層目表示

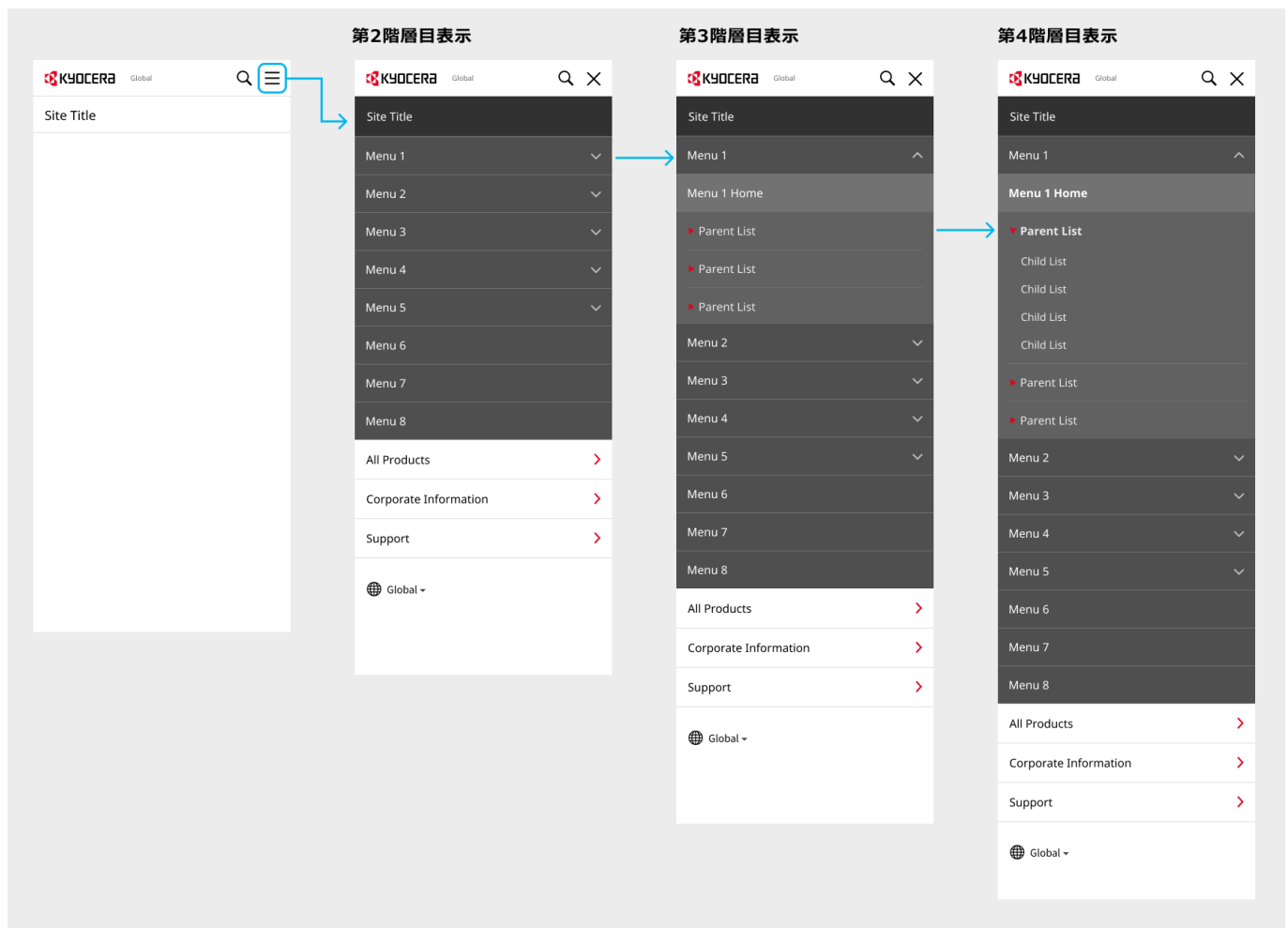
- ※ フォントサイズ・フォント・カラーは基本的に変更不可。
- ※ ドロップダウンナビを利用しない場合については削除すること。
- ※ テンプレートに含まれているドロップダウンナビのソースを削除、または変更して利用すること。

基本形 (スマートフォン/タブレット)

メインナビについて

スマートフォン/タブレットでは、メニューアイコンよりメニューリストが展開され、ヘッダー直下にグレー背景枠として表示される。

- ・ 第 2 階層目のリストに階層がある場合は「▼」下矢印がつき、縦に展開する。
- ・ 第 3 階層目のリストに階層がある場合は「▶」右矢印がつき、縦に展開する。
展開時は「▼」下矢印に切り替わる。
- ・ 最大 4 階層目まで展開可能。



※ フォントサイズ・フォント・カラーは基本的に変更不可。

※ ドロップダウンナビを利用しない場合については、削除すること。

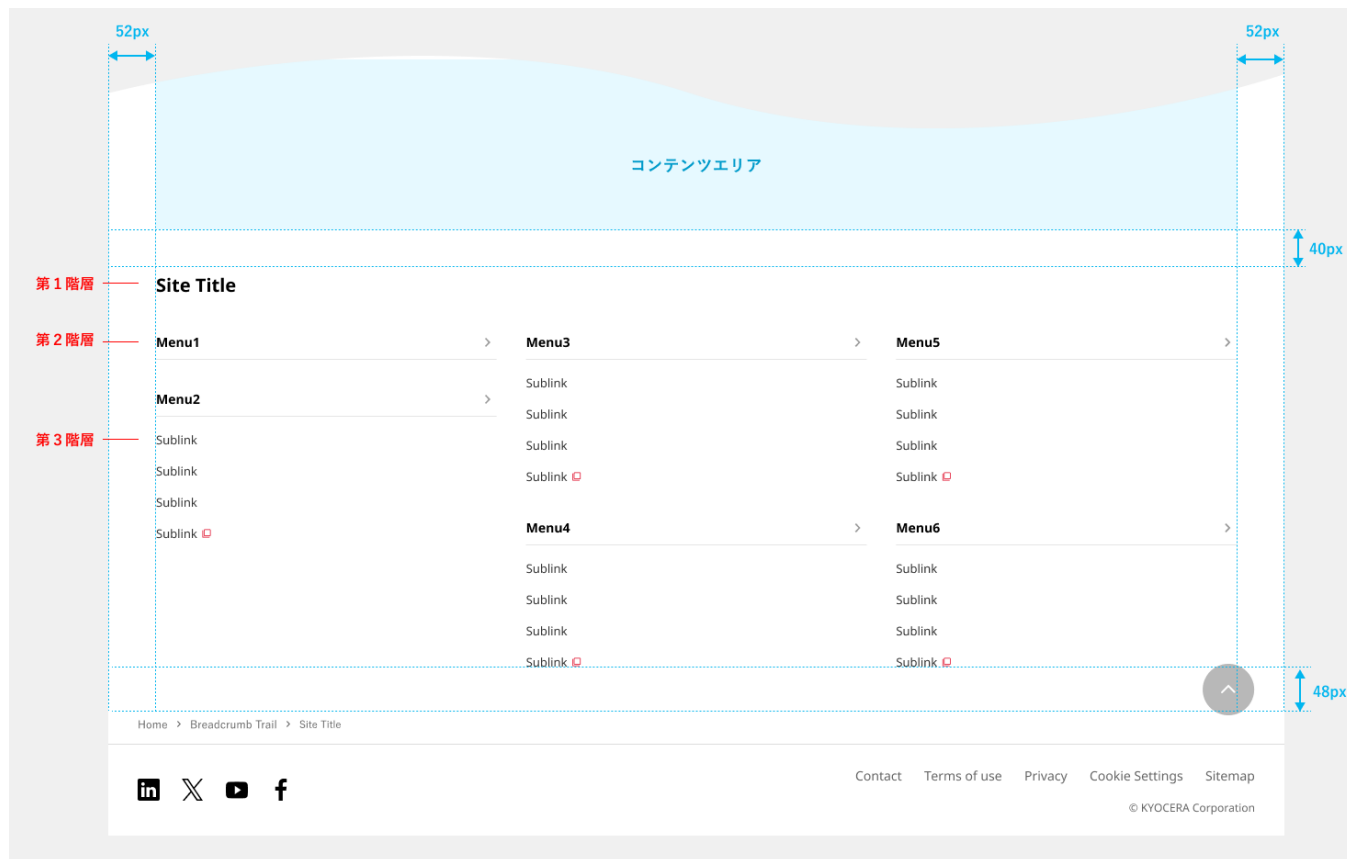
※ テンプレートに含まれているドロップダウンナビのソースを削除、または変更して利用すること。

メインフッターについて

ページの下部にサイトマップを設置する際に用いる。サイト名を第 1 階層とし、第 3 階層までの表示となる。

PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）

- ・ 第 2 階層のメニュー項目がリンクする場合は、「>」右矢印アイコンを表示すること。
- ・ サイト構造によって、列数は調整すること。

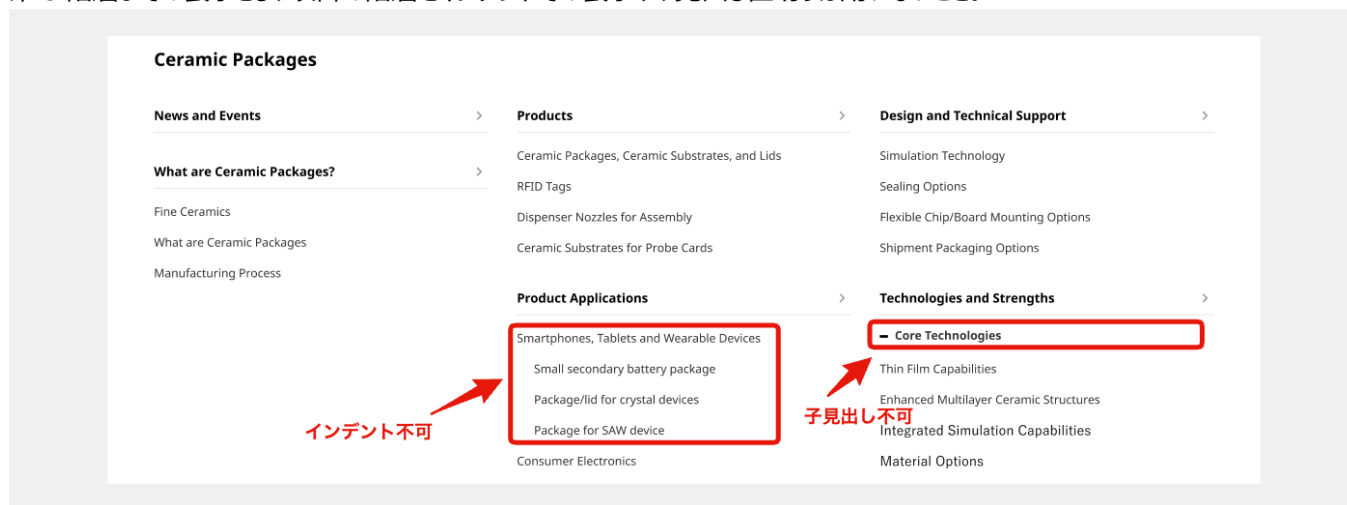


※ フォントサイズ・フォント・カラーは基本的に変更不可。

※ 法人向け製品サイトに用いる場合は、メインフッターの設置は必須とする。利用しない場合は、WEB 推進係へ要相談。

NG 例：

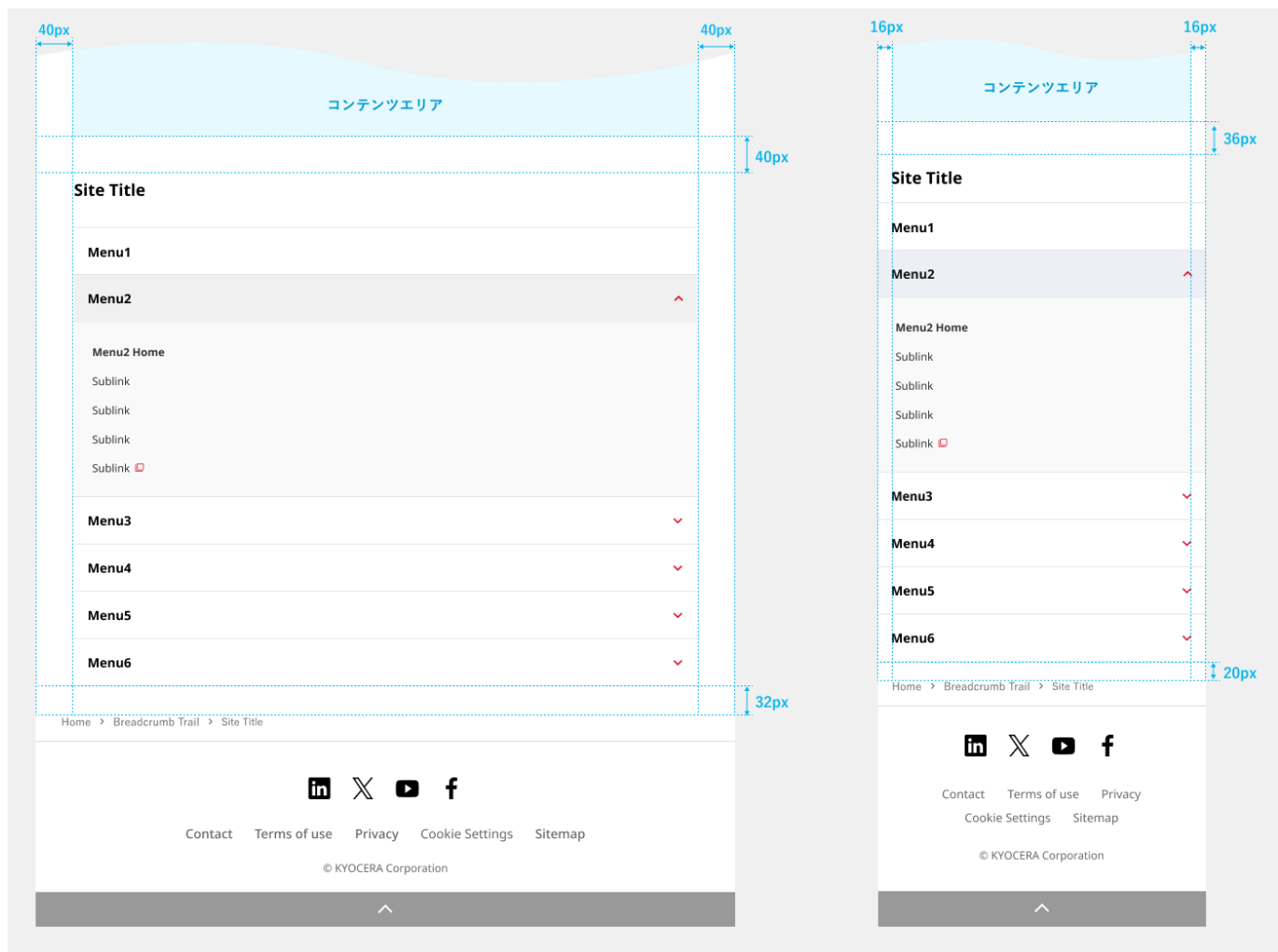
第 3 階層までの表示とし、以降の階層をインデントでの表示や、見出し区切りは用いないこと。



タブレット表示（横幅 768～1,023px） / スマートフォン表示（横幅 360～767px）

- ・ 第 2 階層メニューに下層リンクがある場合は、「▼」下矢印がつき、縦に展開する。

- ・ その際、扉ページへのリンク（下画像：メニュー2TOP）が設置される。



※ フォントサイズ・フォント・カラーは基本的に変更不可。

※ 法人向け製品サイトに用いる場合は、メインフッターの設置は必須とする。利用しない場合は、WEB 推進係へ要相談。

4-3-4 標準テンプレートの種類（Global サイト）

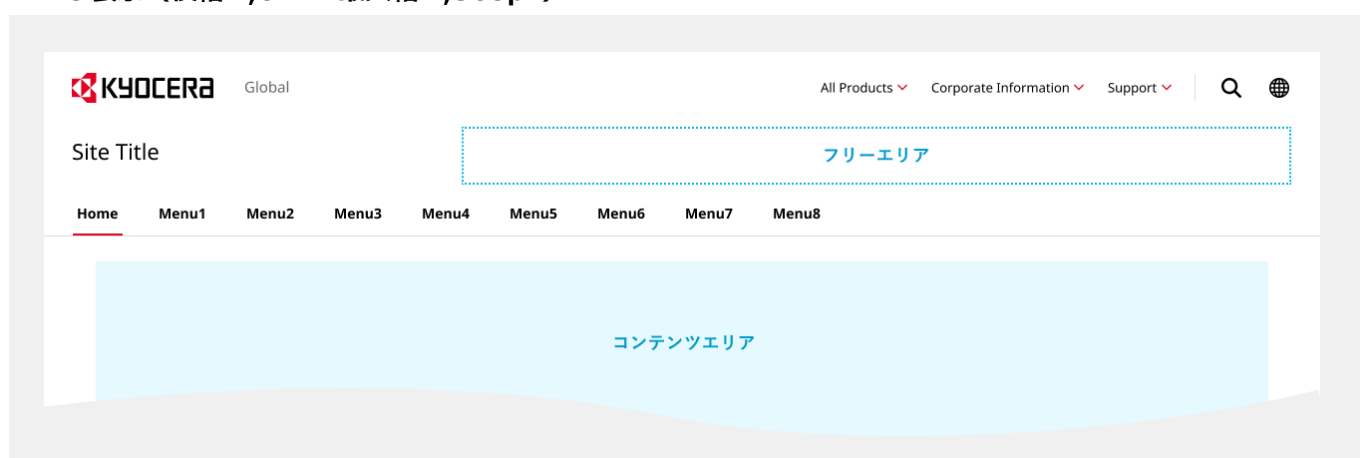
「[4-3-3 各種サイトナビゲーション](#)」での基本形をもとに数種類のテンプレートを用意している。
サイト構造に応じて用意されたテンプレートを用いて作成すること。

basic_main-free

■ テンプレート名 : basic_main-free.html [サンプル](#)

サイト名の右エリアに必要なに応じて、リンクやボタンなど要素を追加可能。
ただし追加する際は、PC 最小幅での表示や、スマートフォンおよびタブレット表示を十分に考慮すること。

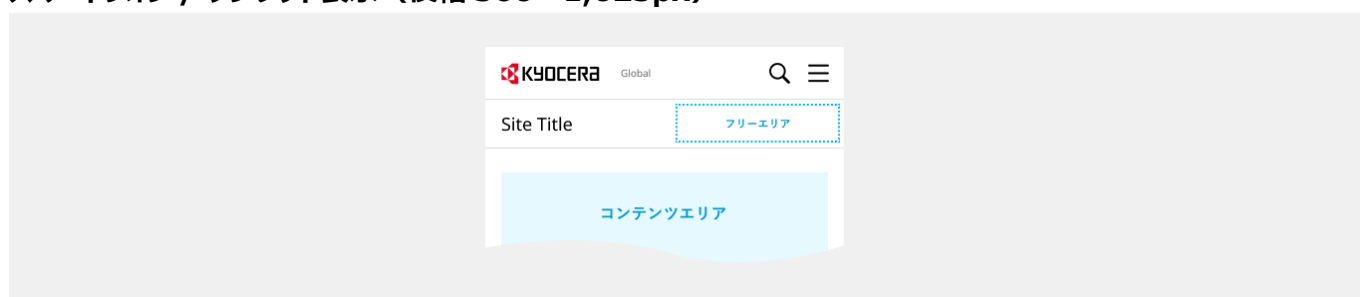
PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）



※ メインナビは、ドロップダウンメニューを含む。不要な場合は削除可。

※ メインナビは上部固定で追従する。（下スクロールでは表示されず、上スクロールで表示）追従なしの設定をする場合、body タグに「class="-local-mainnavi-follow-none"」を付与する。

スマートフォン / タブレット表示（横幅 360～1,023px）



※ フリーエリアの範囲は任意とする。

※ フォントサイズ・フォント・カラーは基本的に変更不可。

※ 法人向け製品サイトに用いる場合は、メインフッター・回遊フッターの設置は必須とする。
利用しない場合は、WEB 推進係へ要相談。

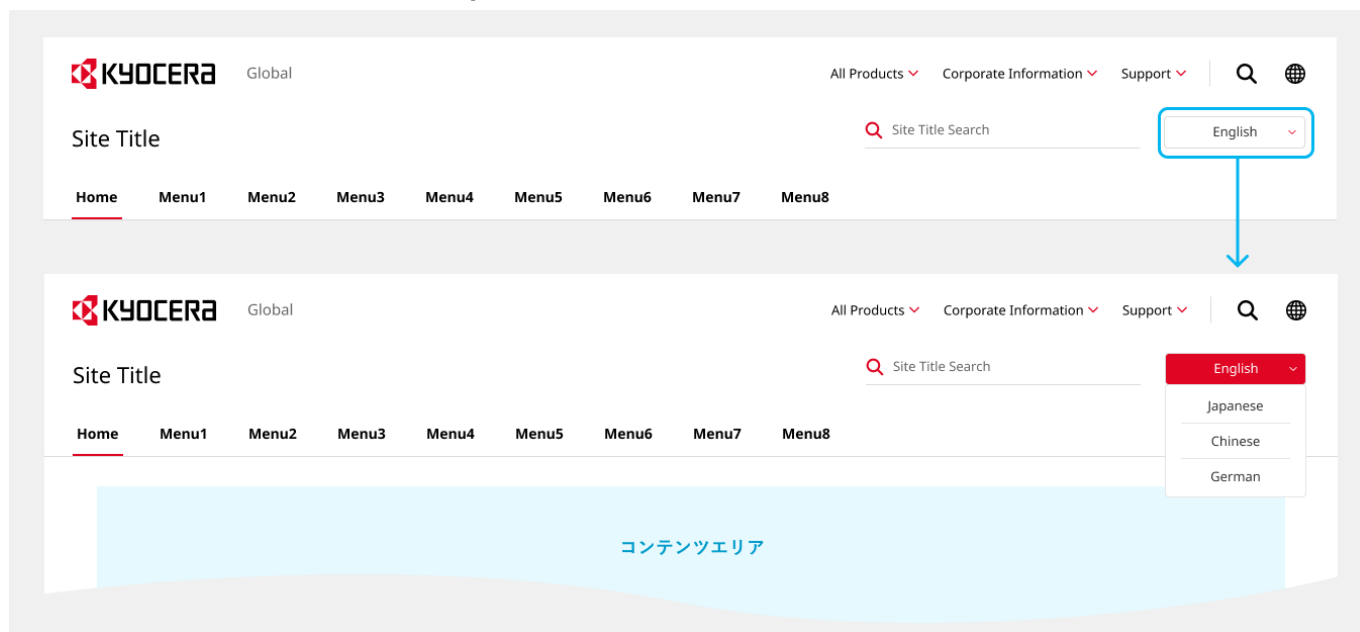
basic_main-search-lang

■ テンプレート名 : basic_main-search-lang.html [サンプル](#)

サイト名の右エリアに検索窓と言語切替ボタンを設置。


特定のサイトに絞った検索を行う場合や、他言語サイトへの誘導が必要な際に用いる。

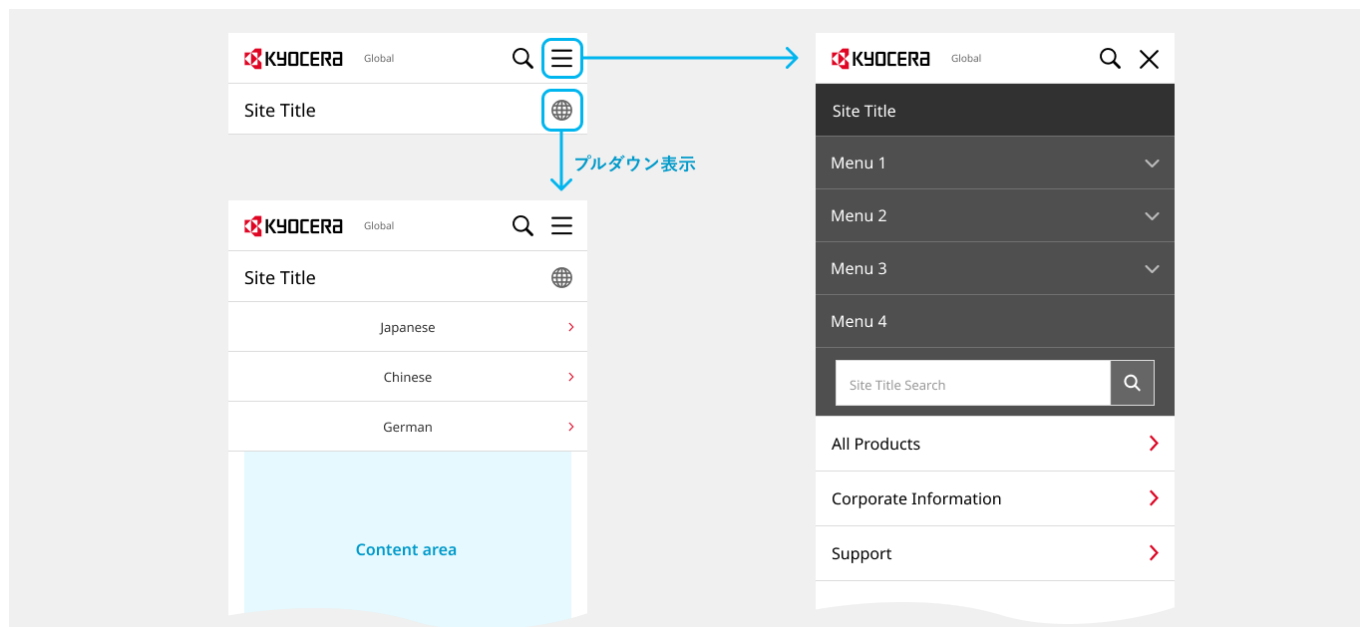
PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）



※ メインナビは、ドロップダウンメニューを含む。不要な場合は削除可。

スマートフォン / タブレット表示（横幅 360～1,023px）

京セラ Global サイト全体の検索との誤操作を防ぐため、メニューボタンからの展開画面に検索窓を収めている。言語切替は、サイト名右側の「」ボタンから選択可能。※別パターンあり（後述の「検索・言語切替 2」参照）

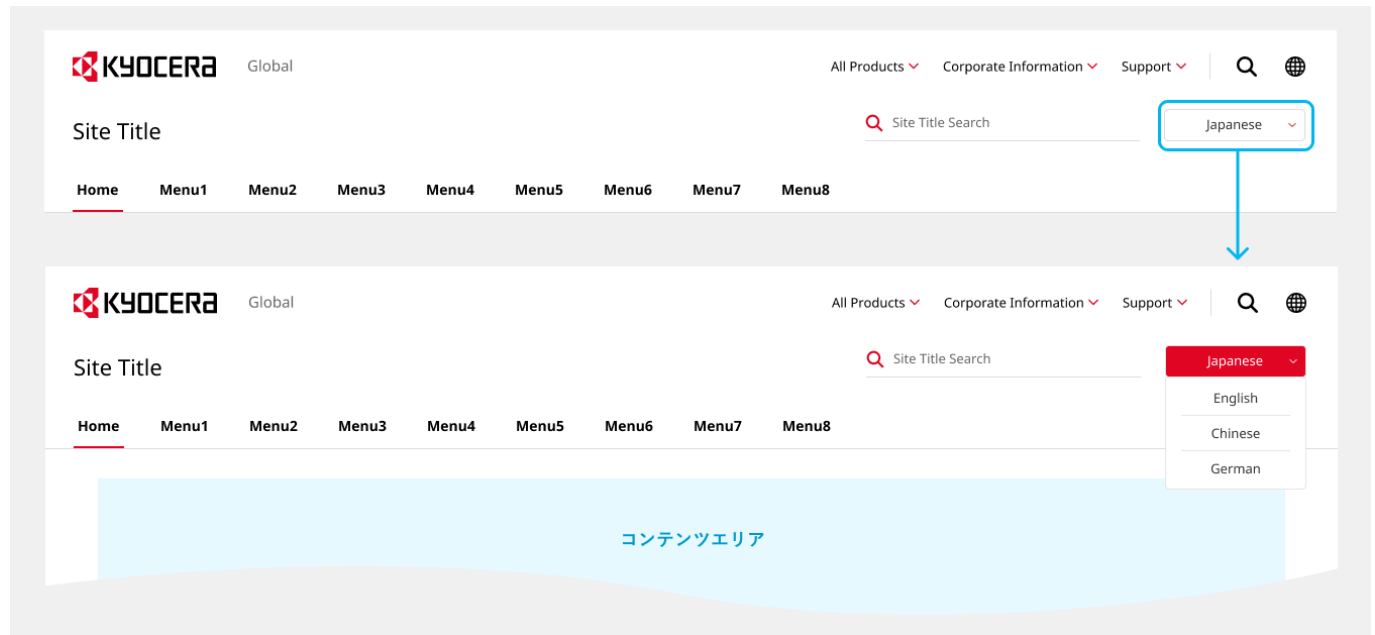


basic_main-search-lang2

■ テンプレート名 : basic_main-search-lang2 [サンプル](#)

PC 表示は、前述の「basic_main-search-lang」と同じである。

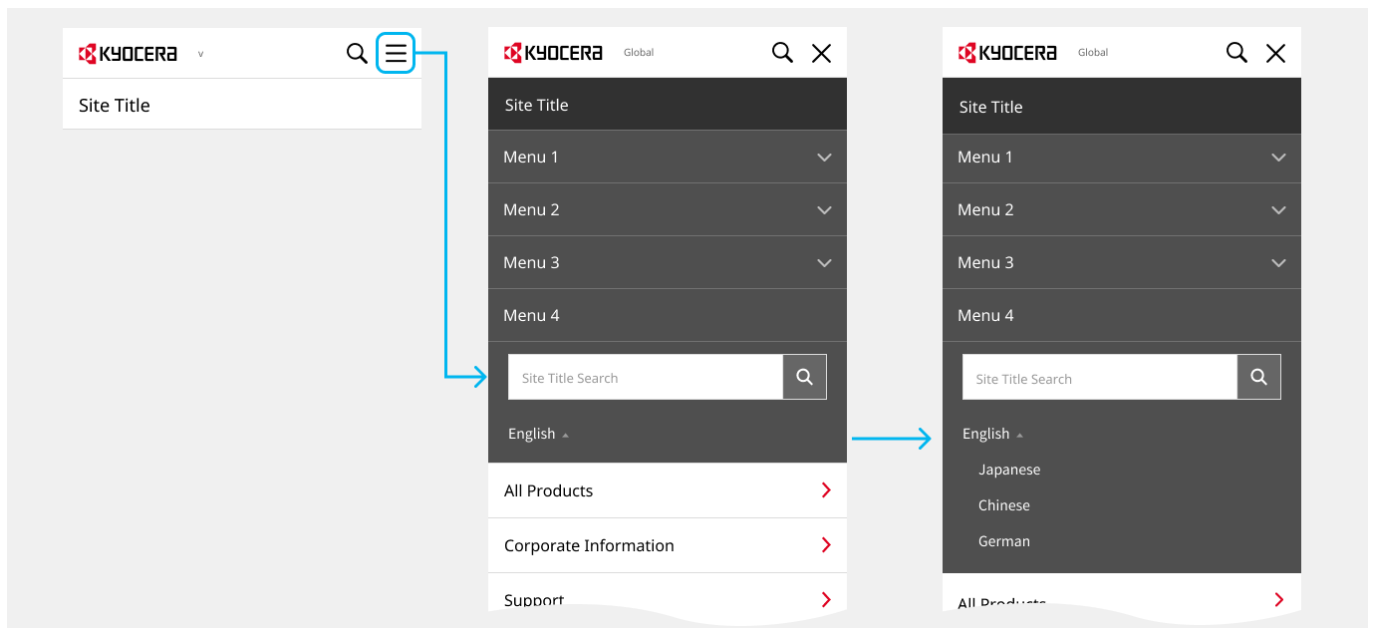
PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）



※ メインナビは、ドロップダウンメニューを含む。不要な場合は削除可。

スマートフォン / タブレット表示（横幅 360～1,023px）

京セラサイト全体の検索との誤操作を防ぐため、メニューボタンからの展開画面に検索窓を収めている。
検索窓の下に開閉式の言語切替ボタンが配置されている。



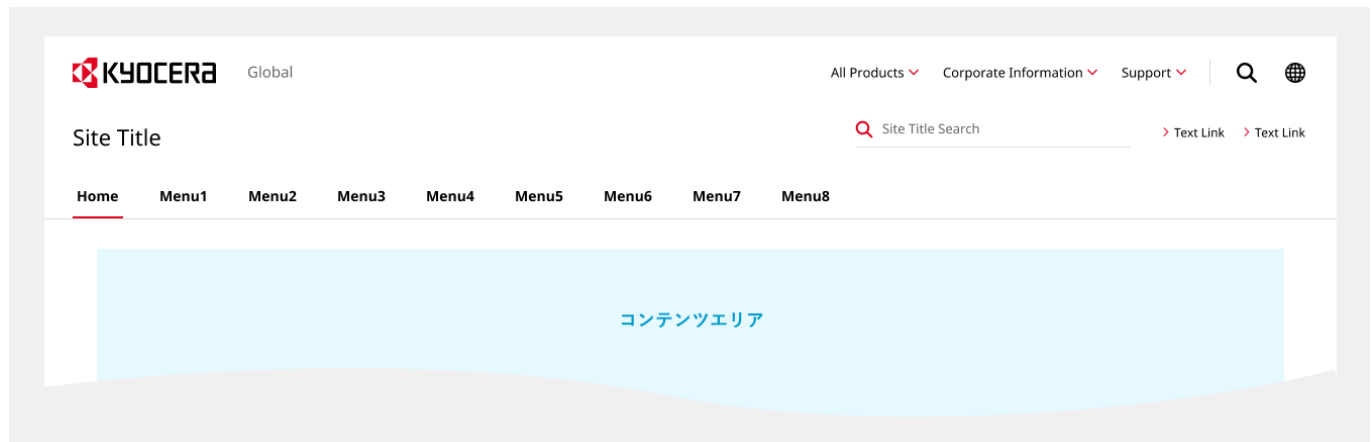
basic_main-search-link

■ テンプレート名 : basic_main-search-link.html [サンプル](#)

サイト名の右エリアに検索窓とリンクを設置。

特定のサイトに絞った検索を行う場合や、他言語サイトや重要度の高いページへの誘導に用いる。

PC 表示は共通（横幅 1,024～最大幅 1,368px）

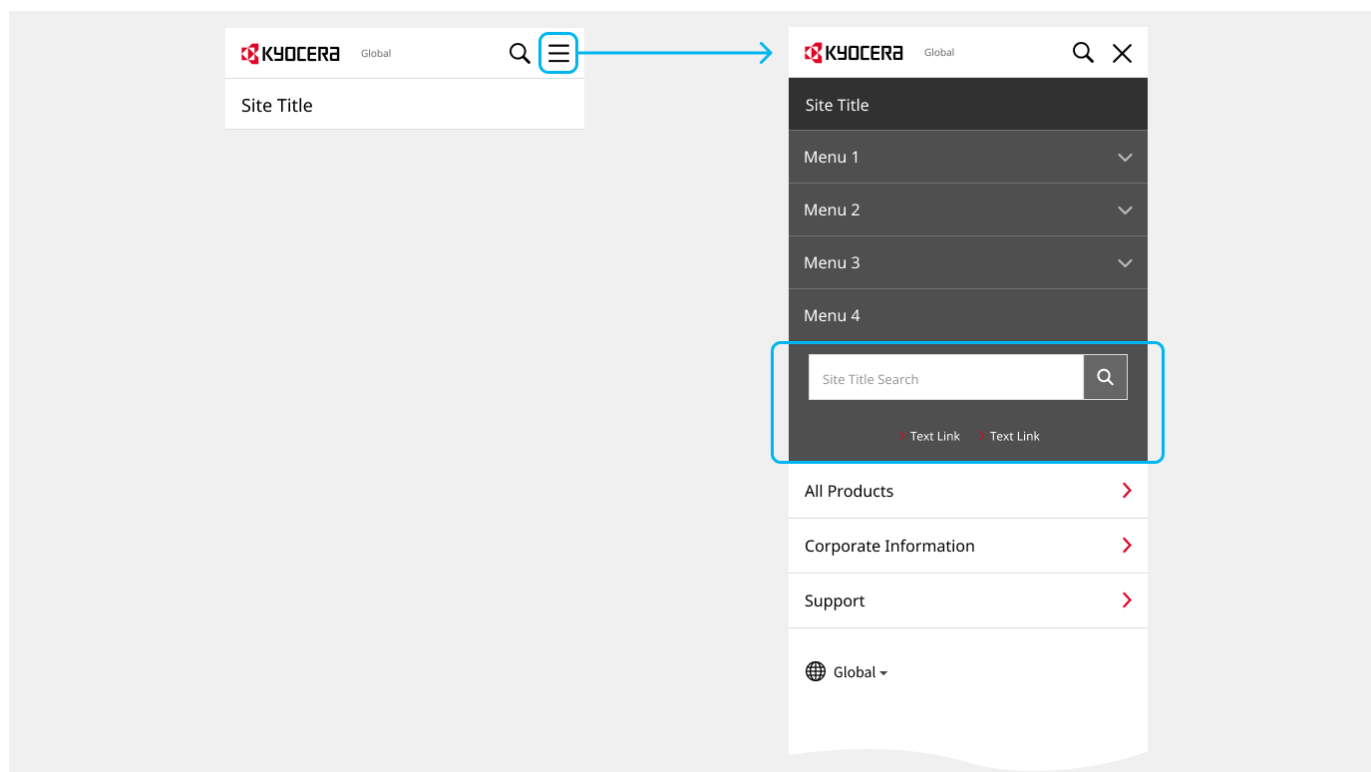


※ メインナビは、ドロップダウンメニューを含む。不要な場合は削除可。

スマートフォン / タブレット表示（横幅 360～1,023px）

京セラ Global サイト全体の検索との誤操作を防ぐため、メニューボタンからの展開画面に検索窓を収めている。

検索窓の下にテキストリンクが配置されている。

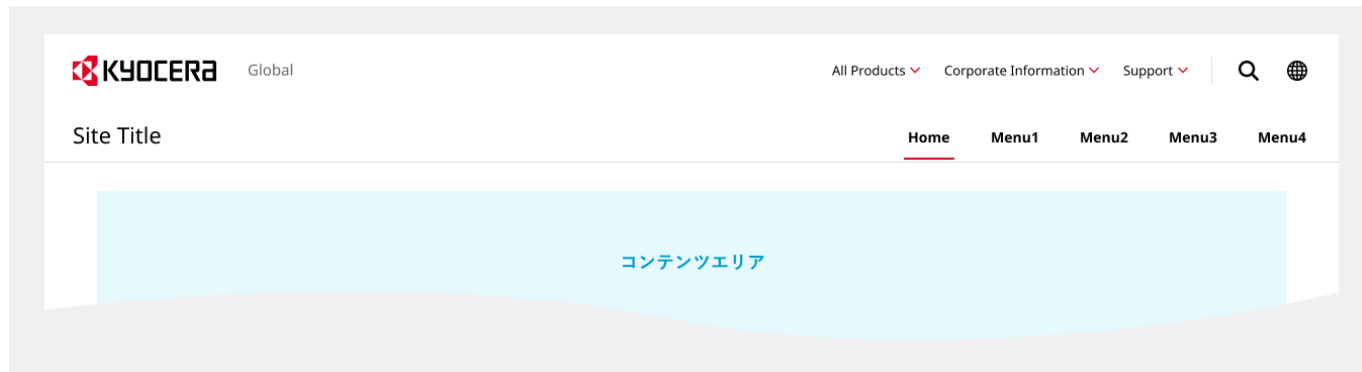


basic_main-line

■ テンプレート名 : basic_main-line.html [サンプル](#)

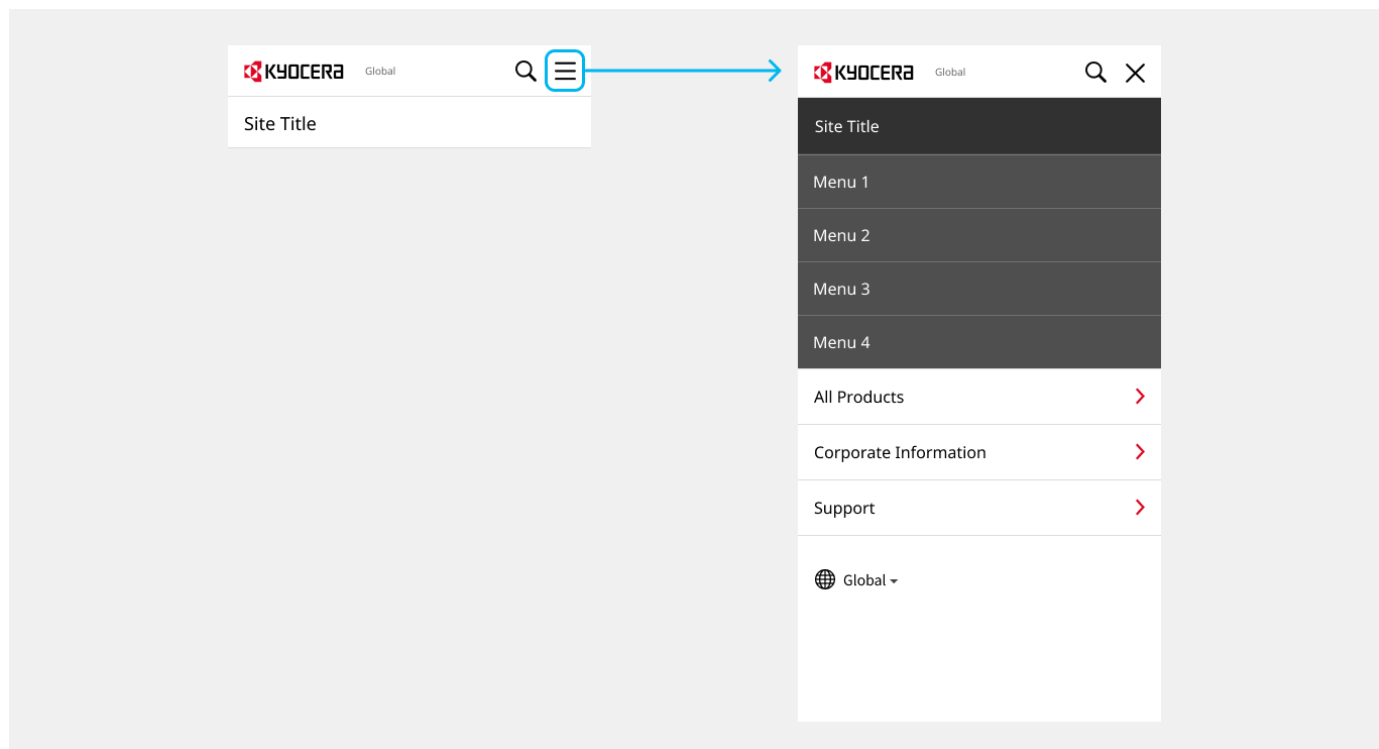
メニュー数が少なく、ヘッダー周りをコンパクトにしたい場合は 1 段表示にすることが可能。
ただし、PC 最小幅までの表示の際、レイアウト崩れが起きないように十分に考慮すること。

PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）



- ※ メインナビは、ドロップダウンメニューを含まない。
- ※ 1 段組でのドロップダウンメニューを希望する場合は WEB 推進係へ要相談。
- ※ ドロップダウンメニューを用いる場合はテンプレート「basic_main-free」を利用する。

スマートフォン / タブレット表示（横幅 360～1,023px）



※ メニュー1、メニュー2 の階層より下層のリンクを設けたい場合は、他テンプレートより流用し、できるかぎり京セラサイト全体の UI の統一を図る。

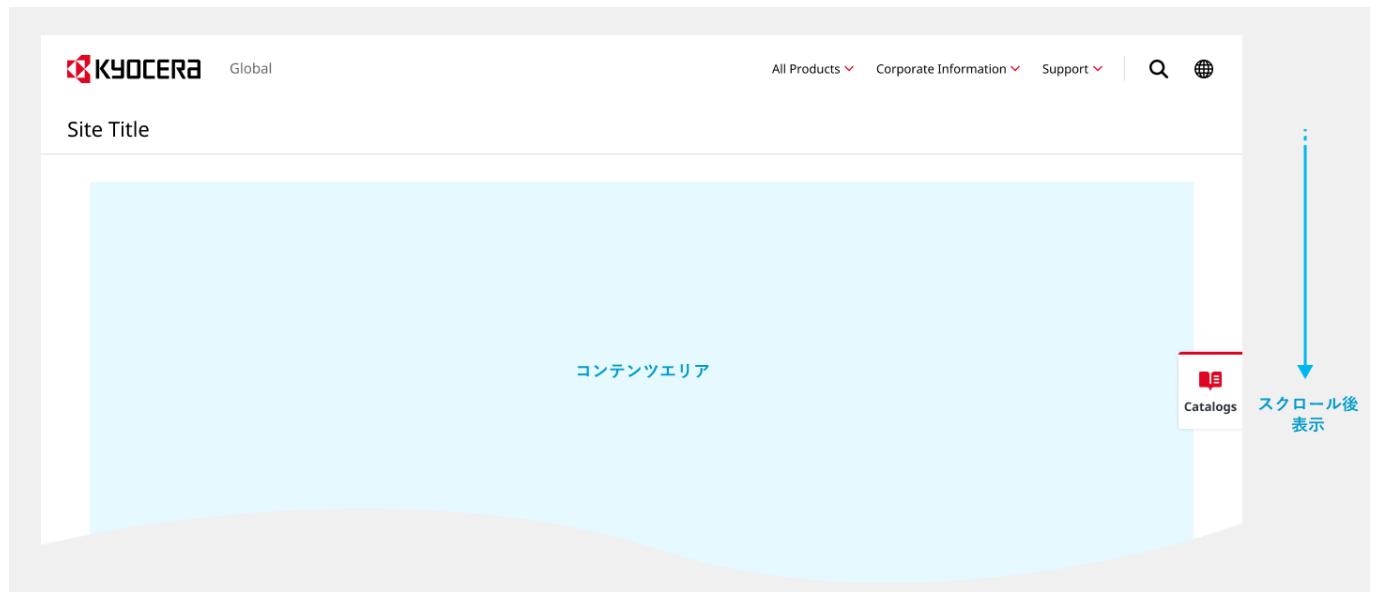
basic_right-button1

■ テンプレート名 : basic_right-button1.html [サンプル](#)

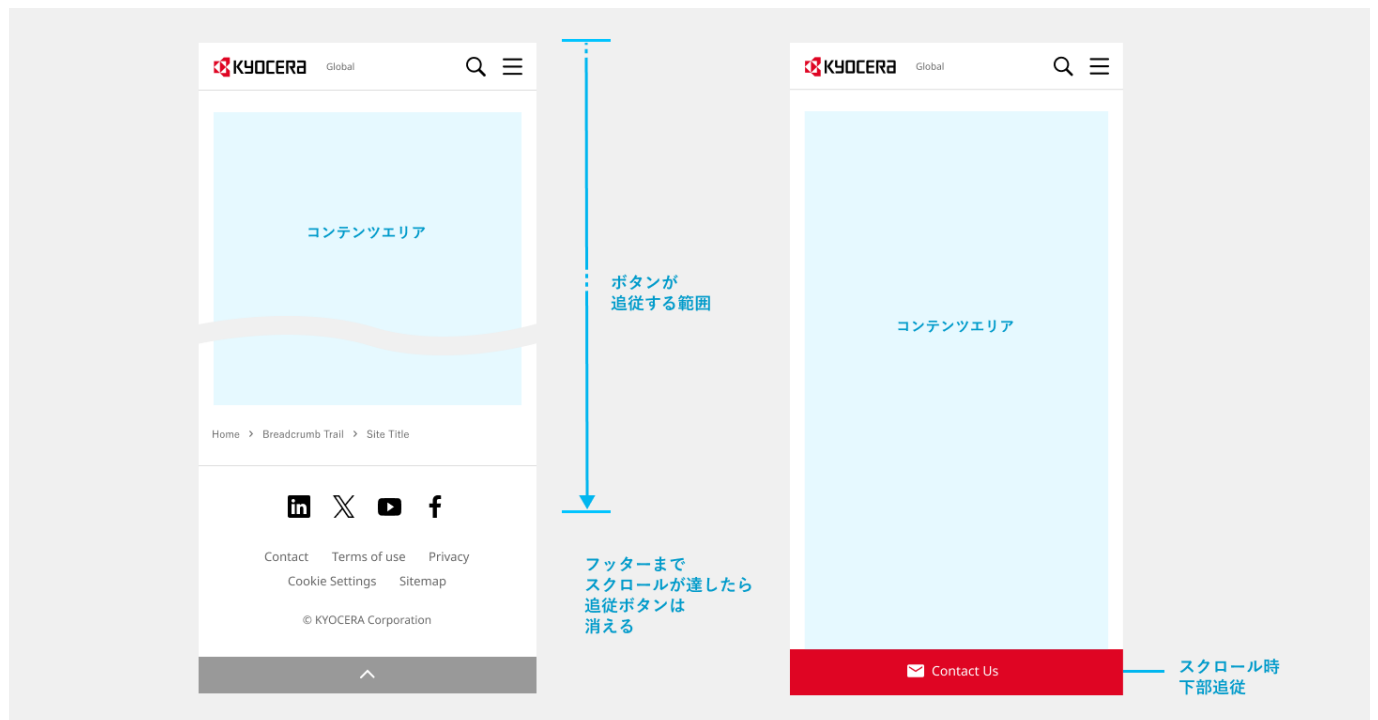
コンバージョンボタンを 1 つ追従させる場合に用いる。文言は必要に応じ変更可。アイコンについては適宜作成して利用する。（挿

入 HTML コードや仕様サイズは、後述にて記載)

PC 表示 (横幅 1,024~最大幅 1,368px)



スマートフォン表示 / タブレット表示 (横幅 360~1,023px)



※ デフォルトでは追従ボタンは非表示の状態となる。<body>に以下 class 名を追記することで表示する。

<body class="-show_spConversion">

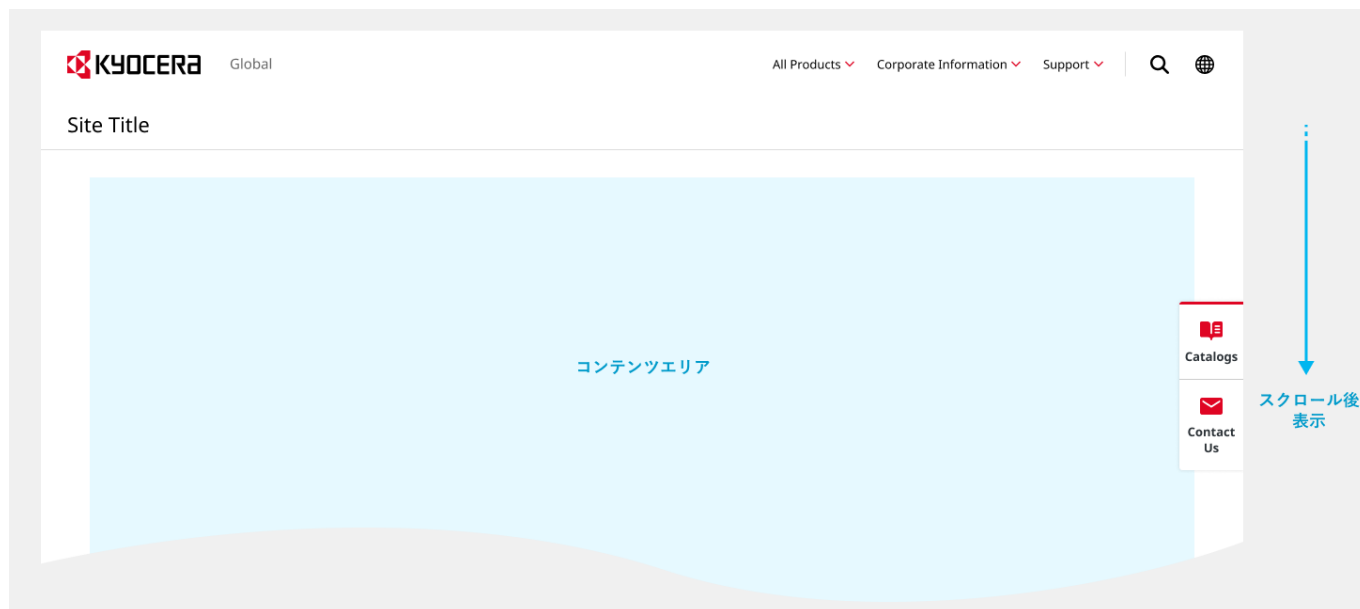
※ ボタンデザインの変更を希望する場合は、事前に WEB 推進係へ要相談。

basic_right-button2

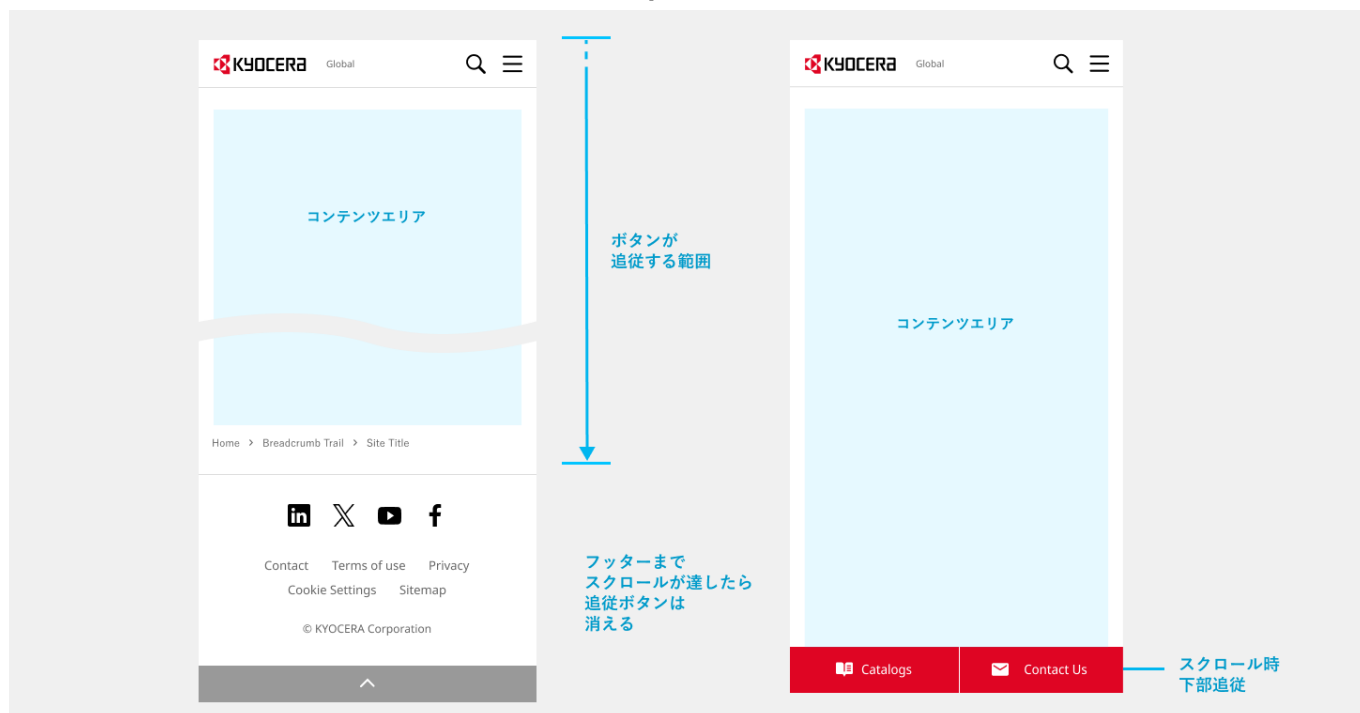
■ テンプレート名 : basic_right-button2.html [サンプル](#)

コンバージョンボタンを2つ追従させる場合に用いる。文言は必要に応じ変更可。アイコンについては適宜作成して利用する。（挿入HTMLコードや仕様サイズは、後述にて記載）

PC表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）



スマートフォン表示 / タブレット表示（横幅 360～1,023px）



※ デフォルトでは追従ボタンは非表示の状態となる。<body>に以下 class 名を追記することで表示する。

<body class="-show_spConversion">

※ ボタンデザインの変更を希望する場合は、事前に WEB 推進係へ要相談。

basic_right-button3-open

■ テンプレート名 : basic_right-button3-open.html [サンプル](#)

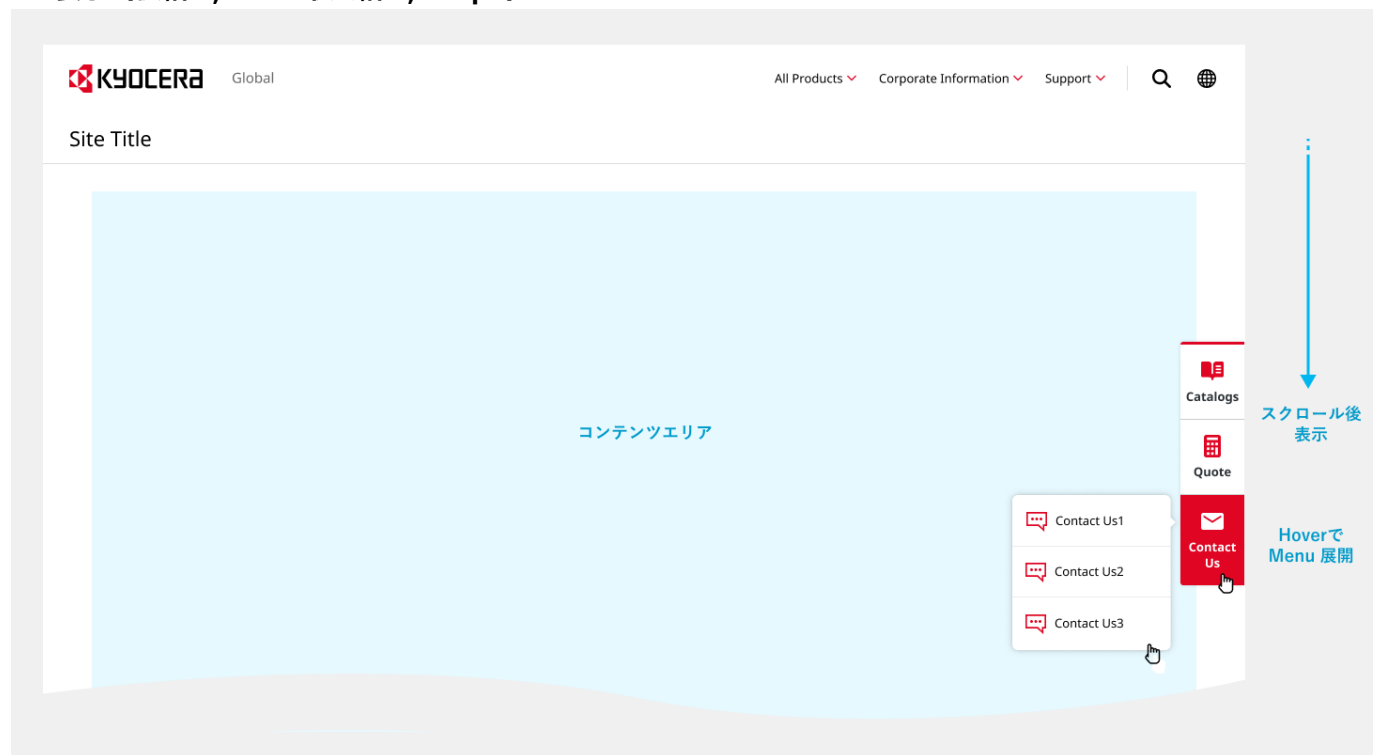
コンバージョンボタンを3つ追従させる場合に用いる。

ボタン内に複数の選択肢を設けることも可能。オンマウスで展開表示される。(3つ目ボタン)

文言は必要に応じ変更可。アイコンについては適宜作成して利用する。

(挿入 HTML コードや仕様サイズは、後述にて記載)

PC 表示 (横幅 1,024~最大幅 1,368px)



※ ボタンの数は、画面高さに収まるよう3~4つまでを推奨。

※ ボタンデザインの変更を希望する場合は、事前にWEB推進係へ要相談。

スマートフォン / タブレット表示 (横幅 360~1,023px)

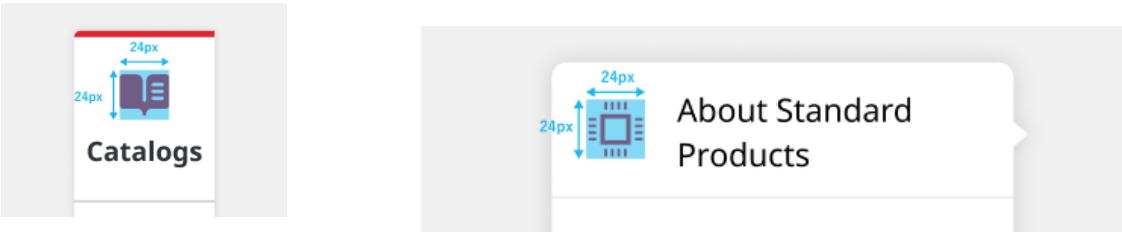
3つ以上設置の場合は、表示はしない。

展開ボタンについてもタブレット幅以下の表示はなし。

表示させたい場合は、別途設置が必要となる。

アイコンサイズについて

縦横 24px におさまるサイズを推奨。
ボタン内のアイコンは塗り（左画像）、展開して表示されるアイコンはアウトライン（右画像）を推奨。



テンプレートファイルに含まれるアイコン
/prdct/semicon/svg/sprite.svg

アイコン	用途	アイコン	用途
	お問い合わせ		見積もり
	カタログ請求		テスト相談、試作など
	資料ダウンロード		製品検索など
	カスタム品、設定など		相談、その他

挿入コードについて

<div class="local-Conversion -is-ShowConversion"></div> のブロックを挿入する

```
<body class="-is-scroll -pagetop-end">
  <header class="global-Header"> ... </header>
  <div class="local-PageTitle"> ... </div>
  <main> ... </main>
  <div class="global-Breadcrumb"> ... </div>
  <div class="local-Conversion -is-ShowConversion">
    <div class="local-Conversion_Inner">
      <div class="local-Conversion_Menu">
        <div class="local-Conversion_Menulitem"> ... </div> ボタン要素
        <div class="local-Conversion_Menulitem"> ... </div>
      </div>
    </div>
  </div>
  <div class="include-Global -is-complete" data-template="footer"> ... </div>
</body>
```

スマートフォン/タブレットで追従ボタンを表示する場合

<body>に、class 名を追記することで表示する。
<body class="-show_spConversion">

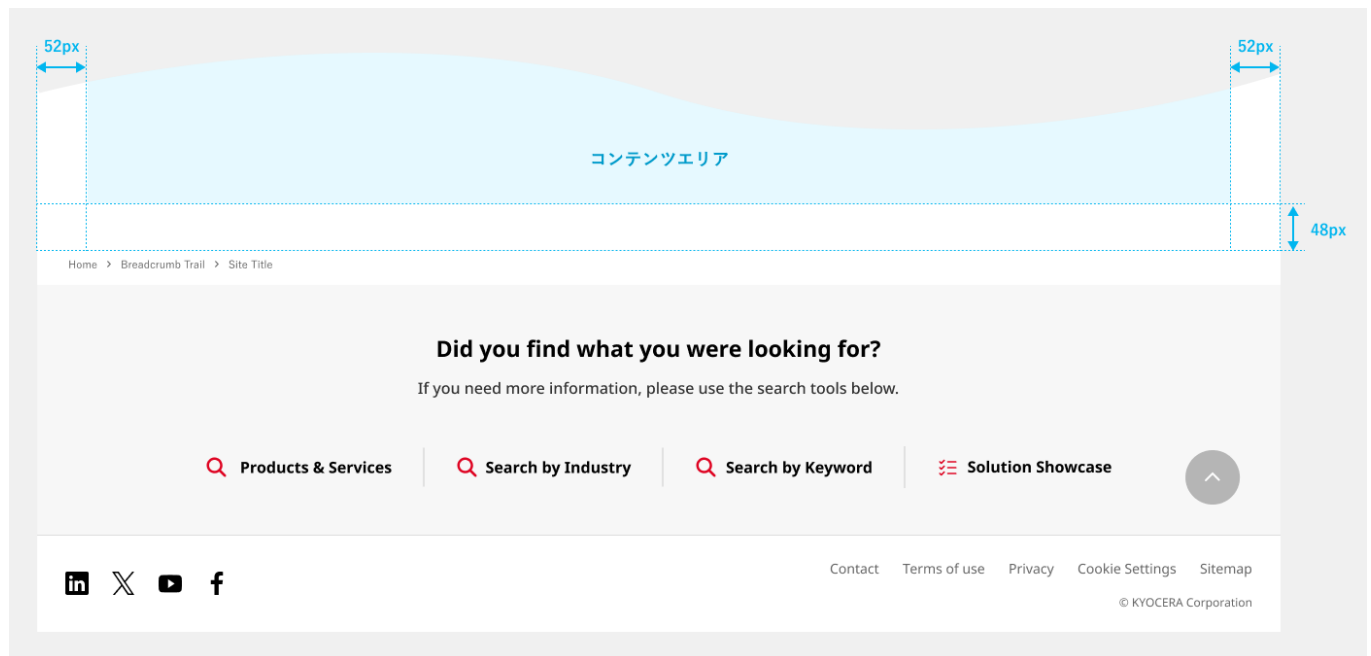
- ※ 右追従ボタン(1 つ)、右追従ボタン(2 つ)に限る。
- ※ デフォルトの設定は、非表示。

basic_bussiness-footer

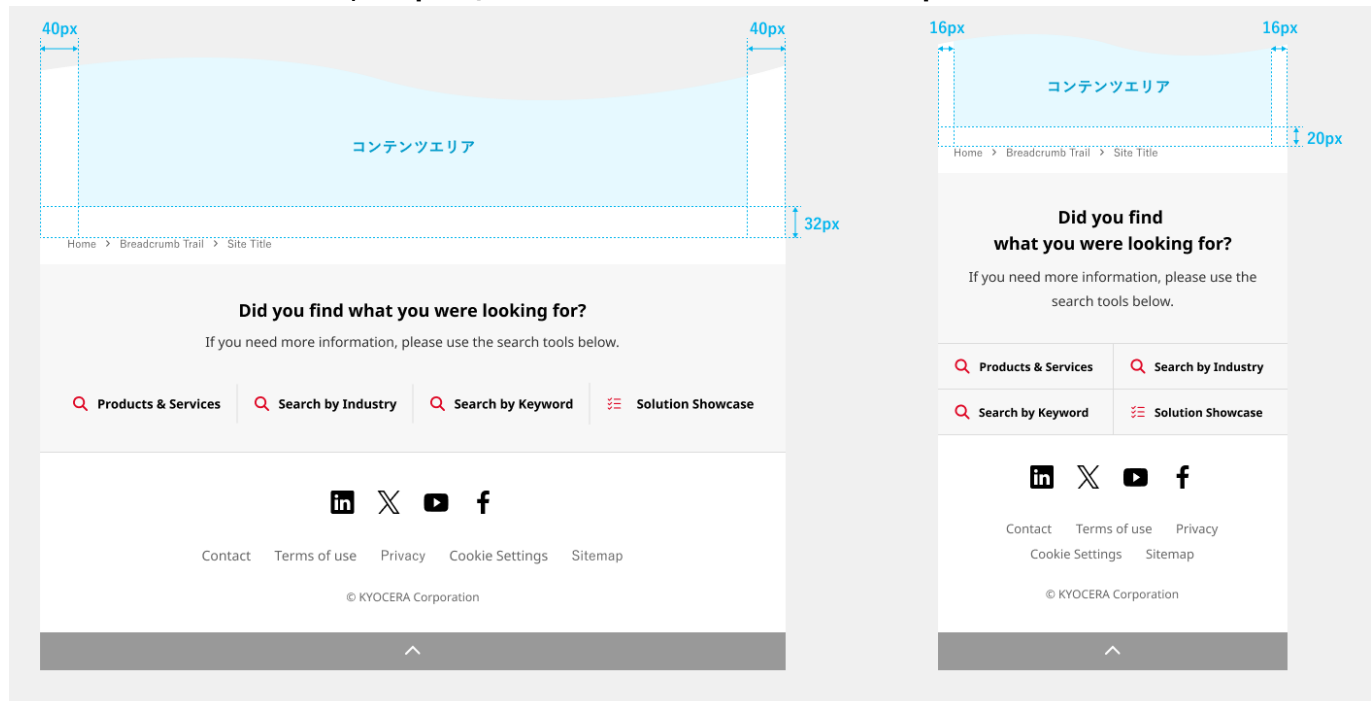
■ テンプレート名 : basic_bussiness-footer.html [サンプル](#)

法人向け製品の全サイトには、必ず回遊フッターを設置すること。

PC 表示（横幅 1,024～最大幅 1,368px）



タブレット表示（横幅 768～1,023px） / スマートフォン表示（横幅 360～767px）



※ 位置の変更は不可

※ 個人向け製品サイトには不要

basic_bussiness-footer

Javascript で外部ファイル化しているため、グローバルフッターの上に以下のコードを挿入する。

```
<div class="include-Global" data-template="local_footer_search_menu">
<script>window.include()</script>
</div>
```

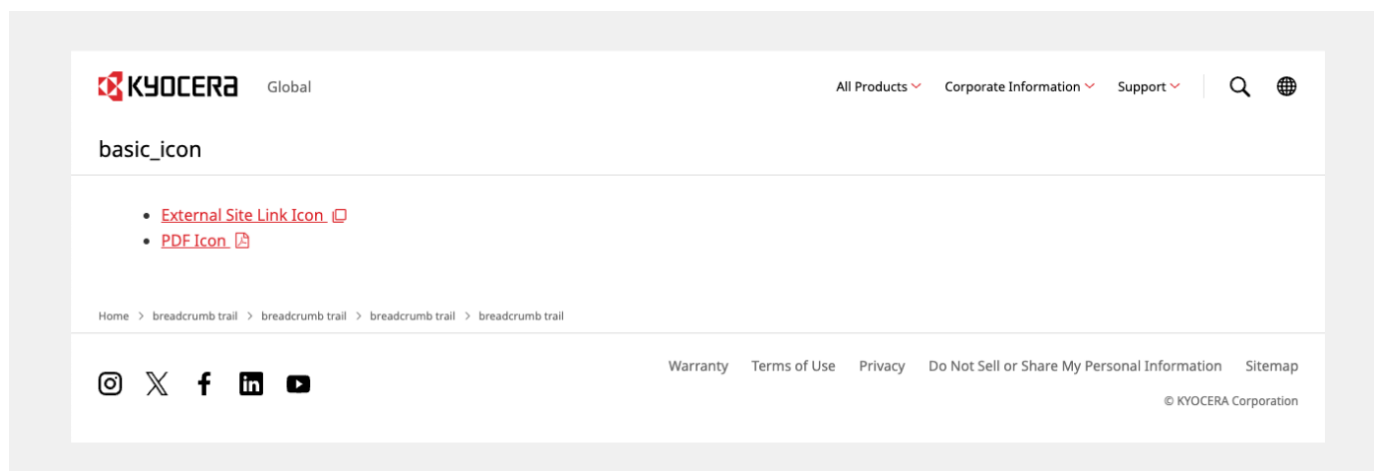
```
<div class="include-Global" data-template="local_footer_search_menu"><script>window.include()</script></div>
<div class="include-Global" data-template="footer"><script>window.include()</script></div>
<script src="//pro.syncsearch.jp/common/js/sync_suggest.js"></script>
<script type="text/javascript">
```

basic_icon

■ テンプレート名 : basic_icon.html [サンプル](#)

テキストに別窓、PDF のアイコンを付与する場合、フォントファイルで表示した HTML を利用する。

※ HTML でアイコンの表示が難しケースでは、同じ見た目の SVG 画像などを配置する。



4-4 関連会社ヘッダー

京セラロゴサイズ及び左右上下の余白は、テンプレートより変更は不可。
会社名・国名・メニューなど必要な要素をフリーエリア内に収まるように配置・レイアウトすること。

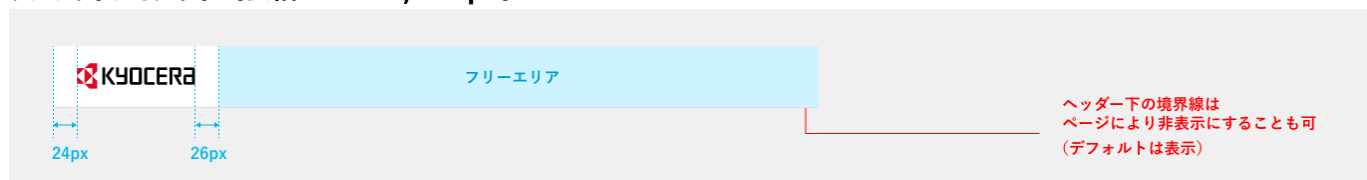
■ テンプレート名 : brand-symbol.html [日本語サイト用](#) / [Global サイト用](#)

スマートフォンデザイン（横幅 320～767px）



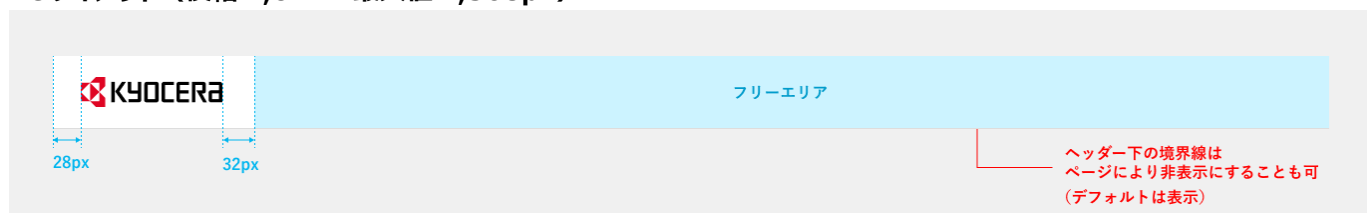
- ※ 会社名、国名、グローバルメニューを文字数や個数に合わせフリーエリア内にデザインすること。
- ※ フリーエリア内でのフォントサイズ、行間は任意とする。
- ※ 京セラブランドシンボルはブランドマネジメントガイドラインの規定を守り、社名より左に設置すること。
- ※ コンテンツエリアは左右 16px の余白を設定する。（メインビジュアルなど画面幅をフルに用いる場合を除く）

タブレットレイアウト（横幅 768～1,023px）



- ※ 会社名、国名、グローバルメニューを文字数や個数に合わせフリーエリア内にデザインすること。
- ※ フリーエリア内でのフォントサイズ、行間は任意とする。
- ※ 京セラブランドシンボルはブランドマネジメントガイドラインの規定を守り、社名より左に設置すること。
- ※ コンテンツエリアは左右 24px の余白を設定する。（メインビジュアルなど画面幅をフルに用いる場合を除く）

PC レイアウト（横幅 1,024～最大値 1,368px）



- ※ 会社名、国名、グローバルメニューを文字数や個数に合わせフリーエリア内にデザインすること。
- ※ フリーエリア内でのフォントサイズ、行間は任意とする。
- ※ 京セラブランドシンボルはブランドマネジメントガイドラインの規定を守り、社名より左に設置すること。
- ※ PC デザインのヘッダー・フッターは右マージン 28px を含んだ 1,368px で作成すること。

ボディコンテンツは、左右 28px の余白を設定する。（メインビジュアルなど画面幅をフルに用いる場合を除く）

5.リンク・ボタンルール

5-1 リンク・ボタンの基本ルール

5-1 リンク・ボタンの基本ルール

京セラサイト全体で一貫したユーザビリティを保持するため、リンクおよびボタンは以下仕様を基本とし、特別な理由を除いて仕様に準ずること。仕様変更を検討する場合は、事前に WEB 推進係に相談すること。

リンク・ボタンの種類・仕様

ヘッダー・ナビゲーション・フッター・サイトマップを除く、コンテンツエリアに関しては、次のいずれかの方法を用いることを推奨する。

(1) 本文中テキストリンク

下線をつけ、リンクすることが分かるようにする。リンクカラーについては赤色（#DF0523）を推奨する。

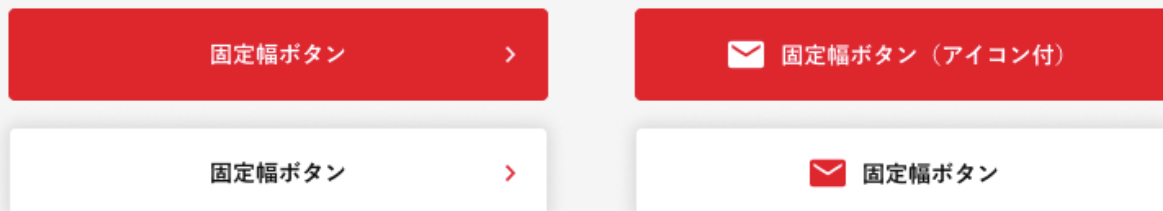
この文章はダミーです。 [文章中テキストリンク](#) この文章はダミーです。

(2) テキストリンク

単独でテキストリンクを用いる際には、矢印をつける。（別窓リンクの場合は別窓アイコンをつける）

[XXXXについて、詳しく見る](#) > [XXXXについて、詳しく見る](#) >
[XXXXについて、詳しく見る](#) □

(3) ボタン形状



明るい背景にボタンを用いる場合

赤背景：#DF0523、白背景：#FFFFFF

- ・コンテンツ内で用いるコンバージョンボタンは、赤背景ボタンと白背景ボタンとする。
- ・赤背景ボタンがもっとも強調度が高い。
- ・1つのページに赤背景ボタンを多様すると、コンバージョン優先度がわかりづらくなるため、白背景ボタンを併用し、最も優先させたいコンバージョンをわかりやすく配慮すること。

強調度 最大

強調度 弱い



暗い背景にボタンを用いる場合

赤背景：#DF0523、白背景：#FFFFFF、グレー背景：#FFFFFF 不透明度 20%

※ グレー背景色に関しては、透過はあくまで目安とする。透過せずにボタン枠が判別できる色にすることも可。

- ・基本は赤背景ボタンを用いる。
- ・複数コンバージョンがあり、優先度の強弱をつける場合は、グレー背景ボタンを用いる。
- ・複数コンバージョンを横並びにする場合は、左から優先度の高い順とする。

強調度 最大

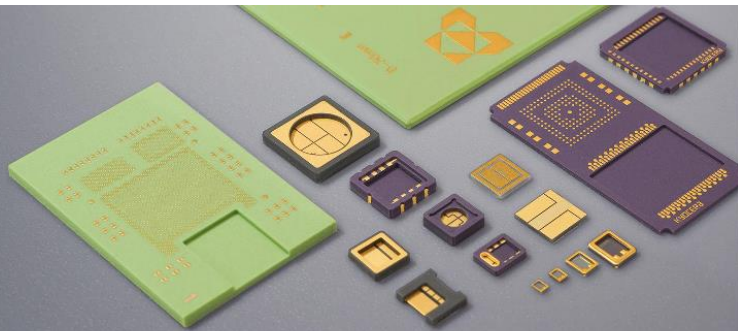
強調度 弱い



例 1：メインビジュアル下にコンバージョンボタンを設置

新たな未来を切り拓く、 セラミックパッケージの可能性。

セラミックパッケージの開発・設計や課題解決なら京セラに。
材料の選定から製造までワンストップでサポートいたします。



まずはお気軽にご相談ください。



標準品へのお問い合わせ



カスタム品へのお問い合わせ



その他のお問い合わせ

例 2：ページ下部にコンバージョンボタンを設置

セラミックパッケージに関する開発・設計や課題解決なら、私たちにお任せください

材料の選定や開発・設計までワンストップでサポートします。
ご質問・ご相談・サンプルなど些細な事でもお気軽にお問合せください。



標準品へのお問い合わせ



カスタム品へのお問い合わせ



その他のお問い合わせ

6. フォーム

6-1 フォーム利用時の留意事項

6-1 フォーム利用時の留意事項

ユーザ情報の取得に関する注意点

フォームの利用に関しては、広報室・WEB 推進係に相談すること。なお、個人情報の収集については、京セラグループの統一ルールとして、「公開 Web 環境運用ガイドライン」を参照すること。

入力フォームの作成方法

ユーザの満足度向上のためには、誤ったフォーム操作の防止や入力時間の短縮が重要であるので、以下の点に配慮してフォームを作成する必要がある。

(1) フォーム設計時のユーザへの配慮

フォーム入力時には、項目名や必須入力の有無、制限事項等が各項目に対して明確に定義され、ユーザに誤解を与えないか、以下の点に注意しなければならない。

- ・ 名前、電話番号、住所等の入力項目を明記する。
- ・ 文字の種類[半角/全角、漢字/平仮名/カタカナ]、文字数、必須/推奨等の制限事項を明記する。
- ・ 項目名や制限事項は原則的にテキストボックスの左側か上部に記述する。
なお、チェックボックスやラジオボタンについては右側でもよい。
- ・ 入力内容がわかりにくい場合には、入力例を記述する。
- ・ ユーザへの返信に使用するためにメールアドレスの入力欄を設けている場合は、確認のために再入力フィールドの配置を推奨する。

(2) 入力フォームの並び順とタブ移動順序の統一

視覚障害や運動障害を持つユーザは、フォームの入力に際してタブキーを利用して項目を移動する場合がある。そのため、ユーザビリティの観点から、見た目のレイアウトの並び順序とタブキーで移動する順序を統一しなければならない。統一方法は、フォームの `tabindex` 属性を利用する。

例：`<input type="text" name="名前" tabindex="1">`
`<input type="text" name="電話番号" tabindex="2">`

1001

(京セラサイト 問い合わせフォーム)

